

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年2月27日

九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持改善事業(地域間幹線系統)

| 協議会名           | ①補助対象事業者等  | ②事業概要                          | 協議会における事業評価結果           |                                   |   |                | 地方運輸局等における<br>二次評価結果  | 備考                      |
|----------------|--|--------------------------------|-------------------------|-----------------------------------|---|----------------|---|-------------------------|
|                |  |                                | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性                         | ⑤目標・効果達成状況  | ⑥事業の今後の改善点     | 評価結果  |                         |
| 福岡県バス<br>対策協議会 | 堀川バス(株)<br>昭和自動車(株)<br>西鉄バス佐賀(株)<br>西鉄バス佐賀(株)・西鉄<br>バス久留米(株)<br>西鉄バス久留米(株)<br>西鉄バス筑豊(株)<br>西鉄バス宗像(株)<br>西鉄バス大牟田(株)<br>西鉄バス北九州(株)<br>西鉄バス二日市(株)<br>JR九州バス(株)<br>株)甘木観光バス<br>新宮タクシー(株) | 59系統<br>※詳細は別添<br>一次評価のと<br>おり | 別添一次評価<br>のとおり          | A評価: 59系統<br>B評価: 0系統<br>C評価: 0系統 | A評価: 21系統<br>B評価: 37系統<br>C評価: 1系統<br><br>【参考: 前年度】<br>A評価: 25系統<br>B評価: 28系統<br>C評価: 3系統 | 別添一次評価<br>のとおり | <p>コロナは明けたものの、運転士や整備士をはじめとする人員不足や、燃料費・車両価格の高騰等、バスを取り巻く厳しい状況下で、バスを利用するきっかけづくりのためにバス無料デーや、体験乗車会を行い、スポーツや各種イベントとのタイアップ、企画乗車券の造成等、利用促進に向け様々な取組をされていることを評価します。今後もバス事業者、自治体等連携して取組を続けられることを期待します。</p> <p>また、沿線に学校がある系統ではバスの乗り方教室等を行い子供の時からバスを利用することに慣れてもらうことで、将来のバス利用者の創出に繋げ、観光需要を呼び込める可能性がある系統については利用促進のため広報やルートやダイヤの見直し、地域の実情や特性に応じ、取組内容を工夫されている点も評価します。地域の足を守っていくためには、特に前者のような将来のバス利用者の創出に向けた地道な取組が不可欠であると思料します。</p> <p>目標の達成状況に関しては、数字だけを見ると輸送人員・収支改善状況ともに依然として厳しい状況ですが、上記のような取組を行う中で得た結果を検証することで、より効果的な改善につながることを期待されます。</p> <p>今後は、目標を達成できなかった原因だけでなく、目標を達成した系統については、達成できた原因の分析を行い、目標を達成できなかった系統に活かせる部分は活かし、また、系統毎の目標達成状況に応じて、次の目標や評価指標をを検討、最適化していくことも必要と思料します。</p> | 評価指標<br>【収支率】<br>【輸送人員】 |

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月23日

協議会名: 福岡県交通対策協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要            | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況   | ④事業実施の適切性          | ⑤目標・効果達成状況   | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)   |
|-----------|------------------|---|--------------------|--|---|
| 堀川バス株式会社  | 羽犬塚～ゆめタウン前～福島～黒木 | 「八女市路線バス通学定期券補助」の学校・家庭への利用呼びかけや、チラシの配布を実施した。ICカード利用による利便性向上の周知や小中高生の「100円・200円運賃」の周知を行い、休日の利用の呼びかけやチラシ配布を実施した。イベント時にバスの体験乗車会や、筑後広域公園で利用促進のキャンペーンを実施し、利用の呼びかけを行った。 | A<br>計画通り適切に実施された。 | B<br>【目標】収支率36.6%<br>輸送人員80,477人<br>【実績】収支率34.9%(▲1.7%)<br>輸送人員91,115人<br>利用者が増加し、輸送人員の目標は達成したが、人件費・燃油価格等の上昇により経費が増加した為、収支率は目標を達成できなかった。 | 通学定期券補助事業や割引サービスなどの周知継続、八女市乗合タクシーとの接続による利便性向上、イベントに付随した無料バス及び体験乗車会の実施を通じて、地域住民のバス利用を促進する。これらの取組により、利用者増加と収支率改善に努める。 |
| 堀川バス株式会社  | 羽犬塚～蒲原～福島～黒木     | 「八女市路線バス通学定期券補助」の学校・家庭への利用呼びかけや、チラシの配布を実施した。ICカード利用による利便性向上の周知や小中高生の「100円・200円運賃」の周知を行い、休日の利用の呼びかけやチラシ配布を実施した。イベント時にバスの体験乗車会や、筑後広域公園で利用促進のキャンペーンを実施し、利用の呼びかけを行った。 | A<br>計画通り適切に実施された。 | A<br>【目標】収支率36.0%<br>輸送人員73,765人<br>【実績】収支率56.4%(+20.4%)<br>輸送人員61,576人<br>前年より系統を一部変更した為全体の利用者は減少し、輸送人員自体の目標は達成できなかったが、収支率は改善した。        | 通学定期券補助事業や割引サービスなどの周知継続、八女市乗合タクシーとの接続による利便性向上、イベントに付随した無料バス及び体験乗車会の実施を通じて、地域住民のバス利用を促進する。これらの取組により、利用者増加と収支率改善に努める。 |

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要              | ③前回(又は類似事業)の<br>事業評価結果の反映状況  | ④事業実施の適切性 |               | ⑤目標・効果達成状況   | ⑥事業の今後の改善点<br>(特記事項を含む)  |
|-----------|--------------------|--|-----------|---------------|--|--|
| 堀川バス株式会社  | 福島～鎌水～西鉄久留米～久留米駅   | ICカード利用による利便性向上の周知やバス利用の呼びかけを行う。公共交通マップを作成、利用者へ配布し利用促進を図る。1日乗車券や運転免許返納による割引証の発行により利用促進を図る。                     | A         | 計画通り適切に実施された。 | B<br>【目標】収支率56.8%<br>輸送人員52,994人<br>【実績】収支率49.3%(▲7.5%)<br>輸送人員56,198人<br>利用者が増加し、輸送人員の目標は達成したが、人件費・燃油価格等の上昇により経費が増加した為、収支率は目標を達成できなかった。   | 引き続き、ICカード利用による利便性の向上や割引サービスの周知、公共交通マップの配布等により、利用促進を図る。これらの利用促進の取組を通じて、利用者増加と収支率の改善に努める。   |
| 堀川バス株式会社  | 福島～田ノ原～十竈車庫前       | 「八女市路線バス通学定期券補助」の学校・家庭への利用呼びかけや、チラシの配布を実施した。ICカード利用による利便性向上の周知や小中高生の「100円・200円運賃」の周知を行い、休日の利用の呼びかけやチラシ配布を実施した。 | A         | 計画通り適切に実施された。 | B<br>【目標】収支率33.8%<br>輸送人員53,986人<br>【実績】収支率28.6%(▲5.2%)<br>輸送人員55,588人<br>利用者が増加し、輸送人員の目標は達成したが、人件費・燃油価格等の上昇により経費が増加した為、収支率は目標を達成できなかった。   | 通学定期券補助事業や割引サービスなどの周知継続、八女市乗合タクシーとの接続による利便性向上を通じて、地域住民のバス利用を促進する。これらの取組により、利用者増加と収支率改善に努める。  |
| 堀川バス株式会社  | 瀬高駅前～西鉄柳川～亀の井ホテル柳川 | 柳川市及びみやま市コミュニティバスに接続する幹線バスの周知を行い、コミュニティバス利用者の路線バスへの利用周知を行った。無料バスの運行を実施し、路線バスの周知や呼びかけを広く実施した。                   | A         | 計画通り適切に実施された。 | B<br>【目標】収支率45.7%<br>輸送人員115,592人<br>【実績】収支率44.1%(▲1.6%)<br>輸送人員138,412人<br>利用者が増加し、輸送人員の目標は達成したが、人件費・燃油価格等の上昇により経費が増加した為、収支率は目標を達成できなかった。 | 引き続き、ICカード利用による利便性の向上や割引サービスの周知を図り、利用促進を図る。また、柳川市及びみやま市と連携した無料バス運行の取組を継続し、住民に対してバス利用の機会を設けることにより、継続的な乗車のきっかけづくりを行う。これらの利用促進の取組を通じて、利用者増加と収支率の改善に努める。 |

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要                             | ③前回(又は類似事業)の<br>事業評価結果の反映状況   | ④事業実施の適切性            | ⑤目標・効果達成状況   | ⑥事業の今後の改善点<br>(特記事項を含む)   |
|-----------|-----------------------------------|---|----------------------|--|---|
| 昭和自動車(株)  | 前原～前原駅前・加布里～芥屋の運行<br>令和7年度 車両購入なし | 糸島市では利便増進実施計画を策定予定であり、糸島市内の公共交通網の再編を予定している。また、福岡市と糸島市を結ぶ都市間バスと糸島市内の路線バス乗り放題がセットになった「みどころ満載！糸島半島まるっとおむすびフリーパス」の販売促進に努めており、令和7年度は6,193件の販売実績であった。 | A 概ね計画通り事業は適切に実施された。 | B<br>【目標】収支率38.74%<br>輸送人員63,715人<br>【実績】収支率37.05%(-1.69%)<br>輸送人員72,349人<br>輸送人員は目標に対して8,634人の利用増となった。<br>輸送人員に関しては観光需要の回復により目標を達成したものの、収支率においては運転士確保のための人件費増加や整備員不足により外注修繕費の増加、さらに車両代替えによる減価償却費やリース料の増加により経費が増大し目標を達成することはできなかった。<br>(キロ当たり経常費用 R5:333.22円 R7:407.65円) | 本路線はアフターコロナの観光需要回復により輸送人員は回復しており、デジタルチケットの更なる販売促進と併せて、今後策定予定の第2次糸島市地域公共交通計画及び糸島市利便増進実施計画に基づき公共交通網の最適化を図る。 |
| 昭和自動車(株)  | 前原～師吉公民館前・初～船越の運行<br>令和7年度 車両購入なし | 糸島市では利便増進実施計画を策定予定であり、糸島市内の公共交通網の再編を予定している。また、福岡市と糸島市を結ぶ都市間バスと糸島市内の路線バス乗り放題がセットになった「みどころ満載！糸島半島まるっとおむすびフリーパス」の販売促進に努めており、令和7年度は6,193件の販売実績であった。 | A 概ね計画通り事業は適切に実施された。 | A<br>【目標】収支率21.53%<br>輸送人員29,650人<br>【実績】収支率22.92%(+1.39%)<br>輸送人員35,002人<br>輸送人員は目標に対して5,352人の利用増となった。<br>輸送人員に関しては沿線にあるカキ小屋への観光客利用が増加し目標を達成した。収支率においても経費が増大したものの、運送収入が増加したことにより目標収支率を達成することができた。   | 更なる観光需要喚起のためにデジタルチケットの販売促進や観光施設とタッグを組んだ企画を検討するとともに、今後策定予定の第2次糸島市地域公共交通計画及び糸島市利便増進実施計画に基づく公共交通網の最適化を図る。    |

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要                                 | ③前回(又は類似事業)の<br>事業評価結果の反映状況   | ④事業実施の適切性 |                    | ⑤目標・効果達成状況  | ⑥事業の今後の改善点<br>(特記事項を含む)  |
|-----------|---------------------------------------|---|-----------|--------------------|---|--|
| 昭和自動車(株)  | 前原～師吉公民館前・野北～伊都営業所の運行<br>令和7年度 車両購入なし | 糸島市では利便増進実施計画を策定予定であり、糸島市内の公共交通網の再編を予定している。また、福岡市と糸島市を結ぶ都市間バスと糸島市内の路線バス乗り放題がセットになった「みどころ満載！糸島半島まるっとおむすびフリーパス」の販売促進に努めており、令和7年度は6,193件の販売実績であった。 | A         | 概ね計画通り事業は適切に実施された。 | B<br>【目標】収支率20.92%<br>輸送人員27,459人<br>【実績】収支率17.91%(-3.01%)<br>輸送人員30,549人<br>輸送人員は目標に対して3,090人の利用増となった。<br>輸送人員に関してはアフターコロナで生活利用者が回復したことや一部観光利用も増えたことで目標を達成した。<br>収支率においては運転士確保のための人件費増加や整備員不足による外注修繕費の増加、さらに車両代替えによる減価償却費やリース料の増加により経費が増大し目標を達成することはできなかった。<br>(キロ当たり経常費用 R6:362.61円 R7:407.65円) | 次の補助対象年度であるR7.10に本路線を観光で人気のある二見ヶ浦地区へ路線を延伸している。更なる観光利用促進のためのデジタルチケットの販売促進と併せて、今後策定予定の第2次糸島市地域公共交通計画及び糸島市利便増進実施計画に基づき公共交通網の最適化を図る。 |
| 昭和自動車(株)  | 前原駅北口～波多江～九大東ゲートの運行<br>令和7年度 車両2台購入   | 通学利用者の利便性向上のためにデジタル定期券の販売しており、令和7年度は278件の販売実績であった。また、利用実態に即したダイヤ設定にするために令和7年10月に運行回数と時刻の変更を実施した。  | A         | 概ね計画通り事業は適切に実施された。 | A<br>【目標】収支率47.15%<br>輸送人員32,005人<br>【実績】収支率49.88%(+2.73%)<br>輸送人員68,762人<br>輸送人員は目標に対して36,757人の利用増となった。<br>人件費や燃料費、減価償却費等の経費が増加したものの、路線沿線にマンションや学生寮が建設され通学利用が増えたことにより、目標を達成することができた。   | 今後も通学利用者の増加と利便性向上のためデジタル定期券の販売普及に努める。また、今後も利用実態に即したダイヤやルートの設定を検討していく。  |
| 昭和自動車(株)  | 周船寺小学校～高田～九大東ゲートの運行<br>令和7年度 車両2台購入   | 通学利用者の利便性向上のためにデジタル定期券の販売しており、令和7年度は278件の販売実績であった。また、利用実態に即したダイヤ設定にするために令和7年10月に運行回数と時刻の変更を実施した。  | A         | 概ね計画通り事業は適切に実施された。 | B<br>【目標】収支率50.94%<br>輸送人員53,679人<br>【実績】収支率49.88%(-1.06%)<br>輸送人員59,930人<br>輸送人員は目標に対して6,251人の利用増となった。<br>路線沿線にマンションや学生寮が建設され通学利用が増えたものの、運転士確保のための人件費増加や整備員不足による外注修繕費の増加、さらに車両代替えによる減価償却費やリース料の増加により経費が増大し目標を達成することはできなかった。<br>(キロ当たり経常費用 R6:362.61円 R7:407.65円)                                 | 通学利用者の増加と利便性向上のためデジタル定期券の販売普及に努めるとともに、利用実態に即したダイヤやルートの設定を検討していく。   |

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要                 | ③前回(又は類似事業)の<br>事業評価結果の反映状況   | ④事業実施の適切性                      | ⑤目標・効果達成状況   | ⑥事業の今後の改善点<br>(特記事項を含む)   |
|-----------|-----------------------|---|--------------------------------|--|---|
| 西鉄バス佐賀(株) | JR久留米～久留米警察署～<br>西鉄鳥栖 | <p>◆実施できたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>久留米広域連携中枢都市圏で作成した公共交通マップをイベント時や久留米バスセンター窓口等で配布した。</li> <li>鳥栖市公共交通マップを各所へ配布した。(MaaSについても記載あり)</li> <li>鳥栖支社窓口等では、路線ごとの時刻表を配布した</li> <li>令和6年11月25日、鳥栖市役所と協力し、沿線の基里小学校にてバス教室実施。その他以下日程で、鳥栖市内の小学校にてバス教室を実施した。(令和6年12月2日…旭小学校 令和6年12月5日…若葉小学校 令和6年12月9日…麓小学校)</li> <li>令和7年5月25日(日)、はたらくクルマ(in鳥栖プレミアムアウトレット)において、子供向けのバス乗車体験会を実施した。</li> <li>西鉄グループにおいて、令和7年9月23日、西鉄創立記念日に際し、全エリアの一般路線バスが300円で乗り放題となるデジタル乗車券を販売した。</li> <li>西鉄グループにおいて土日祝及び春休み・ゴールデンウィーク・夏休み・冬休みの期間、こども50円バスを実施した。</li> <li>ホームページ、公式X(旧Twitter)、バスナビアプリにて、各種施策(こども50円バスなど)やイベント告知を適宜実施。</li> <li>収支改善策として、令和7年2月1日に運賃改定を実施。</li> </ul> | A<br>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された | A<br><p>◆目標</p> <p>【収支率】令和5年度実績70.0%から収支改善1.0%以上を目標とする。<br/>【輸送人員】令和5年度実績197,332人以上を維持する。</p> <p>◆実績</p> <p>【収支率】72.42% 令和5年度実績から2.42%改善<br/>【輸送人員】189,373人 令和5年度実績から7,959人減少<br/>※輸送人員は減少したが、運賃改定の効果があり、収支率は改善した。</p> | <p>◆利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和7年10月4日の「バスの日イベント」に併せて鳥栖市内バス無料を実施し利用促進を図った。</li> <li>さがMaaS事業実行委員会の取り組みに参加し、令和7年10月・11月のサガン鳥栖の試合開催に併せて、スマホアプリ「my route」を活用した企画乗車券「西鉄バスで行こう！サガン鳥栖ファミリーきっぷ」を発売した。</li> <li>また、令和7年10月のTOSU NESTIVAL2025開催に併せて、「西鉄バスで行く！TOSU NESTIVAL2025デジタルきっぷ」を発売した。</li> </ul> |

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要                 | ③前回(又は類似事業)の<br>事業評価結果の反映状況   | ④事業実施の適切性                       | ⑤目標・効果達成状況   | ⑥事業の今後の改善点<br>(特記事項を含む)   |
|-----------|-----------------------|---|---------------------------------|--|---|
| 西鉄バス佐賀(株) | 鳥栖駅～綾部・国立東佐賀病院前～西鉄久留米 | <p>◆実施できたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>久留米広域連携中枢都市圏で作成した公共交通マップをイベント時や久留米バスセンター窓口等で配布した。</li> <li>鳥栖市公共交通マップを各所へ配布した。(MaaSについても記載あり)</li> <li>鳥栖支社窓口等では、路線ごとの時刻表を配布した</li> <li>令和6年12月9日…鳥栖市役所と協力し、沿線の麓小学校にてバス教室を実施した。</li> <li>※その他鳥栖市の学校2校にてバス教室を実施した(11月25日…基里小学校/12月2日…旭小学校/12月5日…若葉小学校)</li> <li>令和7年5月25日(日)、はたらくクルマ(in鳥栖プレミアムアウトレット)において、子供向けの乗車体験会を実施した。</li> <li>西鉄グループにおいて土日祝及び春休み・ゴールデンウィーク・夏休み・冬休みの期間、こども50円バスを実施した。</li> <li>ホームページ、公式X(旧Twitter)、バスナビアプリにて、各種施策(こども50円バスなど)やイベント告知を適宜実施。</li> <li>収支改善策として、令和7年2月1日に運賃改定を実施。</li> </ul> | A<br>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | B<br><p>◆目標</p> <p>【収支率】令和5年度実績43.6%から収支改善1.0%以上を目標とする。<br/>【輸送人員】令和5年度実績106,018人以上を維持する。</p> <p>◆実績</p> <p>【収支率】42.18% 令和5年度実績から1.42%悪化<br/>【輸送人員】98,623人 令和5年度実績から7,395人減少</p> <p>◆達成できなかった理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>運賃改定により、一定の収入改善効果はあったものの、乗務員の待遇改善等による運行コストの上昇がこれを上回り、さらに、運賃改定の影響で利用者の逸走が推定されることから、いずれも目標達成ができなかった。</li> </ul> | <p>◆利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和7年10月4日の「バスの日イベント」に併せて鳥栖市内バス無料を実施し利用促進を図った。</li> <li>さがMaaS事業実行委員会の取り組みに参加し、令和7年10月・11月のサガン鳥栖の試合開催に併せて、スマホアプリ「my route」を活用した企画乗車券「西鉄バスで行こう！サガン鳥栖ファミリーきっぷ」を発売した。</li> <li>また、令和7年10月のTOSU NESTIVAL2025開催に併せて、「西鉄バスで行く！TOSU NESTIVAL2025デジタルきっぷ」を発売した。</li> </ul> |
| 西鉄バス佐賀(株) | 佐賀第二合同庁舎～江見～西鉄久留米     | <p>◆実施できたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>久留米広域連携中枢都市圏で作成した公共交通マップをイベント時や久留米バスセンター窓口等で配布した。</li> <li>令和7年8月25日、あすなろクラブ(佐賀市内の放課後児童クラブ)を対象としてバス教室を実施した。</li> <li>令和7年9月23日、西鉄創立記念日に際し、全エリアの一般路線バスが300円で乗り放題となるデジタル乗車券を販売した。</li> <li>令和6年11月16日、17日の2日間、「佐賀さいこうフェス」のイベントに合わせて佐賀市内で降車された方を対象に運賃が無料となる無料DAYを実施した。</li> <li>西鉄グループにおいて土日祝及び春休み・ゴールデンウィーク・夏休み・冬休みの期間、こども50円バスを実施した。</li> <li>ホームページ、公式X(旧Twitter)、バスナビアプリにて、各種施策(こども50円バスなど)やイベント告知を適宜実施。</li> <li>収支改善策として、令和7年2月1日に運賃改定を実施。</li> </ul>   | A<br>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | B<br><p>◆目標</p> <p>【収支率】令和5年実績収支率58.7%から収支改善1.0%以上を目標とする。<br/>【輸送人員】令和5年実績187,134人以上を維持する。</p> <p>◆実績</p> <p>【収支率】58.92% 令和5年度実績から0.22%改善<br/>【輸送人員】89,603人 令和5年度実績から97,531人減少</p> <p>◆達成できなかった理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>運賃改定及び運行回数の減により、収支率は改善したものの、乗務員の待遇改善等による運行コストの上昇がこれを上回り、目標は達成できなかった。</li> </ul>                             | <p>◆利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和7年10月18日と19日の「佐賀さいこうフェス」開催に併せて佐賀市内バス無料DAYを実施し利用促進を図った。</li> </ul> <p>◆その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和6補助年度と運行回数を比較すると、運転士不足に伴う減便により便数が半減となっている。</li> <li>運行区間の久留米市内中心部は他路線との競合区間もあるため、利用状況を注視していきたい。</li> </ul>                               |

| ①補助対象事業者等               | ②事業概要                      | ③前回(又は類似事業)の<br>事業評価結果の反映状況   | ④事業実施の適切性                       | ⑤目標・効果達成状況   | ⑥事業の今後の改善点<br>(特記事項を含む)  |
|-------------------------|----------------------------|---|---------------------------------|--|--|
| 西鉄バス佐賀(株)<br>西鉄バス久留米(株) | 佐賀第二合同庁舎～目達原・<br>長門石～西鉄久留米 | <p>◆実施できたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントにて公共交通マップを配布した。</li> <li>・令和7年8月25日、あすなろクラブ(佐賀市内の放課後児童団体)と協力し、小学生向けのバス教室を実施した。令和6年12月4日、久留米市役所と協力し、京町支社にて、荘島小学校生徒を対象としたバス教室を実施した。</li> <li>・令和6年11月16日、17日の2日間、「佐賀さいこうフェス」のイベントに合わせて佐賀市内で降車された方を対象に運賃が無料となる無料DAYを実施した。</li> <li>・西鉄グループにおいて、土日祝および春休み・ゴールデンウィーク・夏休み・冬休みの期間、こども50円バスを実施した。</li> <li>・ホームページにて、各種施策(こども50円バスなど)やイベント告知を適宜実施した。加えて、公式X(旧Twitter)、バスナビアプリを活用しイベント等のPRを実施した。</li> <li>・収支改善策として、令和7年2月1日に運賃改定を実施。</li> </ul> | A<br>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | <p>◆目標</p> <p>【収支率】令和5年度実績収支率67.6%から収支改善1.0%以上を目標とする。<br/>【輸送人員】令和5年度実績196,976人以上を維持する。<br/>※西鉄バス佐賀(株)のみの実績</p> <p>◆実績</p> <p>・西鉄バス佐賀のみ 上記目標との比較<br/>【収支率】72.32% 令和5年度実績から4.72%改善<br/>【輸送人員】153,993人 令和5年度実績から42,983人減少<br/>※運行回数の減により輸送人員は減少したが、運賃改定の効果があり、収支率は改善した。</p>  | <p>◆利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年10月18日と19日の「佐賀さいこうフェス」開催に併せて佐賀市内バス無料DAYを実施し利用促進を図った。</li> <li>・令和7年7月に定時性向上を目的に所要時間の見直しを実施しており、今後も必要に応じて実施し利便性向上に努めていく。</li> </ul> <p>◆その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6補助年度と運行回数を比較すると、運転士不足に伴う減便により便数が9割となっている。</li> <li>・運行区間の久留米市内中心部は他路線との競合区間もあるため、今後も利用状況を注視していきたい。</li> </ul> |
| 西鉄バス佐賀(株)<br>西鉄バス久留米(株) | 目達原～長門石～西鉄久留米              | <p>◆実施できたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントにて公共交通マップを配布した。</li> <li>・令和7年8月25日、あすなろクラブ(佐賀市内の放課後児童団体)と協力し、小学生向けのバス教室を実施した。令和6年12月4日、久留米市役所と協力し、京町支社にて、荘島小学校生徒を対象としたバス教室を実施した。</li> <li>・令和6年11月16日、17日の2日間、「佐賀さいこうフェス」のイベントに合わせて佐賀市内で降車された方を対象に運賃が無料となる無料DAYを実施した。</li> <li>・西鉄グループにおいて、土日祝および春休み・ゴールデンウィーク・夏休み・冬休みの期間、こども50円バスを実施した。</li> <li>・ホームページにて、各種施策(こども50円バスなど)やイベント告知を適宜実施した。加えて、公式X(旧Twitter)、バスナビアプリを活用しイベント等のPRを実施した。</li> <li>・収支改善策として、令和7年2月1日に運賃改定を実施。</li> </ul> | A<br>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | <p>◆目標</p> <p>【収支率】令和5年度実績収支率97.0%から収支改善1.0%以上を目標とする。<br/>【輸送人員】令和5年度実績184,070人以上を維持する。<br/>※西鉄バス佐賀(株)のみの実績</p> <p>◆実績</p> <p>・西鉄バス佐賀のみ 上記目標との比較<br/>【収支率】103.41% 令和5年度実績から6.41%改善<br/>【輸送人員】156,350人 令和5年度実績から27,720人減少<br/>※運行回数の減により輸送人員は減少したが、運賃改定の効果があり、収支率は改善した。</p> | <p>◆利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年7月に定時性向上を目的に所要時間の見直しを実施しており、今後も必要に応じて実施し利便性向上に努めていく。</li> </ul> <p>◆その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6補助年度と運行回数を比較すると、運転士不足に伴う減便により便数が9割となっている。</li> <li>・運行区間の久留米市内中心部は他路線との競合区間もあるため、今後も利用状況を注視していきたい。</li> </ul>  |

| ①補助対象事業者等  | ②事業概要                      | ③前回(又は類似事業)の<br>事業評価結果の反映状況   | ④事業実施の適切性                      | ⑤目標・効果達成状況  | ⑥事業の今後の改善点<br>(特記事項を含む)  |
|------------|----------------------------|---|--------------------------------|---|--|
| 西鉄バス久留米(株) | 早津江～布橋～西鉄柳川                | <p>◆実施できたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・柳川市内の商業・公共施設等にバス無料乗車イベントのチラシを配布。併せて、柳川市の広報誌やホームページにイベントの内容を掲載。</li> <li>・令和6年11月22日、23日の2日間、柳川市・みやま市連携でバス無料乗車イベントを実施。2日間で427名利用(前年より61名増)</li> <li>・令和7年2月、柳川市役所にて小学3年生を対象にバスの乗り方教室を実施。</li> <li>・「こども50円バス」を長期休暇および土日祝全日で実施。</li> <li>・西鉄バス窓口、市役所窓口にて公共交通マップの配布。</li> <li>・令和7年4月24日のONE FUKUOKA BILDG.開業をバス車内で告知し、バスと鉄道の利用促進を図った。</li> <li>・収支改善策として、令和7年2月1日に運賃改定を実施。</li> </ul>   | A<br>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された | B<br><p>◆目標<br/>【収支率】令和5年度実績収支率39.3%から収支改善1.0%以上<br/>【輸送人員】令和5年度実績73,971人以上</p> <p>◆実績<br/>【収支率】39.3% 令和5年度実績から横ばい<br/>【輸送人員】75,468人 令和5年度実績から1,497人増加</p> <p>◆達成できなかった理由<br/>輸送人員は改善したが、乗務員の待遇改善等、運行コストが高騰したため、運賃改定を行ったものの収支率は横ばいとなり、目標値を達成できなかった。</p> | <p>◆利用促進<br/>令和8年度下半期に完成が予定されている柳川駅周辺整備に向けて、更なる観光需要獲得を図るため、路線バスにおいても西鉄天神大牟田線特急電車への接続強化や運行経路の変更等を行う。</p>  |
| 西鉄バス久留米(株) | 大野島農協前～堤・恋木神社・筑後市立病院～羽犬塚駅前 | <p>◆実施できたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年11月10日、大木町さるこいフェスタにて公共交通マップの配布を実施。</li> <li>・令和6年10月27日 筑後広域公園にてちっご祭が開催され、はたらく車として出展し、こども運転士体験など実施。</li> <li>・令和6年11月26日、筑後市と連携し西鉄バス久留米船小屋車庫にて水洗小学校2年生を対象にバス教室を実施。</li> <li>・令和7年9月28日、ゆめタウン大川にて令和7年10月1日バス停新設を記念して子ども運転士体験を実施。</li> <li>・「こども50円バス」を長期休暇および土日祝全日で実施。</li> <li>・西鉄バス窓口、市役所窓口にて公共交通マップの配布。</li> <li>・令和7年4月24日のONE FUKUOKA BILDG.開業をバス車内で告知し、バスと鉄道の利用促進を図った。</li> <li>・収支改善策として、令和7年2月1日に運賃改定を実施。</li> </ul> | A<br>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された | B<br><p>◆目標<br/>【収支率】令和5年度実績24.2%から収支改善1.0%以上<br/>【輸送人員】令和5年度実績40,343人以上</p> <p>◆実績<br/>【収支率】22.1% 令和5年度実績から2.1%悪化<br/>【輸送人員】36,648人 令和5年度実績から3,695人減少</p> <p>◆達成できなかった理由<br/>・運賃改定を行ったが、乗務員の待遇改善等、運行コストが高騰したため、収支率が悪化した。</p>                           | <p>◆利用促進<br/>・八丁牟田駅やJR羽犬塚駅と接続しているため、電車乗り換えを考慮し、電車のダイヤ改正がある際は、バスのダイヤ編成も実施していきたい。</p> <p>◆その他<br/>・令和7年10月1日にゆめタウン大川への経路変更を実施したため、路線状況を注視していく。</p> |

| ①補助対象事業者等  | ②事業概要            | ③前回(又は類似事業)の<br>事業評価結果の反映状況  | ④事業実施の適切性                      | ⑤目標・効果達成状況   | ⑥事業の今後の改善点<br>(特記事項を含む)   |
|------------|------------------|--|--------------------------------|--|---|
| 西鉄バス久留米(株) | 大川橋～下林・大善寺～JR久留米 | <p>◆実施できたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>久留米市生活支援交通よりみちバスと当該路線バスで相互に利用できる「1日乗車券」の周知に関して、久留米市ホームページへの掲載及び久留米市コミュニティセンターでの配布。</li> <li>市の公共施設に公共交通マップを配布し、利用促進を図った。</li> <li>令和6年11月、大川支社にて城島小学校2年生約50名を対象にバス教室を実施。</li> <li>令和6年12月4日、久留米市と連携し京町支社にて、荘島小学校1・2年生を対象にバス教室を実施。</li> <li>「こども50円バス」を長期休暇および土日祝全日で実施。</li> <li>西鉄バス窓口、市役所窓口にて公共交通マップの配布。</li> <li>令和7年4月24日のONE FUKUOKA BILDG.開業をバス車内で告知し、バスと鉄道の利用促進を図った。</li> <li>収支改善策として、令和7年2月1日に運賃改定を実施。</li> </ul> | A<br>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された | B<br><p>◆目標</p> <p>【収支率】令和5年度実績40.1%から収支改善1.0%以上<br/>【輸送人員】令和5年度実績122,164人以上</p> <p>◆実績</p> <p>【収支率】38.72% 令和5年度実績から1.38%悪化<br/>【輸送人員】115,121人 令和5年度実績から7,043人減少</p> <p>◆達成できなかった理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>運賃改定を行ったが、乗務員の待遇改善等、運行コストが高騰したため、収支率が悪化した。</li> </ul> | <p>◆利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大善寺駅やJR久留米駅と接続しているため、電車乗り換えを考慮し、電車のダイヤ改正がある際は、バスのダイヤ編成も実施していきたい。</li> <li>沿線のイベントに関するチラシをバス車内に吊り下げし利用促進を図っている。</li> </ul> |

| ①補助対象事業者等  | ②事業概要          | ③前回(又は類似事業)の<br>事業評価結果の反映状況  | ④事業実施の適切性                      | ⑤目標・効果達成状況  | ⑥事業の今後の改善点<br>(特記事項を含む)  |
|------------|----------------|--|--------------------------------|---|--|
| 西鉄バス久留米(株) | 今村天主堂～北野～西鉄久留米 | <p>◆実施できたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年10月16日～11月6日、久留米市耳納市民センターにてバス・鉄道のパネル展を実施及び公共交通マップやノベルティの配布。</li> <li>令和6年9月1日～11月3日、福岡県MaaSの取り組みとして適用範囲を運行する西鉄路線バス・西鉄電車が1日乗り放題となる『FUKUOKA 1DAY PASS』に田主丸エリアの周遊できるグリーンスローモビリティの乗車券や特典クーポンが付いた「田主丸つと もぎもぎきっぷ」を発売。</li> <li>令和6年12月4日、久留米市と連携し京町支社にて、荘島小学校1・2年生を対象にバス教室を実施。</li> <li>令和7年5月31日、久留米大学下(西鉄久留米方面)を新設し利便性の向上を図った。</li> <li>「こども50円バス」を長期休暇および土日祝全日で実施。</li> <li>西鉄バス窓口、市役所窓口にて公共交通マップの配布。</li> <li>令和7年4月24日のONE FUKUOKA BLDG.開業をバス車内で告知し、バスと鉄道の利用促進を図った。</li> <li>収支改善策として、令和7年2月1日に運賃改定を実施。</li> <li>令和6年10月12日、レイリア久留米開業に合わせて、西鉄久留米バスセンター内のベンチや整列ラインの整備、フードコートへバスナビジョンを表示させるなど待合環境の向上を図った。</li> </ul> | A<br>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された | B<br><p>◆目標</p> <p>【収支率】令和5年度実績51.5%から収支改善1.0%以上<br/>【輸送人員】令和5年度実績65,693人以上</p> <p>◆実績</p> <p>【収支率】47.13% 令和5年度実績から4.37%悪化<br/>【輸送人員】56,089人 令和5年度実績から9,604人減少</p> <p>◆達成できなかった理由</p> <p>・運賃改定を行ったが、乗務員の待遇改善等、運行コストが高騰し収支率が悪化した。久留米市内中心部では他路線との競合区間もあるため、中心部のみ移動する利用者が別の路線に振り替わっている可能性が考えられる。</p> | <p>◆利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自治体やゆめマート大刀洗等の商業施設等と連携し、バスの乗り方教室等を実施していきたい。</li> <li>北野駅や西鉄久留米駅と接続しているため、電車乗り換えを考慮し、電車のダイヤ改正がある際は、バスのダイヤ編成も実施していきたい。</li> </ul> <p>◆その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年6月以降、大刀洗町の観光地である今村天主堂が、耐震補強工事のため敷地内の立ち入り制限がかかっており観光利用のバス利用が減少。</li> </ul> |

| ①補助対象事業者等  | ②事業概要         | ③前回(又は類似事業)の<br>事業評価結果の反映状況  | ④事業実施の適切性                      | ⑤目標・効果達成状況   | ⑥事業の今後の改善点<br>(特記事項を含む)  |
|------------|---------------|--|--------------------------------|--|--|
| 西鉄バス久留米(株) | 上原～草野駅前～JR久留米 | <p>◆実施できたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年10月16日～11月6日、久留米市耳納市民センターにてバス・鉄道のパネル展を実施及び公共交通マップやノベルティの配布。</li> <li>令和6年9月1日～11月3日、福岡県MaaSの取り組みとして適用範囲を運行する西鉄路線バス・西鉄電車が1日乗り放題となる『FUKUOKA 1DAY PASS』に田主丸エリアの周遊できるグリーンスローモビリティの乗車券や特典クーポンが付いた「田主丸っと もぎもぎきっぷ」を発売。</li> <li>久留米市と連携して、令和6年10月に善導寺校区、令和7年2月に山本校区、3月に山川校区にて高齢者向けに(屋内型)バス乗り方教室を実施。</li> <li>令和6年12月4日、久留米市と連携し京町支社にて、荘島小学校1・2年生を対象にバス教室を実施。</li> <li>令和7年5月31日、久留米大学下(西鉄久留米方面)を新設し利便性の向上を図った。</li> <li>「こども50円バス」を長期休暇および土日祝全日で実施。</li> <li>西鉄バス窓口、市役所窓口にて公共交通マップの配布。</li> <li>令和7年4月24日のONE FUKUOKA BILDG.開業をバス車内で告知し、バスと鉄道の利用促進を図った。</li> <li>収支改善策として、令和7年2月1日に運賃改定を実施。</li> <li>令和6年10月12日、レイリア久留米開業に合わせて、西鉄久留米バスセンター内のベンチや整列ラインの整備、フードコートへバスナビジョンを表示させるなど待合環境の向上を図った。</li> </ul> | A<br>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された | B<br><p>◆目標</p> <p>【収支率】令和5年度実績70.1%から収支改善1.0%以上<br/>【輸送人員】令和5年度実績126,366人以上</p> <p>◆実績</p> <p>【収支率】65.52% 令和5年度実績から4.58%悪化<br/>【輸送人員】104,036人 令和5年度実績から22,330人減少</p> <p>◆達成できなかった理由</p> <p>・運賃改定を行ったが、乗務員の待遇改善等、運行コストが高騰し収支率が悪化した。久留米市内中心部では他路線との競合区間もあるため、中心部のみ移動する利用者が別の路線に振り替わっている可能性が考えられる。</p> | <p>◆利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自治体と連携し、沿線の小学校やコミュニティセンター等でバス教室を実施したい。</li> <li>筑後草野駅や西鉄久留米駅と接続しているため、電車乗り換えを考慮し、電車のダイヤ改正がある際は、バスのダイヤ編成も実施していきたい。</li> </ul> |

| ①補助対象事業者等  | ②事業概要                  | ③前回(又は類似事業)の<br>事業評価結果の反映状況   | ④事業実施の適切性                      | ⑤目標・効果達成状況   | ⑥事業の今後の改善点<br>(特記事項を含む)   |
|------------|------------------------|---|--------------------------------|--|---|
| 西鉄バス久留米(株) | JR久留米～久留米市役所～<br>羽犬塚駅前 | <p>◆実施できたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和7年2月22日～3月11日、久留米市民温水プールにてバス・鉄道のパネル展を実施及び公共交通マップやノベルティの配布。</li> <li>令和6年10月27日 筑後広域公園にてちっご祭が開催され、はたらく車として出展し、こども運転士体験など実施。</li> <li>令和6年11月26日、筑後市と連携し西鉄バス久留米船小屋車庫にて水洗小学校2年生を対象にバス教室を実施。</li> <li>令和6年12月4日、久留米市と連携し京町支社にて、荘島小学校1・2年生を対象にバス教室を実施。</li> <li>令和7年8月1日～24日、筑後市の羽犬塚駅周辺循環バスタンブラリー企画に参画し、利用促進を図った。</li> <li>「こども50円バス」を長期休暇および土日祝全日で実施。</li> <li>西鉄バス窓口、市役所窓口にて公共交通マップの配布。</li> <li>令和7年4月24日のONE FUKUOKA BILDG.開業をバス車内で告知し、バスと鉄道の利用促進を図った。</li> <li>収支改善策として、令和7年2月1日に運賃改定を実施。</li> <li>令和6年10月12日、レイリア久留米開業に合わせて、西鉄久留米バスセンター内のベンチや整列ラインの整備、フードコートへバスナビジョンを表示させるなど待合環境の向上を図った。</li> </ul> | A<br>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された | B<br><p>◆目標<br/>【収支率】令和5年度実績59.7%から収支改善1.0%以上<br/>【輸送人員】令和5年度実績60,502人以上</p> <p>◆実績<br/>[収支率]56.41% 令和5年度実績から3.29%悪化<br/>[輸送人員]54,351人 令和5年度実績から6,151人減少</p> <p>◆達成できなかった理由<br/>・運賃改定を行ったが、乗務員の待遇改善等、運行コストが高騰し収支率が悪化した。久留米市内中心部では他路線との競合区間もあるため、中心部のみ移動する利用者が別の路線に振り替わっている可能性が考えられる。</p> | <p>◆利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ちっご祭りや筑後市のりものフェスタなどの地域イベントへの出展をとおり、バスの魅力を知っていただくきっかけとなるような機会を引き続き増やしていきたい。</li> <li>西鉄電車やJR電車の駅に複数接続しているため、電車乗り換えを考慮し、電車のダイヤ改正がある際は、バスのダイヤ編成も実施していきたい。</li> </ul> |

| ①補助対象事業者等  | ②事業概要         | ③前回(又は類似事業)の<br>事業評価結果の反映状況  | ④事業実施の適切性                      | ⑤目標・効果達成状況   | ⑥事業の今後の改善点<br>(特記事項を含む)  |
|------------|---------------|--|--------------------------------|--|--|
| 西鉄バス久留米(株) | 上原～草野駅前～西鉄久留米 | <p>◆実施できたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年10月16日～11月6日、久留米市耳納市民センターにてバス・鉄道のパネル展を実施及び公共交通マップやノベルティの配布。</li> <li>・令和6年9月1日～11月3日、福岡県MaaSの取り組みとして適用範囲を運行する西鉄路線バス・西鉄電車が1日乗り放題となる『FUKUOKA 1DAY PASS』に田主丸エリアの周遊できるグリーンスローモビリティの乗車券や特典クーポンが付いた「田主丸つと もぎもぎきっぷ」を発売。</li> <li>・久留米市と連携して、令和6年10月に善導寺校区、令和7年2月に山本校区、3月に山川校区にて高齢者向けに(屋内型)バス乗り方教室を実施。</li> <li>・令和7年5月31日、久留米大学下(西鉄久留米方面)を新設し利便性の向上を図った。</li> <li>・「こども50円バス」を長期休暇および土日祝全日で実施。</li> <li>・西鉄バス窓口、市役所窓口にて公共交通マップの配布。</li> <li>・令和7年4月24日のONE FUKUOKA BILDG.開業をバス車内で告知し、バスと鉄道の利用促進を図った。</li> <li>・収支改善策として、令和7年2月1日に運賃改定を実施。</li> <li>・令和6年10月12日、レイリア久留米開業に合わせて、西鉄久留米バスセンター内のベンチや整列ラインの整備、フードコートへバスナビジョンを表示させるなど待合環境の向上を図った。</li> </ul> | A<br>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された | B<br><p>◆目標</p> <p>【収支率】令和5年度実績41.1%から収支改善1.0%以上<br/>【輸送人員】令和5年度実績64,968人以上</p> <p>◆実績</p> <p>[収支率]36.50% 令和5年度実績から4.60%悪化<br/>[輸送人員]51,429人 令和5年度実績から13,539人減少</p> <p>◆達成できなかった理由</p> <p>・運賃改定を行ったが、乗務員の待遇改善等、運行コストが高騰したため、収支率が悪化した。久留米市内中心部では他路線との競合区間もあるため、中心部のみ移動する利用者が別の路線に振り替わっている可能性が考えられる。</p> | <p>◆利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治体と連携し、沿線の小学校やコミュニティセンター等でバス教室を実施したい。</li> <li>・筑後草野駅や西鉄久留米駅と接続しているため、電車乗り換えを考慮し、電車のダイヤ改正がある際は、バスのダイヤ編成も実施していきたい。</li> </ul> |

| ①補助対象事業者等  | ②事業概要             | ③前回(又は類似事業)の<br>事業評価結果の反映状況   | ④事業実施の適切性                      | ⑤目標・効果達成状況  | ⑥事業の今後の改善点<br>(特記事項を含む)  |
|------------|-------------------|---|--------------------------------|---|--|
| 西鉄バス久留米(株) | 筑後船小屋～筑後市役所～JR久留米 | <p>◆実施できたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年2月22日～3月11日、久留米市民温水プールにてバス・鉄道のパネル展を実施及び公共交通マップやノベルティの配布。</li> <li>・令和6年10月27日 筑後広域公園にてちっご祭が開催され、はたらく車として出展し、こども運転士体験など実施した。また、同日、「船小屋～筑後船小屋駅前」間を小学生無料とする施策を実施し、バスの利用促進を図った。</li> <li>・令和6年11月26日、筑後市と連携し西鉄バス久留米船小屋車庫にて水洗小学校2年生を対象にバス教室を実施。</li> <li>・令和6年12月4日、久留米市と連携し京町支社にて、荘島小学校1・2年生を対象にバス教室を実施。</li> <li>・令和7年8月1日～24日、筑後市の羽犬塚駅周辺循環バスタンブラー企画に参画し、利用促進を図った。</li> <li>・「こども50円バス」を長期休暇および土日祝全日で実施。</li> <li>・西鉄バス窓口、市役所窓口にて公共交通マップの配布。</li> <li>・令和7年4月24日のONE FUKUOKA BILDG.開業をバス車内で告知し、バスと鉄道の利用促進を図った。</li> <li>・収支改善策として、令和7年2月1日に運賃改定を実施。</li> <li>・令和6年10月12日、レイリアク久留米開業に合わせて、西鉄久留米バスセンター内のベンチや整列ラインの整備、フードコートへバスナビジョンを表示させるなど待合環境の向上を図った。</li> </ul> | A<br>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された | A<br><p>◆目標</p> <p>【収支率】令和5年度実績78.5%から収支改善1.0%以上<br/>【輸送人員】令和5年度実績170,667人以上</p> <p>◆実績</p> <p>【収支率】80.51% 令和5年度実績から2.01%改善<br/>【輸送人員】147,053人 令和5年度実績から23,614人減少</p> | <p>◆利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ちっご祭りや筑後市のりものフェスタなどの地域イベントへの出展をとおして、バスの魅力を知っていただくきっかけとなるような機会を引き続き増やしていきたい。</li> <li>・西鉄電車やJR電車の駅に複数接続しているため、電車乗り換えを考慮し、電車のダイヤ改正がある際は、バスのダイヤ編成も実施していきたい。</li> <li>・令和7年10月1日に高良台リハビリテーション病院前バス停を新設し利便性の向上を図った。</li> </ul> |

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要                   | ③前回(又は類似事業)の<br>事業評価結果の反映状況   | ④事業実施の適切性                           | ⑤目標・効果達成状況   | ⑥事業の今後の改善点<br>(特記事項を含む)  |
|-----------|-------------------------|---|-------------------------------------|--|--|
| 西鉄バス筑豊㈱   | 新飯塚駅～飯塚・小竹上町～<br>赤池工業団地 | <p>①公共施設内でのポスター掲示やチラシの配架を行い、市内各種イベントにおいてノベルティ等の配布を行うことで、バス利用を呼びかけ、路線収益の増加を図った。</p> <p>②広報紙等での利用啓発に向けたPR(福智町)</p> <p>③こども50円バスを定期的実施し、バスに乗るきっかけ作りや将来のバス利用につなげた。</p>                    | <p>A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。</p> | <p>B 【目標】<br/>収支率45.58%<br/>輸送人員89,535人</p> <p>【実績】<br/>収支率39.27%(▲6.31%)<br/>輸送人員83,954人(▲5,581人)</p> <p>輸送人員が減少し、それに伴い収支率も減少した。</p>                                    | <p>市町内での各種イベント(福祉のつどい等)においてノベルティやチラシの配布を市町と連携して行う事で、利用促進を図る。また、市の広報誌には、こども50円バスやバス運転士募集について掲載し、公共交通機関の利用促進及び運転手確保について強化していく。</p> |
| 西鉄バス筑豊㈱   | 直方～五反田・鞍手車庫～遠賀川駅        | <p>①沿線学校や企業への通勤・通学、病院への通院利用者に対してバス利用の呼びかけを行うことで、利用者の増を図った。</p> <p>②地域住民との意見交換や各種イベントなどで公共交通利用への意識醸成を図る。</p> <p>③出前講座における路線バスのPR</p> <p>④こども50円バスを定期的実施し、バスに乗るきっかけ作りや将来のバス利用につなげた。</p> | <p>A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。</p> | <p>B 【目標】<br/>収支率29.43%<br/>輸送人員83,603人</p> <p>【実績】<br/>収支率27.54%(▲1.89%)<br/>輸送人員70,792人(▲12,811人)</p> <p>需給調整を実施したが、人件費・燃料費など各種費用の高騰もあり、当系統は収支率、輸送人員ともに改善には至らなかった。</p> | <p>役場窓口・公共施設等で、沿線の地域住民や学校、企業へ、通勤・通学、病院への通院利用に対して、利用の呼びかけ(チラシや時刻表の配布等)を市町と連携して行い、利用促進を図る。</p>                                     |

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要      | ③前回(又は類似事業)の<br>事業評価結果の反映状況  | ④事業実施の適切性                       | ⑤目標・効果達成状況   | ⑥事業の今後の改善点<br>(特記事項を含む)  |
|-----------|------------|--|---------------------------------|--|--|
| 西鉄バス筑豊株   | 遠賀川駅～新入～直方 | <p>①沿線学校や企業への通勤・通学、病院への通院利用者に対してバス利用の呼びかけを行うことで、利用者の増を図った。</p> <p>②地域住民との意見交換や各種イベントなどで公共交通利用への意識醸成を図る。</p> <p>③出前講座における路線バスのPR</p> <p>④こども50円バスを定期的実施し、バスに乗るきっかけ作りや将来のバス利用につなげた。</p>  | A<br>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | <p>【目標】<br/>収支率23.95%<br/>輸送人員41,603人</p> <p>【実績】<br/>収支率27.00%(+3.05%)<br/>輸送人員37,722人(▲3,881人)</p> <p>需給調整により、収支率は改善したが、当系統の運行回数を減少させたことで、輸送人員は減少した。</p> | 需給調整を実施したことにより収支率の目標を達成しているが、輸送人員においても目標達成すべく、地域住民や学校、企業へ、通勤・通学、病院への通院利用に対して、利用の呼びかけ(バスガイドや時刻表の配布等)を市町と連携して行い、利用促進を図る。 |
| 西鉄バス筑豊株   | 西鉄大隈～漆生～飯塚 | <p>①観光施設・沿線商店街等へのバス時刻表等の配架および市内各種イベントにおいてノベルティ等の配架を行うことで、バス利用を呼びかけた。また、公共施設内でのポスター掲示やバス利用を呼び掛けるチラシの配架を行うとともに、地域住民に対して公共交通機関の利用促進を呼びかける利用ガイドを配布した。</p> <p>②公共施設内でのポスター掲示やチラシの配架を行い、市内各種イベントにおいてノベルティ等の配布を行うことで、バス利用を呼びかけ、路線収益の増加を図った。</p> <p>③バス利用の呼びかけを行い、バス利用者の増を図った。</p> <p>④市バスとの乗り継ぎを強化、沿線住民の方々への利用促進の呼びかけを行った。</p> <p>⑤普通第二種運転免許取得にかかる費用の一部補助及び、乗務員募集の広報を行い、乗務員不足の解消を図った。</p> <p>⑥こども50円バスを定期的実施し、バスに乗るきっかけ作りや将来のバス利用につなげた。</p> <p>⑦定期券購入補助制度を広報し通学時におけるバス利用の呼びかけを行い、バス利用者の増を図った。</p> | A<br>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | <p>【目標】<br/>収支率43.60%<br/>輸送人員133,140人</p> <p>【実績】<br/>収支率40.63%(▲2.97%)<br/>輸送人員125,098人(▲8,042人)</p> <p>輸送人員が減少したことにより、収支率も減少した。</p>                     | 沿線の地域住民や学校、企業へ、通勤・通学、病院への通院利用に対して、チラシや時刻表の配布等を市町と連携して行い、利用を呼びかける。また、小・中学校の卒業学年を対象に学校を通じて通学等補助金のチラシを配布し、公共交通機関の利用促進を図る。 |

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要       | ③前回(又は類似事業)の<br>事業評価結果の反映状況  | ④事業実施の適切性                           | ⑤目標・効果達成状況  | ⑥事業の今後の改善点<br>(特記事項を含む)  |
|-----------|-------------|--|-------------------------------------|---|--|
| 西鉄バス筑豊㈱   | 西鉄大隈～桂川駅～飯塚 | <p>①観光施設・沿線商店街等へのバス時刻表等の配架および市内各種イベントにおいてノベルティ等の配架を行うことで、バス利用を呼びかけた。また、公共施設内でのポスター掲示やバス利用を呼び掛けるチラシの配架を行うとともに、地域住民に対して公共交通機関の利用促進を呼びかける利用ガイドを配布した。</p> <p>②公共施設内でのポスター掲示やチラシの配架を行い、市内各種イベントにおいてノベルティ等の配布を行うことで、バス利用を呼びかけ、路線収益の増加を図った。</p> <p>③定期券購入補助制度を広報し通学時におけるバス利用の呼びかけを行い、バス利用者の増を図った。</p> <p>④市バスとの乗り継ぎを強化、沿線住民の方々への利用促進の呼びかけを行った。</p> <p>⑤普通第二種運転免許取得にかかる費用の一部補助及び、乗務員募集の広報を行い、乗務員不足の解消を図った。</p> <p>⑥こども50円バスを定期的実施し、バスに乗るきっかけ作りや将来のバス利用につなげた。</p> | <p>A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。</p> | <p>B 【目標】<br/>収支率41.59%<br/>輸送人員40,757人</p> <p>【実績】<br/>収支率38.12%(▲3.47%)<br/>輸送人員41,068人(+311人)</p> <p>人件費・燃料費など各種費用の高騰があり、収支率の改善には至らなかった。</p> | <p>市町と連携して、沿線の地域住民や学校、企業へ、通勤・通学、病院への通院利用に対して、バス利用の呼びかけを行い、利用促進に努める。</p> <p>また、路線維持に向けた運転士不足改善のため、市の広報紙では運転士募集や二種免許取得助成事業について掲載し運転手確保を強化していく。</p> |

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要       | ③前回(又は類似事業)の<br>事業評価結果の反映状況   | ④事業実施の適切性                       | ⑤目標・効果達成状況  | ⑥事業の今後の改善点<br>(特記事項を含む)  |
|-----------|-------------|---|---------------------------------|---|--|
| 西鉄バス筑豊株   | 山野社宅～上三緒～飯塚 | <p>①沿線の高校等(飯塚高校等)の生徒に対しバス利用の呼びかけを行い、バス利用者の増を図った。</p> <p>②市報・市HP等に利用促進の記事を掲載し、観光施設・沿線商店街等へのバス時刻表等の配架を行うことで、バス利用を呼びかけた。また、地域住民に対して公共交通機関の利用促進を呼びかける利用ガイドを配布した。</p> <p>③公共施設内でのポスター掲示やチラシの配架を行い、市内各種イベントにおいてノベルティ等の配布を行うことで、バス利用を呼びかけ、路線収益の増加を図った。</p> <p>④普通第二種運転免許取得に係る費用の一部補助及び、乗務員募集の広報を行い、乗務員不足の解消を図った。</p> <p>⑤こども50円バスを定期的実施し、バスに乗るきっかけ作りや将来のバス利用につなげた。</p> <p>⑥定期券購入補助制度を広報し通学時におけるバス利用の呼びかけを行い、バス利用者の増を図った。</p>                           | A<br>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | B<br>【目標】<br>収支率49.89%<br>輸送人員56,408人<br>【実績】<br>収支率43.38%(▲6.51%)<br>輸送人員55,396人(▲1,012人)<br><br>輸送人員が減少したことにより、収支率も減少した。              | 小・中学校の卒業学年を対象に、学校を通じて通学等補助金のチラシを配布し、公共交通機関の利用促進を図る。<br>また、市の広報紙ではバス運転士募集や二種免許取得助成事業について掲載し、運転手確保についても市町と連携のうえ強化していく。 |
| 西鉄バス筑豊株   | 上山田～上三緒～飯塚  | <p>①市報・市HP等に利用促進の記事を掲載し、観光施設・沿線商店街等へのバス時刻表等の配架を行うことで、バス利用を呼びかけた。また、地域住民に対して公共交通機関の利用促進を呼びかける利用ガイドを配布した。</p> <p>②公共施設内でのポスター掲示やチラシの配架を行い、市内各種イベントにおいてノベルティ等の配布を行うことで、バス利用を呼びかけ、路線収益の増加を図った。</p> <p>③バス利用の呼びかけを行い、バス利用者の増を図った。</p> <p>④市バスとの乗り継ぎを強化、沿線住民の方々への利用促進の呼びかけを行った。</p> <p>⑤普通第二種運転免許取得に係る費用の一部補助及び、乗務員募集の広報を行い、乗務員不足の解消を図った。</p> <p>⑥こども50円バスを定期的実施し、バスに乗るきっかけ作りや将来のバス利用につなげた。</p> <p>⑦定期券購入補助制度を広報し通学時におけるバス利用の呼びかけを行い、バス利用者の増を図った。</p> | A<br>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | B<br>【目標】<br>収支率63.91%<br>輸送人員108,098人<br>【実績】<br>収支率58.19%(▲5.72%)<br>輸送人員109,848人(+1,750人)<br><br>人件費・燃料費など各種費用の高騰があり、収支率の改善には至らなかった。 | 小・中学校の卒業学年を対象に、学校を通じて通学等補助金のチラシを配布し、公共交通機関の利用促進を図る。<br>各種イベントにおいては、沿線の地域住民へ利用の呼びかけ(チラシやノベルティ等の配布)を市町と連携して行い、利用促進を図る。 |

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要                  | ③前回(又は類似事業)の<br>事業評価結果の反映状況   | ④事業実施の適切性                       | ⑤目標・効果達成状況  | ⑥事業の今後の改善点<br>(特記事項を含む)   |
|-----------|------------------------|---|---------------------------------|---|---|
| 西鉄バス筑豊株   | 西鉄後藤寺～川崎～めんべい<br>添田町工場 | <p>①当該路線沿線の病院や学校に向けて、利用促進チラシの配布を行うことで、利用者の増を図った。また、イベント開催時に、路線バス・コミュニティバスを含めた周知を行い、利用者の増を図った。</p> <p>②沿線病院等への時刻表の配布と併せて、幹線と接続しているコミュニティバスの便について周知することでバス利用者の増を図った。</p> <p>③市広報紙等での利用啓発に向けたPR(田川市)</p> <p>④こども50円バスを定期的実施し、バスに乗るきっかけ作りや将来のバス利用につなげた。</p> | A<br>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | <p>【目標】<br/>収支率38.22%<br/>輸送人員66,546人</p> <p>【実績】<br/>収支率29.63%(▲8.59%)<br/>輸送人員59,538人(▲7,008人)</p> <p>輸送人員が減少したことにより、収支率も減少した。</p>        | ※令和7年10月1日より系統廃止  |
| 西鉄バス筑豊株   | 赤坂橋～有井～飯塚              | <p>①公共施設内でのポスター掲示やチラシの配架を行い、市内各種イベントにおいてノベルティ等の配布を行うことで、バス利用を呼びかけ、路線収益の増加を図った。</p> <p>②こども50円バスを定期的実施し、バスに乗るきっかけ作りや将来のバス利用につなげた。</p>  | A<br>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | <p>【目標】<br/>収支率65.16%<br/>輸送人員54,114人</p> <p>【実績】<br/>収支率65.37%(+0.21%)<br/>輸送人員49,017人(▲5,097人)</p> <p>路線系統見直しにより、収支率は改善したが、輸送人員が減少した。</p> | 路線系統見直しにより収支率は改善しており、更なる輸送人員増に向け、周辺の商業施設でのイベントや役場窓口で市町と連携してチラシの配布を行う事で、利用促進を図る。 |

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要          | ③前回(又は類似事業)の<br>事業評価結果の反映状況  | ④事業実施の適切性                       | ⑤目標・効果達成状況  | ⑥事業の今後の改善点<br>(特記事項を含む)   |
|-----------|----------------|--|---------------------------------|---|---|
| 西鉄バス筑豊株   | 明治坑～飯塚～明星寺団地   | <p>①公共施設内でのポスター掲示やチラシの配架を行い、市内各種イベントにおいてノベルティ等の配布を行うことで、バス利用を呼びかけ、路線収益の増加を図った。</p> <p>②こども50円バスを定期的実施し、バスに乗るきっかけ作りや将来のバス利用につなげた。</p>   | A<br>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | <p>【目標】<br/>収支率71.52%<br/>輸送人員158,553人</p> <p>【実績】<br/>収支率62.14%(▲9.38%)<br/>輸送人員122,653人(▲35,900人)</p> <p>輸送人員が減少したことにより、収支率も減少した。</p>   | 市の広報誌でのPR(こども50円バス等)や商業施設でのイベントや役場窓口での利用の呼びかけ(チラシの配布等)を市町と連携して行うことで、利用促進及び運転手確保を強化していく。                               |
| 西鉄バス筑豊株   | 直方～引野口～黒崎      | <p>①市民を対象とした出前講演等において、公共交通の維持の重要性等を説明し、公共交通の利用促進を図った。</p> <p>②こども50円バスを定期的実施し、バスに乗るきっかけ作りや将来のバス利用につなげた。</p> <p>③沿線学校の小学生などに対して利用の呼びかけを行うことで、利用者の増を図った。</p> <p>④地域住民との意見交換や各種イベントなどで公共交通利用への意識醸成を図った。</p> | A<br>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | <p>【目標】<br/>収支率67.10%<br/>輸送人員159,506人</p> <p>【実績】<br/>収支率65.08%(▲2.02%)<br/>輸送人員155,134人(▲4,372人)</p> <p>輸送人員が減少したことにより、収支率も減少した。</p>  | 通勤利用が多い路線であるため、こども50円バスのPRを強化し、土日・長期休暇中の家族を含めた利用の促進を行う。   |
| 西鉄バス筑豊株   | 宮田バス停～鞍手車庫～鞍手駅 | <p>①時刻表や路線を掲載したバスガイドを、沿線の病院や商業施設等に配布し、路線バス利用者の増を図った。</p> <p>②定期的開催するイベントとの提携(公共交通利用によるイベントへの参加の奨励など)、イベントでのチラシの配布。利用促進に向けた広報での周知。</p>  | A<br>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | <p>【目標】<br/>収支率23.82%<br/>輸送人員20,816人</p> <p>【実績】<br/>収支率20.02%(▲3.8%)<br/>輸送人員23,175人(+2,359人)</p> <p>鞍手町役場のリニューアルや路線系統を変更したことにより、輸送人員は増加したが、人件費・燃料費など各種費用の高騰があり、収支率の改善には至らなかった。</p> | 市町と連携して、沿線の地域住民や学校、企業へ、通勤・通学、病院への通院利用に対して利用の呼びかけを行う。また、「くらで元気まつり」イベントでは、公共交通啓発の専用ブースを設置し、来場者に対して啓発物(ノベルティやチラシ等)を配布する。 |

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要                        | ③前回(又は類似事業)の<br>事業評価結果の反映状況   | ④事業実施の適切性                      | ⑤目標・効果達成状況  | ⑥事業の今後の改善点<br>(特記事項を含む)   |
|-----------|------------------------------|---|--------------------------------|---|---|
| 西鉄バス宗像(株) | 津屋崎～鐘崎線(東郷駅～波止場・福岡海岸～光陽台六丁目) | <p>①福津市が運行するコミュニティバス「ふくつミニバス」との乗継利用にかかる施策を継続し、公共交通の効率化を図った。</p> <p>②沿線学校である光陵高校、水産高校に対して利用の呼びかけを実施した。</p> <p>③路線エリアの回覧板を使用し、バス利用年齢層の主力となる学生向け商品(ワイドエコルカード)および高齢者向け商品(グランドバス)のPRを行い、利用者増を図った。</p> <p>④大島島内の観光を促進するPR活動を実施することで、大島を訪れる観光客が当該路線を利用することに伴う利用者増を図った。</p> <p>⑤こども50円バスの実施およびPRを行い、バスを知るきっかけ作りや将来のバス利用につなげた。</p> | A<br>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された | B<br>【目標】収支率 令和5年度実績61.4%から収支改善1.0%以上を目標とする。<br>輸送人員 94,720人<br>【実績】収支率 61.60% (+0.20%)<br>輸送人員 88,319人 (▲6,401人)<br>令和6年1月20日に運賃改定の実施及び特殊定期券の見直しを行ったほか、路線系統の見直しにより、収支率は改善したが輸送人員が減少した。 | ※令和7年10月1日より系統廃止  |
| 西鉄バス宗像(株) | 津屋崎～鐘崎線(東郷駅～宗像大社～神湊波止場)      | <p>①大島島内の観光を促進するPR活動を実施することで、大島を訪れる観光客が当該路線を利用することに伴う利用者増を図った。</p> <p>②路線エリアの回覧板を使用し、バス利用年齢層の主力となる学生向け商品(ワイドエコルカード)及び高齢者向け商品(グランドバス)のPRを行い、利用者増を図った。</p> <p>③こども50円バスの実施およびPRを行い、バスを知るきっかけ作りや将来のバス利用につなげた。</p>  | A<br>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された | B<br>【目標】収支率 令和5年度実績69.03%から収支改善1.0%以上を目標とする。<br>輸送人員 66,533人<br>【実績】収支率 67.70% (▲1.33%)<br>輸送人員 62,928人 (▲3,605人)<br>令和6年1月20日に運賃改定の実施及び特殊定期券の見直しを行ったが、輸送人員が減少したことにより、収支率も悪化した。        | 沿線利用者に対して、定期券利用のPRを継続し、更なる利用者増に努める。また観光地へのアクセス手段としての利便性を周知し、観光利用の促進につなげる。 |

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要                         | ③前回(又は類似事業)の<br>事業評価結果の反映状況  | ④事業実施の適切性                      | ⑤目標・効果達成状況   | ⑥事業の今後の改善点<br>(特記事項を含む)  |
|-----------|-------------------------------|--|--------------------------------|--|--|
| 西鉄バス宗像(株) | 津屋崎～鐘崎線(鐘崎車庫～宗像コモン・東郷～東郷駅)    | <p>①路線上の地域の回覧板等を活用し、バス利用年齢層の主力となる学生向け商品(ワイドエコルカード)及び高齢者向け商品(グランドバス)のPRを行い、利用者増を図った。</p> <p>②地域イベントで時刻表等を配布し、バス利用を促進するPR活動を行い、利用者増を図った。</p> <p>③こども50円バスを実施し、バスを知るきっかけ作りや将来のバス利用につなげた。</p>        | A<br>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された | <p>【目標】収支率 令和5年度実績45.52%から収支改善1.0%以上を目標とする。</p> <p>輸送人員 103,734人</p> <p>【実績】収支率 49.47% (+3.95%)</p> <p>輸送人員 96,435人 (▲7,299人)</p> <p>令和6年1月20日に運賃改定の実施及び特殊定期券の見直しを行ったことにより、収支率は改善したものの、輸送人員の目標値には至らなかった。</p> | 沿線利用者に対する定期券利用のPRを継続し、更なる利用者増を図るとともに、運行情報や利用方法の周知を強化して、分かりやすい交通サービスを提供し観光利用の促進につなげる。一方で、利用者が少ない区間については効率的な運行体制の確保が課題であるため、引き続き関係自治体と協議を行う。 |
| 西鉄バス宗像(株) | 津屋崎～鐘崎線(鐘崎車庫～ネオボリス・宗寿園～赤間営業所) | <p>①路線上の地域の回覧板等を活用し、バス利用年齢層の主力となる学生向け商品(ワイドエコルカード)及び高齢者向け商品(グランドバス)のPRを行い、利用者増を図った。</p> <p>②地域イベントで時刻表等を配布し、バス利用を促進するPR活動を行い、利用者増を図った。</p> <p>③こども50円バスの実施およびPRを行い、バスを知るきっかけ作りや将来のバス利用につなげた。</p> | A<br>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された | <p>【目標】収支率 令和5年度実績42.8%から収支改善1.0%以上を目標とする。</p> <p>輸送人員 105,690人</p> <p>【実績】収支率 41.14% (▲1.66%)</p> <p>輸送人員 93,218人 (▲12,472人)</p> <p>令和6年1月20日に運賃改定の実施及び特殊定期券の見直しを行ったが、輸送人員が減少したことにより、収支率も悪化した。</p>          | 沿線利用者に対して定期券利用のPRを継続する一方、利用者が少ない路線であるため、効率的な運行体制の確保について、引き続き関係市町村と協議を行う。   |

| ①補助対象事業者等  | ②事業概要                                     | ③前回(又は類似事業)の<br>事業評価結果の反映状況   | ④事業実施の適切性                      | ⑤目標・効果達成状況   | ⑥事業の今後の改善点<br>(特記事項を含む)  |
|------------|---|---|--------------------------------|--|--|
| 西鉄バス大牟田(株) | 西鉄大牟田営業所～大牟田市<br>立病院・上町～庄山                | <p>今年度は、継続的な利用促進の取組みに加え、運行情報の視認性向上をはじめとした分かりやすく使いやすいバス停を目指し、市内4箇所スマートバス停を設置するなど、利用者の拡大に努めた。</p> <p>◇実施できたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント等でのバス出展や運転士体験会の実施</li> <li>・バス教室の実施(2校)</li> <li>・イベント及びバス教室でのチラシ配布</li> <li>・デジタルスタンプラリーの実施</li> <li>・利用促進事業の実施</li> <li>・子ども50円バス、子ども無料バスの実施</li> <li>・シーズン毎のバス車内装飾</li> <li>・令和6年10月5日に運賃改定を実施</li> <li>・スマートバス停の設置</li> </ul> | A<br>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された | <p>定量的な効果目標<br/>【収支率】令和5年実績収支率30.4%から収支改善1.0%以上を目標とする。<br/>【輸送人員】令和5年度実績28,861人以上を維持する。</p> <p>[収支率]24.45% 令和5年度実績から5.95%悪化<br/>[輸送人員]21,845人 令和5年度実績から7,016人減少</p> <p>◇達成できなかった理由<br/>令和6年10月5日に実施した運賃改定により、一定の収入改善効果はあったものの、人件費・燃油費の高騰により経費が増加し、また、運賃改定の影響で利用者の逸走も生じたことから、いずれも目標達成ができなかった。</p> | <p>◇利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和8年1月に、ノンステップバスを4台導入。</li> <li>・令和7年11月に大牟田市と連携し、「my route」で発売中のおおむた1日乗り放題バスきっぷを100円で販売するキャンペーンを実施し、早期に予定枚数300枚が完売した。今回収集したアンケート結果を基にPR施策を実施していきたい。</li> </ul> <p>◇その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年10月1日に利用者の少ない勝立～庄山間の減便を実施。今後の利用状況を注視していく。</li> </ul>  |
| 西鉄バス大牟田(株) | 西鉄大牟田営業所～延命公園<br>動物園前・大牟田市立病院・新大牟田駅～南関町役場 | <p>今年度は、継続的な利用促進の取組みに加え、運行情報の視認性向上をはじめとした分かりやすく使いやすいバス停を目指し、市内4箇所スマートバス停を設置するなど、利用者の拡大に努めた。</p> <p>◇実施できたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント等でのバス出展や運転士体験会の実施</li> <li>・バス教室の実施(2校)</li> <li>・イベント及びバス教室でのチラシ配布</li> <li>・デジタルスタンプラリーの実施</li> <li>・利用促進事業の実施</li> <li>・子ども50円バス、子ども無料バスの実施</li> <li>・シーズン毎のバス車内装飾</li> <li>・令和6年10月5日に運賃改定を実施</li> <li>・スマートバス停の設置</li> </ul> | A<br>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された | <p>定量的な効果目標<br/>【収支率】令和5年度実績37.5%から収支改善1.0%以上を目標とする。<br/>【輸送人員】令和5年度実績112,830人以上を維持する。</p> <p>[収支率]39.11% 令和5年度実績から1.61%改善<br/>[輸送人員]107,074人 令和5年度実績から5,756人減少</p>  | <p>◇利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和8年1月に、ノンステップバスを4台導入。</li> <li>・令和7年11月に大牟田市と連携し、「my route」で発売中のおおむた1日乗り放題バスきっぷを100円で販売するキャンペーンを実施し、早期に予定枚数300枚が完売した。今回収集したアンケート結果を基にPR施策を実施していきたい。</li> </ul> <p>◇その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・R5年11月1日より一部区間を並行する同路線他系統(行先番号57-2番)において、新大牟田駅でより多くの新幹線と接続できるよう、新大牟田駅への乗り入れ便数を増加やした(改正前平日28便、改正後平日42便)。また、新大牟田駅周辺では産業団地用地がR6年より分譲開始されている。今後も利便性が高い施策が実施できるよう状況を注視する。</li> </ul> |

| ①補助対象事業者等  | ②事業概要              | ③前回(又は類似事業)の<br>事業評価結果の反映状況   | ④事業実施の適切性                      | ⑤目標・効果達成状況   | ⑥事業の今後の改善点<br>(特記事項を含む)  |
|------------|--------------------|---|--------------------------------|--|--|
| 西鉄バス大牟田(株) | 荒尾駅前～右京町～久福木団地     | <p>今年度は、継続的な利用促進の取組みに加え、運行情報の視認性向上をはじめとした分かりやすく使いやすいバス停を目指し、市内4箇所スマートバス停を設置するなど、利用者の拡大に努めた。</p> <p>◇実施できたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント等でのバス出展や運転士体験会の実施</li> <li>・バス教室の実施(2校)</li> <li>・イベント及びバス教室でのチラシ配布</li> <li>・デジタルスタンプラリーの実施</li> <li>・利用促進事業の実施</li> <li>・子ども50円バス、子ども無料バスの実施</li> <li>・シーズン毎のバス車内装飾</li> <li>・令和6年10月5日に運賃改定を実施</li> <li>・スマートバス停の設置</li> </ul> | A<br>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された | <p>定量的な効果目標</p> <p>【収支率】令和5年度実績収支率65.2%から収支改善1.0%以上を目標とする。</p> <p>【輸送人員】令和5年度実績117,169人以上を維持する。</p> <p>[収支率]68.46% 令和5年度実績から3.26%改善</p> <p>[輸送人員]102,447人 令和5年度実績から14,722人減少</p> | <p>◇利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和8年1月に、ノンステップバスを4台導入。</li> <li>・令和7年11月に大牟田市と連携し、「my route」で発売中のおおむた1日乗り放題バスきっぷを100円で販売するキャンペーンを実施し、早期に予定枚数300枚が完売した。今回収集したアンケート結果を基にPR施策を実施していきたい。</li> <li>・JR荒尾駅でのJR線との接続の見直しを検討していく。</li> </ul> <p>◇その他</p> <p>近年、早朝夜間時間帯から日中時間帯にご利用がシフトしている傾向にある。一方で1時間に1便程度の運行と、運行便数も少ないため、一定程度は等間隔での運行が必要と考える。今後も状況を注視する。</p> |
| 西鉄バス大牟田(株) | 荒尾駅前～天領橋・高泉団地～三池中町 | <p>今年度は、継続的な利用促進の取組みに加え、運行情報の視認性向上をはじめとした分かりやすく使いやすいバス停を目指し、市内4箇所スマートバス停を設置するなど、利用者の拡大に努めた。</p> <p>◇実施できたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント等でのバス出展や運転士体験会の実施</li> <li>・バス教室の実施(2校)</li> <li>・イベント及びバス教室でのチラシ配布</li> <li>・デジタルスタンプラリーの実施</li> <li>・利用促進事業の実施</li> <li>・子ども50円バス、子ども無料バスの実施</li> <li>・シーズン毎のバス車内装飾</li> <li>・令和6年10月5日に運賃改定を実施</li> <li>・スマートバス停の設置</li> </ul> | A<br>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された | <p>定量的な効果目標</p> <p>【収支率】令和5年度実績収支率68.3%から収支改善1.0%以上を目標とする。</p> <p>【輸送人員】令和5年度実績116,207人以上を維持する。</p> <p>[収支率]72.50% 令和5年度実績から4.20%改善</p> <p>[輸送人員]107,240人 令和5年度実績から8,967人減少</p>  | <p>◇利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和8年1月に、ノンステップバスを4台導入。</li> <li>・令和7年11月に大牟田市と連携し、「my route」で発売中のおおむた1日乗り放題バスきっぷを100円で販売するキャンペーンを実施し、早期に予定枚数300枚が完売した。今回収集したアンケート結果を基にPR施策を実施していきたい。</li> <li>・JR荒尾駅でのJR線との接続の見直しを検討していく。</li> </ul> <p>◇その他</p> <p>近年、早朝夜間時間帯から日中時間帯にご利用がシフトしている傾向にある。一方で1時間に1便程度の運行と、運行便数も少ないため、一定程度は等間隔での運行が必要と考える。今後も状況を注視する。</p> |

| ①補助対象事業者等  | ②事業概要                         | ③前回(又は類似事業)の<br>事業評価結果の反映状況  | ④事業実施の適切性                       | ⑤目標・効果達成状況  | ⑥事業の今後の改善点<br>(特記事項を含む)  |
|------------|-------------------------------|--|---------------------------------|---|--|
| 西鉄バス北九州(株) | 香月営業所～鳥森・JR中間駅<br>～筑鉄中間の運行    | <p>・中間市では、当路線の時刻表、路線図等を掲載した冊子を市役所窓口にて配架し、当路線の利便性の良さを周知したほか、ホームページで沿線のイベントを案内した。また、沿線の小学校において、西鉄バス北九州と共同でバスの乗り方教室を開催した。</p> <p>・北九州市では、市民を対象とした出前講演等において、モビリティマネジメントを実施することにより公共交通の利用促進に取り組んだ。</p> <p>・西鉄バス北九州では、沿線に所在する学校で定期券説明会を実施した。また、こども50円バスの適用期間を土日祝日に拡大し、将来の新規ユーザー獲得に努めた。</p>   | A<br>事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。 | <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・収支率＝34.01%以上</li> <li>・輸送人員＝38,198人以上</li> </ul> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・収支率＝37.7%(達成)</li> <li>・輸送人員＝43,368人(達成)</li> </ul> <p>収支率については、待遇改善および軽油単価の高止まりによる費用増があったが、運賃改定の効果及び利用者の増加もあり目標を達成できた。輸送人員については目標を達成した。</p> | <p>・バスの乗り方教室等のモビリティマネジメントを引き続き実施し、利用促進および新規ユーザー獲得を図る。</p> <p>・当該路線の利便性や沿線イベントについて、中間市ホームページでのPRを引き続き実施し、当該路線の利用促進を図る。</p> <p>・長期的な路線維持のため、自治体と事業者によるダイヤ改定実施の検討を引き続き行う。</p> |
| 西鉄バス北九州(株) | 行橋営業所～九州労災病院の<br>運行<br>車両購入2台 | <p>・朽網駅～南朽網～北九州空港を結ぶバス路線で増便を行い、乗り継ぎによる北九州空港へのアクセスの利便性を向上させた。</p> <p>・北九州市では、市民を対象とした出前講演等において、モビリティマネジメントを実施することにより公共交通の利用促進に取り組んだ。</p> <p>・苅田町では、各種イベントにて公共交通利用啓発を実施し、本路線が九州労災病院へ直通していることや、こども50円バスキャンペーンについてのPRを行った。</p> <p>・行橋市では、バスの乗り方や路線図を掲載したパンフレットを作成して各所で配布したほか、バスの日にあわせて商業施設で利用促進チラシとグッズの配布を行った。また、公共交通の利用促進事業として市内在住の70歳以上を対象に交通券を販売した。</p> <p>・西鉄バス北九州では、こども50円バスの適用期間を土日祝日に拡大し、将来の新規ユーザー獲得に努めた。</p> | A<br>事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。 | <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・収支率＝28.54%以上</li> <li>・輸送人員＝72,463人以上</li> </ul> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・収支率＝28.1%(未達成)</li> <li>・輸送人員＝74,793人(達成)</li> </ul> <p>輸送人員については目標を達成したものの、収支率については、待遇改善および軽油単価の高止まりによる費用増により、達成率が9割強にとどまった。</p>            | <p>・関係機関のホームページやSNSでのPRを引き続き実施し、当該路線の利用促進を図る。</p> <p>・利便性向上と長期的な路線維持のため、他交通機関網との接続を意識したダイヤ改定実施の検討を行う。</p>  |

| ①補助対象事業者等  | ②事業概要                        | ③前回(又は類似事業)の<br>事業評価結果の反映状況   | ④事業実施の適切性             | ⑤目標・効果達成状況   | ⑥事業の今後の改善点<br>(特記事項を含む)  |
|------------|------------------------------|---|-----------------------|--|--|
| 西鉄バス二日市(株) | 【星ヶ丘線】西鉄二日市駅東口<br>～太宰府高校入口   | ・子ども50円バスを土日や長期休暇期間に実施し、将来を見据えた利用促進を図った。<br>・沿線エリアの地域住民や通勤・通学者へチラシやノベルティを配布するなど利用促進を図った。  | A<br>計画通り事業は適切に実施された。 | 【目標】<br>・収支率 74.1%以上<br>・輸送人員 349,874人以上<br>【実績】<br>・収支率 82.2%(+8.1%)<br>・輸送人員 207,200人<br>(▲142,674人)<br>輸送人員は目標達成には至らなかったが、令和6年1月20日に実施した運賃改定の効果もあり、収支率は目標を達成することができた。                       | ・沿線の地域住民や学校、企業への通勤・通学および、成人式(二十歳のつどい)の参加者、病院への通院利用に対して、利用の呼びかけ(チラシの配布等)を市と連携して行う事で、利用促進を図る。                  |
| 西鉄バス二日市(株) | 【宇美～太宰府線】太宰府市役所前～JR宇美駅～宇美営業所 | ・子ども50円バスを土日や長期休暇期間に実施し、将来を見据えた利用促進を図った。<br>・沿線エリアの地域住民や通勤・通学者へチラシを配布するなど利用促進を図った。  | A<br>計画通り事業は適切に実施された。 | 【目標】<br>・収支率 42.5%以上<br>・輸送人員 107,583人以上<br>【実績】<br>・収支率 38.9%(▲3.6%)<br>・輸送人員 79,118人<br>(▲28,465人)<br>令和6年1月20日に運賃改定を実施し、令和6年10月JR宇美駅乗入を開始したが、拘束時間短縮に伴う減便を行ったことにより輸送人員および収支率ともに目標達成には至らなかった。 | ・更なる利用者増に向けてJR宇美駅へ乗り入れ、JR香椎線との乗り継ぎ案内および成人式(二十歳のつどい)の参加者に対して利用の呼びかけ(チラシの配布等)を関係自治体と連携して実施する。                  |
| 西鉄バス二日市(株) | 【南ヶ丘線】西鉄二日市～平田               | ・沿線エリアの小学生へのバス教室の実施、子ども50円バスを土日や長期休暇期間に実施するなど、将来を見据えた利用促進を図った。<br>・沿線エリアの地域住民や通勤・通学者へチラシやノベルティを配布するなど利用促進を図った。<br>・ダイヤ改正を実施し、便数の適正化を行い、効率化を図った。 | A<br>計画通り事業は適切に実施された。 | 【目標】<br>・収支率 82.4%以上<br>・輸送人員 309,360人以上<br>【実績】<br>・収支率 83.8%(+1.4%)<br>・輸送人員 163,493人<br>(▲145,867人)<br>路線系統の見直しを実施したことにより輸送人員は目標達成には至らなかったが、令和6年1月20日に実施した運賃改定の効果もあり、収支率は目標を達成することができた。     | ・路線系統の見直しを実施したことにより収支率の目標を達成しており、更なる沿線の地域住民や学校、企業への通勤・通学および病院への通院利用に対して、利用の呼びかけ(チラシの配布等)を市と連携して行う事で、利用促進を図る。 |

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要                        | ③前回(又は類似事業)の<br>事業評価結果の反映状況   | ④事業実施の適切性             | ⑤目標・効果達成状況   | ⑥事業の今後の改善点<br>(特記事項を含む)  |
|-----------|------------------------------|---|-----------------------|--|--|
| 西鉄バス二日市株  | 【つつじヶ丘線】南山手団地～<br>下大利駅～南山手団地 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・沿線エリアの小学生へのバス教室の実施、こども50円バスを土日や長期休暇期間に実施するなど、将来を見据えた利用促進を図った。</li> <li>・沿線エリアの地域住民や通勤・通学者へチラシやノベルティを配布するなど利用促進を図った。</li> <li>・ダイヤ改正を実施し、便数の適正化を行い、効率化を図った。</li> </ul> | A<br>計画通り事業は適切に実施された。 | <b>【目標】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・収支率 80.9%以上</li> <li>・輸送人員 353,948人以上</li> </ul> <b>【実績】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・収支率 88.4%(+7.5%)</li> <li>・輸送人員 337,580人(▲16,368人)</li> </ul> 需給調整の実施及び令和6年1月20日に実施した運賃改定の効果により、収支率は改善し、収支率は目標を達成することができたが、輸送人員においては、利用者の逸走も見られ、目標達成には至らなかった。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・需給調整を実施したことにより収支率の目標を達成しており、更なる沿線の地域住民や学校、企業への通勤・通学および病院への通院利用に対して、利用の呼びかけ(チラシの配布等)を市と連携して行う事で、利用促進を図る。</li> </ul>                   |
| 西鉄バス二日市株  | 【二日市線】太宰府～吉木入口～西鉄二日市         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・沿線エリアの小学生へのバス教室の実施、こども50円バスを土日や長期休暇期間に実施するなど、将来を見据えた利用促進を図った。</li> <li>・沿線エリアの地域住民や通勤・通学者へチラシやノベルティを配布するなど利用促進を図った。</li> <li>・ダイヤ改正を実施し、便数の適正化を行い、効率化を図った。</li> </ul> | A<br>計画通り事業は適切に実施された。 | <b>【目標】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・収支率 70.2%以上</li> <li>・輸送人員 131,999人以上</li> </ul> <b>【実績】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・収支率 67.8%(▲2.4%)</li> <li>・輸送人員 114,002人(▲17,997人)</li> </ul> 令和6年1月20日に運賃改定を行ったが、輸送人員の減少が大きく、収支率が悪化し、目標達成には至らなかった。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・沿線の地域住民や学校、企業への通勤・通学および成人式(二十歳のつどい)の参加者、病院への通院利用に対して、利用の呼びかけ(チラシの配布等)を市と連携して行う事で、利用促進を図る。また、利用人員の少ない便については、今後便数の検討を行っていく。</li> </ul> |
| 西鉄バス二日市株  | 【二日市線】原営業所前～吉木入口・吉木～西鉄二日市    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・沿線エリアの小学生へのバス教室の実施、こども50円バスを土日や長期休暇期間に実施するなど、将来を見据えた利用促進を図った。</li> <li>・沿線エリアの地域住民や通勤・通学者へチラシやノベルティを配布するなど利用促進を図った。</li> <li>・ダイヤ改正を実施し、便数の適正化を行い、効率化を図った。</li> </ul> | A<br>計画通り事業は適切に実施された。 | <b>【目標】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・収支率 60.1%以上</li> <li>・輸送人員 121,454人以上</li> </ul> <b>【実績】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・収支率 58.9%(▲1.2%)</li> <li>・輸送人員 108,219人(▲13,235人)</li> </ul> 令和6年1月20日に運賃改定を行ったが、輸送人員の減少が大きく、収支率が悪化し、目標達成には至らなかった。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・沿線の地域住民や学校、企業への通勤・通学および病院への通院利用に対して、利用の呼びかけ(チラシの配布等)を市と連携して行う事で、利用促進を図る。また、利用人員の少ない便については、今後便数の検討を行っていく。</li> </ul>                  |

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要                                      | ③前回(又は類似事業)の<br>事業評価結果の反映状況  | ④事業実施の適切性                           | ⑤目標・効果達成状況   | ⑥事業の今後の改善点<br>(特記事項を含む)  |
|-----------|--|--|-------------------------------------|--|--|
| JR九州バス(株) | 山の神～久山～博多の運行<br><br>令和5年令和6年<br>車両購入1台/年   | JR九州とタイアップ企画を実施。夏休みや冬休みなど長期休み期間、1日100円で在来線乗り放題になる小学6年生以下を対象としJR九州の企画きっぷ「こどもぼうけんきっぷ」が当社路線バス(福岡地区、佐賀地区、鹿児島地区)も乗車可能に。ご利用になる動機付けとして利用促進を行うことは達成できた。<br><br>)路線沿線自治体のイベントに参加し、バス展示やバスグッズの販売をしバスに慣れ親しんでもらうい、ご利用になる動機付けとして利用促進を実施。<br>参加したイベント→福岡県のりものフェス、はこフェス、はたらくるま intリアス久山   | A<br><br>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | 【目標】収支率51.5%<br>輸送人員77,596人<br>【実績】収支率54.5%<br>(+3.0%)<br>輸送人員64,829人<br>▲12,767人<br><br>※輸送人員減少の原因は、令和7年4月1日ダイヤ改正にて、1日当たり平日1.0回、土日祝0.5回減便し実車年間走行キロに換算すると12%減少しているため。  | 引き続き、バスの利用促進活動に取り組む。また、ご利用状況による見直し等、効率的な運行の検討や沿線自治体と連携して持続可能な交通体系を検討していく。<br><br>また、昨年度参加したイベントで来場者が多かったイベントに関しては継続して参加し、バスに慣れ親しんでもらうことはもちろんのこと、物品販売も強化し、バスの運送収入以外の収入獲得にも努める。  |
| JR九州バス(株) | 直方～鞍手高校前～博多の運行<br><br>令和5年令和6年<br>車両購入1台/年 | JR九州とタイアップ企画を実施。夏休みや冬休みなど長期休み期間、1日100円で在来線乗り放題になる小学6年生以下を対象としJR九州の企画きっぷ「こどもぼうけんきっぷ」が当社路線バス(福岡地区、佐賀地区、鹿児島地区)も乗車可能に。ご利用になる動機付けとして利用促進を行うことは達成できた。<br><br>路線沿線自治体のイベントに参加し、バス展示やバスグッズの販売をしバスに慣れ親しんでもらうい、ご利用になる動機付けとして利用促進を実施。<br>参加したイベント→福岡県のりものフェス、はこフェス、はたらくるま intリアス久山、へいちくフェスタ、ふくほくフェスタ、ちくぼうのりものフェスティバル(イオンモール直方)、みやわかふるさと祭り | A<br><br>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | 【目標】収支率48.8%<br>輸送人員199,345人<br>【実績】収支率46.7%<br>(▲2.1%)<br>輸送人員179,152人<br>▲20,193人<br><br>※輸送人員減少の原因は、令和7年4月1日ダイヤ改正にて、1日当たり平日3.5回、土日祝3.5回減便し実車年間走行キロに換算すると35%減少しているため。<br><br>※経常収益は、運行継続支援金や要件緩和等の措置がほぼなくなり、経常費用は、給与ベースアップによる人件費高騰等で費用は増加し、収支率が下がった。 | 当系統は、博多バスターミナルから直方駅までの長距離区間において利用が伸び悩んでおり、全体として乗車密度が低い状況にある。<br>その主な要因として、利用者がほとんど存在しない犬鳴峠区間を含めて長距離運行を行っていることが挙げられる。<br>犬鳴峠をまたいだ利用は極めて限定的であり、多くの利用は当社が運行する他の2系統(博多～山の神、福丸～直方駅)によって代替されていることから、当系統は現状の需要構造と必ずしも合致していない状況にある。<br>今後は、利用区間別の実態を精査した上で、運行回数や系統構成の見直しを検討し、効率的な輸送体系の構築と収支率の改善を目指す。 |

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要                                      | ③前回(又は類似事業)の<br>事業評価結果の反映状況   | ④事業実施の適切性                       | ⑤目標・効果達成状況  | ⑥事業の今後の改善点<br>(特記事項を含む)   |
|-----------|--|---|---------------------------------|---|---|
| JR九州バス(株) | 直方～鞍手高校前～福丸の運行<br><br>令和5年令和6年<br>車両購入1台/年 | JR九州とタイアップ企画を実施。夏休みや冬休みなど長期休み期間、1日100円で在来線乗り放題になる小学6年生以下を対象としJR九州の企画きっぷ「こどもぼうけんきっぷ」が当社路線バス(福岡地区、佐賀地区、鹿児島地区)も乗車可能に。ご利用になる動機付けとして利用促進を行うことは達成できた。<br><br>路線沿線自治体のイベントに参加し、バス展示やバスグッズの販売をしバスに慣れ親しんでもらうい、ご利用になる動機付けとして利用促進を実施。参加したイベント→福岡県のりものフェス、へいちくフェスタ、ふくほくフェスタ、ちくほうのりものフェスティバル(イオンモール直方)、みやわかふるさと祭り  | A<br>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | A<br><br>【目標】収支率60.0%<br>輸送人員90,276人<br>【実績】収支率61.2%<br>(+1.2%)<br>輸送人員76,429人<br>▲13,847人<br><br>※輸送人員減少の主な要因として、沿線市町村である直方市および宮若市において、人口が年率約1～2%で減少していることから、人口減少に伴う自然減が影響していると考えられる。  | 引き続き、バスの利用促進活動に取り組む。また、ご利用状況による見直し等、効率的な運行の検討や沿線自治体と連携して持続可能な交通体系を検討していく。<br><br>また、昨年度参加したイベントで来場者が多かったイベントに関しては継続して参加し、バスに慣れ親しんでもらうことはもちろんのこと、物品販売も強化し、バスの運送収入以外の収入獲得にも努める。 |
| JR九州バス(株) | 添田駅～日田駅の運行                                 | 開業1周年を記念し、インスタに日田彦山線の魅力を発信してくれた方から100名様に沿線施設から商品をプレゼントする「ハッシュタグキャンペーン」を実施。また、イベントに参加し、バス展示やバスグッズの販売をしバスに慣れ親しんでもらうい、ご利用になる動機付けとして利用促進を実施。参加したイベント→添田町ふる里まつり、福岡県のりものフェス、へいちくフェスタ、ふくほくフェスタ<br><br>令和6年9月から11月にかけて、添田町、東峰村、日田市を対象としたJR九州フリーウォーキングコースを3コース設定(各市町村1コースずつ)合計でおおよそ600人の参加を頂くなど好評をいただく。BRTの利用促進、沿線の魅力発信につながる取り組みとなった。<br><br>福岡県、添田町、東峰村、日田市の沿線各市町村と沿線飲食店さまとの官民一体型でのMaaSデジタルチケットを発売。また、JR九州とタイアップ企画を実施。夏休みや冬休みなど長期休み期間、1日100円で在来線乗り放題になる小学6年生以下を対象としJR九州の企画きっぷ「こどもぼうけんきっぷ」が当社路線バス(福岡地区、佐賀地区、鹿児島地区)も乗車可能に。ご利用になる動機付けとして利用促進を行うことは達成できた。 | A<br>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | B<br><br>【目標】収支率17.7%<br>輸送人員100,000人<br>【実績】収支率11.4%<br>(▲6.3%)<br>輸送人員38,803人<br>▲61,197人<br><br>※経常収益低下の原因として、運行継続支援金や要件緩和等の措置がほぼなくなり、経常費用は、給与ベースアップによる人件費高騰等で費用は増加とが考えられる。<br><br>※輸送人員減少の主な要因として、運行開始当初、新規性や話題性により一時的な利用が発生していたが、時間の経過とともにこうした利用が減少し、現在は通学や買い物等を目的とした地元住民の日常的な利用に移行し落ち着いたことが考えられる。 | 引き続きバスの利用促進活に取り組む。また、ご利用状況を分析しダイヤ見直し等、効率的な運行の検討を、利用促進を担っている九州旅客鉄道と連携して持続可能な交通体系を検討していく。   |

※車両については、令和6年度収支率51.3%、令和7年度収支率54.2%であり、燃料高騰等で費用が増加したが、前年比+2.9%で目標を達成。

| ①補助対象事業者等   | ②事業概要  | ③前回(又は類似事業)の<br>事業評価結果の反映状況  | ④事業実施の適切性  | ⑤目標・効果達成状況   | ⑥事業の今後の改善点<br>(特記事項を含む)  |
|-------------|--|--|--|--|--|
| 株式会社 甘木観光バス | <p>田主丸線<br/>甘鉄甘木駅～朝倉医師会病院<br/>/小田(経由)～田主丸中央病<br/>院</p> <p>車両更新<br/>・1台納車(令和4年/8)<br/>・1台納車(令和5年/9)<br/>・1台納車(令和6年/8)</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治体と連携して、広報誌やホームページ等を活用して、地域住民に働きかけた。</li> <li>・QRコード付きティッシュを配布した。</li> <li>・田主丸線ダイヤに関する利用者の意見・ご要望を、乗降調査と定期券購入窓口にて収集した。</li> </ul> | <p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画通り事業は適切に実施された。</li> </ul> | <p>A</p> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・収支率 25.43%以上</li> <li>・輸送人数59,690人以上</li> </ul> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・収支率 29.37%</li> <li>・輸送人数 76,111人</li> </ul> <p>※収支率及び輸送人員の目標を達成した。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治体と連携して、広報誌やホームページ等を活用して、地域住民へ働きかける。営業窓口での対応時、QRコード付ティッシュを配る。</li> <li>・現在、運賃は現金、回数券、定期券が現行であり、電子化には、予算の問題が課題。</li> <li>・令和7年度は例年より高校生の乗車が増え、登下校時に車両が満員となるがあったため、利用者の意見をダイヤ改正に反映することを検討する。</li> </ul> |

| ①補助対象事業者等  | ②事業概要       | ③前回(又は類似事業)の<br>事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性                   | ⑤目標・効果達成状況  | ⑥事業の今後の改善点<br>(特記事項を含む)  |
|------------|-------------|-----------------------------|-----------------------------|---|--|
| 新宮タクシー株式会社 | 山らいず線       | /                           | A<br>・当初の計画通り、<br>事業は遂行された。 | A<br>【目標】収支率21.47%<br>輸送人員91,838人<br>【実績】収支率32.63%<br>輸送人員103,927人<br>収支率及び輸送人員の目標を達成した。                            | インバウンド対応で車内・バス停等の多言語案内及びバスロケーションの周知に徹底し、利便性向上を図る。周辺施設の情報発信をし、利用促進の呼びかけを行う。   |
| 新宮タクシー株式会社 | 相らんど線 第1ルート |                             | A<br>・当初の計画通り、<br>事業は遂行された。 | C<br>【目標】収支率57.53%<br>輸送人員75,348人<br>【実績】収支率42.53%<br>輸送人員79,834人<br>輸送人員の目標を達成したが、物価高騰等による経費の増加により収支率の目標を達成できなかった。 | インバウンド対応で車内・バス停等の多言語案内及びバスロケーションの周知に徹底し、利便性向上を図る。新宮町が実施している高齢者利用支援制度の取り組みをPRし、利用促進の呼びかけを行う。また、経費を削減していくために年式の古い車体については、更新計画をたて、更新を進めていく。 |
| 新宮タクシー株式会社 | 相らんど線 第2ルート |                             | A<br>・当初の計画通り、<br>事業は遂行された。 | B<br>【目標】収支率44.44%<br>輸送人員60,855人<br>【実績】収支率42.46%<br>輸送人員77,667人<br>輸送人員の目標を達成したが、物価高騰等による経費の増加により収支率の目標を達成できなかった。 | インバウンド対応で車内・バス停等の多言語案内及びバスロケーションの周知に徹底し、利便性向上を図る。新宮町が実施している高齢者利用支援制度の取り組みをPRし、利用促進の呼びかけを行う。また、経費を削減していくために年式の古い車体については、更新計画をたて、更新を進めていく。 |

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年2月27日

九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持改善事業(地域間幹線系統)

| 協議会名                    | ①補助対象事業者等  | ②事業概要                              | 協議会における事業評価結果               |                                   |   |                    | 地方運輸局等における<br>二次評価結果  | 備考                      |
|-------------------------|--|------------------------------------|-----------------------------|-----------------------------------|---|--------------------|---|-------------------------|
|                         |  |                                    | ③前回(又は類似事業)の事業<br>評価結果の反映状況 | ④事業<br>実施の<br>適切性                 | ⑤目標・効果<br>達成状況  | ⑥事業の今<br>後の改善点     | 評価結果  |                         |
| 佐賀県地域<br>公共交通活<br>性化協議会 | 昭和自動車(株)<br>佐賀市交通局<br>祐徳自動車(株)<br>西鉄バス佐賀(株)<br>西鉄バス佐賀(株)・西<br>鉄バス久留米(株)<br>西肥自動車(株)<br>JR九州バス(株)<br>有)ジョイックス交通 | 44系統<br><br>※詳細は別添<br>一次評価のと<br>おり | 別添一次評価の<br>とおり              | A評価: 44系統<br>B評価: 0系統<br>C評価: 0系統 | A評価: 8系統<br>B評価: 21系統<br>C評価: 12系統<br><br>【参考: 前年度】<br>A評価: 23系統<br>B評価: 18系統<br>C評価: 3系統 | 別添一次評価<br>の<br>とおり | <p>コロナは明けたものの、運転士や整備士をはじめとする人員不足や、燃料費・車両価格の高騰等、バスを取り巻く厳しい状況下で、バスを利用するきっかけづくりのためにバス無料デーや体験乗車会、スポーツや各種イベントとのタイアップ、企画乗車券の造成等、利用促進に向け様々な取組をされていることを評価します。今後もバス事業者、自治体等連携して取組みを続けられることを期待します。</p> <p>また、沿線に学校がある系統ではバスの乗り方教室等を行い子供の時からバスを利用することに慣れてもらうことで将来のバス利用者の創出に繋げ、観光需要を呼び込む可能性がある系統については利用促進のため広報や多言語化したマップを配布するなど、地域の実情や特性に応じ、取組み内容を工夫されている点も評価します。</p> <p>目標の達成状況に関しては、数字だけを見ると輸送人員・収支改善状況ともに依然として厳しい状況ですが、上記のような取組みを行う中で得た結果を検証することで、より効果的な改善につながることを期待されます。</p> <p>今後は、目標を達成できなかった原因だけでなく、目標を達成した系統については、達成できた原因の分析を行い、目標を達成できなかった系統に活かせる部分は活かし、また、系統毎の目標達成状況に応じて、次の目標や評価指標を検討、最適化していくことも必要と思料します。</p> | 評価指標<br>【収支率】<br>【輸送人員】 |

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月20日

協議会名:佐賀県地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| ①補助対象事業者等          | ②事業概要   | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況   | ④事業実施の適切性  | ⑤目標・効果達成状況   | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)   |
|--------------------|---|---|--|--|---|
| 昭和自動車株<br>伊万里線     | 大手口～徳須恵～伊万里系統の運行。<br><br>R7 車両購入4台<br>(伊万里、野元・呼子、他11系統に導入)<br>R6 車両購入5台<br>(伊万里、野元・呼子、他10系統に導入)<br>R5 車両購入3台<br>(伊万里、野元・呼子、他10系統に導入)<br>R4 車両購入3台<br>(伊万里、野元・呼子、他10系統に導入)<br>R3 車両購入2台<br>(伊万里、唐津・佐賀に導入)<br>R1 車両購入1台<br>(伊万里・北波多に導入)<br>H30 車両購入1台<br>(伊万里・北波多に導入)<br>H25 車両購入1台 | 【前回の事業評価結果】<br>利用者増加のため、利用促進、利便性向上の取組を実施し、バス路線の再編・最適化を実施し、収支率の改善を目指す。<br><br>【反映状況(反映したものには★)】<br>■生産性向上及び収支率改善に資する取組<br>(1)学校や老人会等でのバスの乗り方教室を実施するための講習会を開催し、周知を図る<br>(2)平成29年度に導入した交通系ICカードnimoca普及のための講習会を開催し、周知を図る<br>(3)SAGA Mobility Laboを通して、JRと連携し、利便性を向上させ、新規利用の取込みを図る<br>(4)時刻表へノンステップバスの表記を行い、利便性を向上させる<br>(5)昭和バス公式LINE(運行情報・時刻検索・接近情報)の普及を行い、利便性を向上させる(★)<br>(6)通学フリー定期券(紙)をWEB定期券化し、利便性を向上させる(★)<br>(7)再編計画説明や各地区長会の折に、デマンド交通や時刻表の紹介を行い、公共交通の利用を促す(★)<br>(8)夏休み前の中学生全学年と年度末(春)の中学3年生及び高校1・2年生を対象に定期券を周知するためのチラシを配布し、学生にバスを使った通学をPRする(★)<br>(9)市報への公共交通利用促進についての記事掲載を行う(★)<br>(10)沿線の飲食店等に協力を呼びかけ、乗車証明書などを用いた優待サービスを行い、新規利用の取込みを図る(★)<br>(11)地元消費促進事業と連携した公共交通利用促進キャンペーンを実施し、新規利用の取込みを図る(★) | A<br>各沿線自治体との協議が調わず実施できていない取組もあるが、利用促進や利便性向上の取組、収支率改善の取組を積極的に実施することができた。 | B<br>■未達成理由(収支率)<br>運転士確保のための人件費、整備員不足による外注修繕費、車両更新による減価償却費やリース料の増加により経費が大幅に増大し目標を達成することができなかった。<br><br>■達成理由(輸送人員)<br>通院や買い物等の生活利用が回復し目標を達成することができた。<br><br>【収支率】<br>(R7)目標:35.1% 実績:34.3%(B)<br>【輸送人員】<br>(R7)目標:44,239人 実績:46,305人(A)           | 恒常的に収支率が悪化している路線であり、利便性向上と運行効率を上げるためR8.4.1に一部経路変更を実施する予定。経路変更による利用の動向を注視しながら、今後も路線の最適化を図っていく。 |
| 昭和自動車株<br>野元・名護屋浜線 | 唐津～野元～名護屋浜の運行。<br><br>R7 車両購入4台<br>(伊万里、野元・呼子、他11系統に導入)<br>R6 車両購入5台<br>(伊万里、野元・呼子、他10系統に導入)<br>R5 車両購入3台<br>(伊万里、野元・呼子、他10系統に導入)<br>R4 車両購入3台<br>(伊万里、野元・呼子、他10系統に導入)<br>R3車両購入1台<br>(野元・呼子、小加倉・呼子に導入)<br>R2車両購入1台<br>(野元・呼子、小加倉・呼子に導入)<br>R1車両購入1台<br>(野元・呼子、小加倉・呼子に導入)         | 【前回の事業評価結果】<br>利用者増加のため、利用促進、利便性向上の取組を実施し、バス路線の再編・最適化を実施し、収支率の改善を目指す。<br><br>【反映状況(反映したものには★)】<br>■生産性向上及び収支率改善に資する取組<br>(1)学校や老人会等でのバスの乗り方教室を実施する<br>(2)平成29年度に導入した交通系ICカードnimoca普及のための講習会を開催し、周知を図る<br>(3)SAGA Mobility Laboを通して、JRと連携し、利便性を向上させ、新規利用の取込みを図る<br>(4)時刻表へノンステップバスの表記を行い、利便性を向上させる<br>(5)昭和バス公式LINE(運行情報・時刻検索・接近情報)の普及を行い、利便性を向上させる(★)<br>(6)通学フリー定期券(紙)をWEB定期券化し、利便性を向上させる(★)<br>(7)再編計画説明や各地区長会の折に、デマンド交通や時刻表の紹介を行い、公共交通の利用を促す(★)<br>(8)市報への公共交通利用促進についての記事掲載を行う(★)  | A<br>各沿線自治体との協議が調わず実施できていない取組もあるが、利用促進や利便性向上の取組、収支率改善の取組を積極的に実施することができた。 | A<br>■達成理由(収支率、輸送人員)<br>輸送人員については朝夕の通勤通学利用が増加し目標を達成することができた。また、収支率においても運送収入の増加やR6.4.1に呼子～名護屋浜区間をカットし運行経費の削減を図った結果、人件費、外注修繕費、減価償却費やリース料が増加したものの目標収支率を達成することができた。<br><br>【収支率】<br>(R7)目標:37.0% 実績:38.7%(A)<br>【輸送人員】<br>(R7)目標:17,146人 実績:20,278人(A) | 引続き利便性向上等に取り組む。   |

| ①補助対象事業者等                     | ②事業概要  | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況  | ④事業実施の適切性  | ⑤目標・効果達成状況  | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)   |
|-------------------------------|--|--|--|---|---|
| <p>昭和自動車(株)<br/>小加倉・名護屋浜線</p> | <p>唐津～小加倉～呼子の運行。<br/>R7 車両購入4台<br/>(伊万里、野元・呼子、他11系統に導入)<br/>R6 車両購入5台<br/>(伊万里、野元・呼子、他10系統に導入)<br/>R5 車両購入3台<br/>(伊万里、野元・呼子、他10系統に導入)<br/>R4 車両購入3台<br/>(伊万里、野元・呼子、他10系統に導入)<br/>R3車両購入1台<br/>(野元・呼子、小加倉・呼子に導入)<br/>R2車両購入1台<br/>(野元・呼子、小加倉・呼子に導入)<br/>R1車両購入1台<br/>(野元・呼子、小加倉・呼子に導入)</p>  | <p>【前回の事業評価結果】<br/>利用者増加のため、利用促進、利便性向上の取組を実施し、バス路線の再編・最適化を実施し、収支率の改善を目指す。<br/>【反映状況(反映したものには★)】<br/>■生産性向上及び収支率改善に資する取組<br/>(1)学校や老人会等でのバスの乗り方教室を実施する<br/>(2)平成29年度に導入した交通系ICカードnimoca普及のための講習会を開催し、周知を図る<br/>(3)SAGA Mobility Laboを通して、JRと連携し、利便性を向上させ、新規利用の取込みを図る<br/>(4)時刻表へノンステップバスの表記を行い、利便性を向上させる<br/>(5)昭和バス公式LINE(運行情報・時刻検索・接近情報)の普及を行い、利便性を向上させる(★)<br/>(6)通学フリー定期券(紙)をWEB定期券化し、利便性を向上させる(★)<br/>(7)再編計画説明や各地区長会の折に、デマンド交通や時刻表の紹介を行い、公共交通の利用を促す(★)<br/>(8)市報への公共交通利用促進についての記事掲載を行う(★)<br/>(10)沿線の飲食店等に協力を呼びかけ、乗車証明書などを用いた優待サービスを行い、新規利用の取込みを図る(★)</p>   | <p>A<br/>各沿線自治体との協議が調わず実施できていない取組もあるが、利用促進や利便性向上の取組、収支率改善の取組を積極的に実施することができた。</p> | <p>C<br/>■未達成理由(収支率)<br/>輸送人員の増加により運送収入が増加したもののR6.4.1に地元要望を受け一部経路を変更したことにより、走行キロが増加し運行経費が増大した。また、運転士確保のための人件費、整備員不足による外注修繕費、車両更新による減価償却費やリース料の増加により経費が大幅に増大し目標を達成することができなかった。<br/>■達成理由(輸送人員)<br/>通院や買い物等の生活利用が回復したことで目標を超えることはできなかったが、目標と同数の輸送人員となった。<br/>【収支率】<br/>(R7)目標:42.1% 実績:34.0%(C)<br/>【輸送人員】<br/>(R7)目標:12,775人 実績:12,775人(A)</p> | <p>本年度は昨年度と比較すれば利用者数は回復したものの、依然として収支率ともに低い水準である。現在は利便増進実施計画の特例により補助対象路線となっているが、特例期間終了とともに沿線市町の負担が大きく増加するため、路線の最適化を検討していく。</p> |
| <p>昭和自動車(株)<br/>多久線</p>       | <p>佐賀駅BC～徳万・小城～多久駅前系統の運行。<br/>R7 車両購入3台<br/>(多久、古湯、唐津・佐賀、中極に導入)<br/>R6 車両購入2台<br/>(多久、古湯、唐津・佐賀、中極に導入)<br/>R5 車両購入2台<br/>(多久、古湯、唐津・佐賀、中極に導入)<br/>R4 車両購入2台<br/>(多久、古湯、唐津・佐賀、中極に導入)<br/>R3 車両購入2台<br/>(多久、古湯、唐津・佐賀・中極に導入)<br/>R2 車両購入2台<br/>(多久、唐津・佐賀・中極に導入)<br/>R1 車両購入1台<br/>(多久、唐津・佐賀・中極に導入)<br/>H29 車両購入1台<br/>(多久、唐津・佐賀・中極に導入)<br/>H27 車両購入1台</p> | <p>【前回の事業評価結果】<br/>利用者増加のため、利用促進、利便性向上の取組を実施し、バス路線の再編・最適化を実施し、収支率の改善を目指す。<br/>【反映状況(反映したものには★)】<br/>■生産性向上及び収支率改善に資する取組<br/>(1)学校や老人会等でのバスの乗り方教室を実施する<br/>(2)平成29年度に導入した交通系ICカードnimoca普及のための講習会を開催し、周知を図る<br/>(3)SAGA Mobility Laboを通して、JRと連携し、利便性を向上させ、新規利用の取込みを図る<br/>(4)時刻表へノンステップバスの表記を行い、利便性を向上させる<br/>(5)昭和バス公式LINE(運行情報・時刻検索・接近情報)の普及を行い、利便性を向上させる(★)<br/>(6)通学フリー定期券(紙)をWEB定期券化し、利便性を向上させる(★)<br/>(7)佐賀駅BCでの乗継割引を実施し、利便性向上及び新規利用の取込みを図る(★)<br/>(8)佐賀市バス路線マップ(英・中・韓対応)の配布を行い、住民への周知を行う(★)<br/>(9)バスの時刻、運賃についてホームページ等での周知を図る(★)<br/>(10)市報への公共交通利用促進についての記事掲載を行う(★)<br/>(11)交通系ICカード「nimoca」の広報を行い、周知を図る<br/>(12)支線のパンフレットへ当該路線の問合せ先を掲載し、利便性向上を図る(★)<br/>(13)中学3年生を対象に、進路検討時期(秋頃)に当該路線の時刻表を配布し、新規利用の取込みを図る</p> | <p>A<br/>各沿線自治体との協議が調わず実施できていない取組もあるが、利用促進や利便性向上の取組、収支率改善の取組を積極的に実施することができた。</p> | <p>C<br/>■未達成理由(収支率、輸送人員)<br/>輸送人員については多久市内の移動はオンデマンドタクシー「チョイソコたく」の普及により移行していることから本路線の利用が減少している。また、市町間の移動についても特筆すべき要素はなく、徐々に減少している傾向にある。目標収支率においても運送収入の減少に併せて、運転士確保のための人件費、整備員不足による外注修繕費、車両更新による減価償却費やリース料の増加により経費が大幅に増大し目標を達成することができなかった。<br/>【収支率】<br/>(R7)目標:48.0% 実績:35.3%(C)<br/>【輸送人員】<br/>(R7)目標:36,243人 実績:33,540人(C)</p>             | <p>輸送人員の減少についてはオンデマンドへの移行ということもあるが、本路線の整理については佐賀・唐津線と含めて沿線自治体と協議中である。最適な交通網を構築すべく今後も協議を重ねていく。</p>                             |

| ①補助対象事業者等        | ②事業概要  | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況   | ④事業実施の適切性  | ⑤目標・効果達成状況   | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)   |
|------------------|--|---|--|--|---|
| 昭和自動車株<br>古湯線    | <p>フォレスタふじ～尼寺・川上橋～辻の堂系統の運行。</p> <p>R7 車両購入3台<br/>(多久、古湯、唐津・佐賀、中極に導入)</p> <p>R6 車両購入2台<br/>(多久、古湯、唐津・佐賀、中極に導入)</p> <p>R5 車両購入2台<br/>(多久、古湯、唐津・佐賀、中極に導入)</p> <p>R4 車両購入2台<br/>(多久、古湯、唐津・佐賀、中極に導入)</p> <p>R3 車両購入2台<br/>(多久、古湯、唐津・佐賀・中極に導入)</p> <p>H30 車両購入1台<br/>H29 車両購入1台<br/>(2台とも北山、古湯、中極に導入)</p>  | <p>【前回の事業評価結果】<br/>利用者増加のため、利用促進、利便性向上の取組を実施し、バス路線の再編・最適化を実施し、収支率の改善を目指す。</p> <p>【反映状況(反映したものには★)】<br/>■生産性向上及び収支率改善に資する取組<br/>(1)学校や老人会等でのバスの乗り方教室を実施する<br/>(2)平成29年度に導入した交通系ICカードnimoca普及のための講習会を開催し、周知を図る<br/>(3)SAGA Mobility Laboを通して、JRと連携し、利便性を向上させ、新規利用の取込みを図る<br/>(4)時刻表へノンステップバスの表記を行い、利便性を向上させる<br/>(5)昭和バス公式LINE(運行情報・時刻検索・接近情報)の普及を行い、利便性を向上させる(★)<br/>(6)通学フリー定期券(紙)をWEB定期券化し、利便性を向上させる(★)<br/>(7)ラッピングバスを活用した利用促進を図る(★)<br/>(8)佐賀駅BCでの乗継割引を実施し、利便性向上及び新規利用の取込みを図る(★)<br/>(9)佐賀市バス路線マップ(英・中・韓対応)の配布を行い、住民への周知を行う(★)</p>   | A<br>各沿線自治体との協議が調わず実施できていない取組もあるが、利用促進や利便性向上の取組、収支率改善の取組を積極的に実施することができた。 | A<br>■達成理由(収支率、輸送人員)<br>昨年度はまるっとフリーdayにより輸送人員が増加していたにもかかわらず、SAGAサンライズパークのイベント参加者の利用増や古湯地区への観光利用が増加したことにより輸送人員の目標を達成することができた。収支率においても運行コストの増加により経費は増大したが、収入が回復したことで目標を達成することができた。<br><br>【収支率】<br>(R7)目標:51.2% 実績:55.5%(A)<br>【輸送人員】<br>(R7)目標:108,756人実績:144,098人(A) | 引き続き利便性向上等に取り組む。  |
| 昭和自動車株<br>佐賀・唐津線 | <p>大手口～多久駅前・片田江～佐賀駅BC系統の運行。</p> <p>R7 車両購入3台<br/>(多久、古湯、唐津・佐賀、中極に導入)</p> <p>R6 車両購入7台<br/>(伊万里、野元・呼子、他10系統に導入)</p> <p>R5 車両購入3台<br/>(伊万里、野元・呼子、他10系統に導入)</p> <p>R4 車両購入5台<br/>(伊万里、野元・呼子、他10系統に導入)</p> <p>R3 車両購入4台<br/>(伊万里、多久、古湯、唐津・佐賀・中極に導入)</p> <p>R2 車両購入2台<br/>(多久、唐津・佐賀・中極に導入)</p> <p>R1 車両購入1台<br/>(多久、唐津・佐賀・中極に導入)</p> <p>H26 車両購入2台<br/>H25 車両購入1台</p> | <p>【前回の事業評価結果】<br/>利用者増加のため、利用促進、利便性向上の取組を実施し、バス路線の再編・最適化を実施し、収支率の改善を目指す。</p> <p>【反映状況(反映したものには★)】<br/>■生産性向上及び収支率改善に資する取組<br/>(1)学校や老人会等でのバスの乗り方教室を実施する<br/>(2)平成29年度に導入した交通系ICカードnimoca普及のための講習会を開催し、周知を図る<br/>(3)SAGA Mobility Laboを通して、JRと連携し、利便性を向上させ、新規利用の取込みを図る<br/>(4)時刻表へノンステップバスの表記を行い、利便性を向上させる<br/>(5)昭和バス公式LINE(運行情報・時刻検索・接近情報)の普及を行い、利便性を向上させる(★)<br/>(6)通学フリー定期券(紙)をWEB定期券化し、利便性を向上させる(★)<br/>(7)再編計画説明や各地区長会の折に、デマンド交通や時刻表の紹介を行い、公共交通の利用を促す<br/>(8)市報への公共交通利用促進についての記事掲載を行う<br/>(9)佐賀駅BCでの乗継割引を実施し、利便性向上及び新規利用の取込みを図る(★)<br/>(10)佐賀市バス路線マップ(英・中・韓対応)の配布を行い、住民への周知を行う(★)</p> | A<br>各沿線自治体との協議が調わず実施できていない取組もあるが、利用促進や利便性向上の取組、収支率改善の取組を積極的に実施することができた。 | C<br>■未達成理由(収支率、輸送人員)<br>輸送人員は昨年度のまるっとフリーdayの実施による影響が最も大きい路線であり、本年度は利用が減少した。収支率においても長大路線であるため、運行コストの増加が重くのしかかり目標を達成することができなかった。<br><br>【収支率】<br>(R7)目標:38.6% 実績:29.3%(C)<br>【輸送人員】<br>(R7)目標:123,766人 実績:111,186人(C)   | 輸送人員の減少についてはオンデマンドへの移行ということもあるが、本路線の整理については多久線と含めて沿線自治体と協議中である。最適な交通網を構築すべく今後も協議を重ねていく。 |

| ①補助対象事業者等        | ②事業概要   | ③前回(又は類似事業)の<br>事業評価結果の反映状況  | ④事業実施の適切性  | ⑤目標・効果達成状況   | ⑥事業の今後の改善点<br>(特記事項を含む)  |
|------------------|---|--|--|--|--|
| 昭和自動車株<br>中極線    | <p>小城～中極・尼寺～辻の堂系統の運行。</p> <p>R7 車両購入3台<br/>(多久、古湯、唐津・佐賀、中極に導入)</p> <p>R6 車両購入2台<br/>(多久、古湯、唐津・佐賀、中極に導入)</p> <p>R5 車両購入2台<br/>(多久、古湯、唐津・佐賀、中極に導入)</p> <p>R4 車両購入2台<br/>(多久、古湯、唐津・佐賀、中極に導入)</p> <p>R3 車両購入2台<br/>(多久、古湯、唐津・佐賀・中極に導入)</p> <p>R2 車両購入2台<br/>(多久、唐津・佐賀・中極に導入)</p> <p>R1 車両購入1台<br/>(多久、唐津・佐賀・中極に導入)</p> <p>H30 車両購入1台<br/>H29 車両購入1台<br/>(2台とも北山、古湯、中極に導入)</p> | <p>【前回の事業評価結果】<br/>利用者増加のため、利用促進、利便性向上の取組を実施し、バス路線の再編・最適化を実施し、収支率の改善を目指す。</p> <p>【反映状況(反映したものには★)】<br/>■生産性向上及び収支率改善に資する取組<br/>(1)学校や老人会等でのバスの乗り方教室を実施する<br/>(2)平成29年度に導入した交通系ICカードnimoca普及のための講習会を開催し、周知を図る<br/>(3)SAGA Mobility Laboを通して、JRと連携し、利便性を向上させ、新規利用の取込みを図る<br/>(4)時刻表へノンステップバスの表記を行い、利便性を向上させる<br/>(5)昭和バス公式LINE(運行情報・時刻検索・接近情報)の普及を行い、利便性を向上させる(★)<br/>(6)通学フリー定期券(紙)をWEB定期券化し、利便性を向上させる(★)<br/>(7)ラッピングバスを活用した利用促進を図る(★)<br/>(8)佐賀駅BCでの乗継割引を実施し、利便性向上及び新規利用の取込みを図る(★)<br/>(9)佐賀市バス路線マップ(英・中・韓対応)の配布を行い、住民への周知を行う(★)<br/>(10)市報への公共交通利用促進についての記事掲載を行う(★)<br/>(11)交通系ICカード「nimoca」の広報を行い、周知を図る<br/>(12)支線のパンフレットへ当該路線の問合せ先を掲載し、利便性向上を図る(★)</p> | A<br>各沿線自治体との協議が調わず実施できていない取組もあるが、利用促進や利便性向上の取組、収支率改善の取組を積極的に実施することができた。 | A<br>■達成理由(収支率、輸送人員)<br>昨年度はまるっとフリーdayにより利用が増加していたにもかかわらず、SAGAサンライズパークのイベント参加者の利用増や通学利用が増加したことにより輸送人員の目標を達成することができた。収支率においても運行コストの増加により経費は増大したが、収入が回復したことで目標を達成することができた。<br><br>【収支率】<br>(R7)目標:48.6% 実績:51.7%(A)<br>【輸送人員】<br>(R7)目標:83,374人 実績:117,485人(A) | 引き続き利便性向上等に取り組む。   |
| 昭和自動車株<br>多久・武雄線 | <p>多久市役所前～北部小前・本多久～竹下町系統の運行。</p> <p>H27 車両購入1台</p>  | <p>【前回の事業評価結果】<br/>利用者増加のため、利用促進、利便性向上の取組を実施し、バス路線の再編・最適化を実施し、収支率の改善を目指す。</p> <p>【反映状況(反映したものには★)】<br/>■生産性向上及び収支率改善に資する取組<br/>(1)学校や老人会等でのバスの乗り方教室を実施する<br/>(2)平成29年度に導入した交通系ICカードnimoca普及のための講習会を開催し、周知を図る<br/>(3)SAGA Mobility Laboを通して、JRと連携し、利便性を向上させ、新規利用の取込みを図る<br/>(4)時刻表へノンステップバスの表記を行い、利便性を向上させる<br/>(5)昭和バス公式LINE(運行情報・時刻検索・接近情報)の普及を行い、利便性を向上させる(★)<br/>(6)通学フリー定期券(紙)をWEB定期券化し、利便性を向上させる(★)<br/>(7)中学3年生を対象に、進路検討時期(秋頃)に当該路線の時刻表を配布し、新規利用の取込みを図る(★)<br/>(8)バス・タクシー回数券の発行、交通計画の策定(★)</p>   | A<br>各沿線自治体との協議が調わず実施できていない取組もあるが、利用促進や利便性向上の取組、収支率改善の取組を積極的に実施することができた。 | C<br>■未達成理由(収支率、輸送人員)<br>車両の小型化等を行っているが、学生の通学需要や高齢者の外出利用が減少し続けているため、生産性向上の取組を実施したものの利用者が回復していない。また、収支率においても運行コストの増加により経費が増え目標を達成することはできなかった。<br><br>【収支率】<br>(R7)目標:25.1% 実績:13.9%(C)<br>【輸送人員】<br>(R7)目標:11,640人 実績:11,549人(B)                              | 利用者減による収入の減少と運行経費の増大により収支率が悪化しており、バス路線の再編・最適化を検討し、収支率等の改善を目指す。 |

| ①補助対象事業者等       | ②事業概要   | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況   | ④事業実施の適切性  | ⑤目標・効果達成状況  | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)                                      |
|-----------------|---|---|--|---|--|
| 昭和自動車(株)<br>湊線  | <p>大手口～みなと園～呼子系統の運行。</p> <p>R7 車両購入4台<br/>(伊万里、野元・呼子、他11系統に導入)</p> <p>R6 車両購入5台<br/>(伊万里、野元・呼子、他10系統に導入)</p> <p>R5 車両購入3台<br/>(伊万里、野元・呼子、他10系統に導入)</p> <p>R4 車両購入3台<br/>(伊万里、野元・呼子他10系統に導入)</p> <p>H30 車両購入2台<br/>(湊、呼子に導入)</p> <p>H29 車両購入1台<br/>(湊、呼子、有浦、切木、北波多に導入)</p>   | <p>【前回の事業評価結果】<br/>利用者増加のため、利用促進、利便性向上の取組を実施し、バス路線の再編・最適化を実施し、収支率の改善を目指す。</p> <p>【反映状況(反映したものには★)】<br/>■生産性向上及び収支率改善に資する取組<br/>(1)学校や老人会等でのバスの乗り方教室を実施する<br/>(2)平成29年度に導入した交通系ICカードnimoca普及のための講習会を開催し、周知を図る<br/>(3)SAGA Mobility Laboを通して、JRと連携し、利便性を向上させ、新規利用の取込みを図る<br/>(4)時刻表へノンステップバスの表記を行い、利便性を向上させる<br/>(5)昭和バス公式LINE(運行情報・時刻検索・接近情報)の普及を行い、利便性を向上させる(★)<br/>(6)通学フリー定期券(紙)をWEB定期券化し、利便性を向上させる(★)<br/>(7)再編計画説明や各地区長会の折に、デマンド交通や時刻表の紹介を行い、公共交通の利用を促す(★)<br/>(8)市報への公共交通利用促進についての記事掲載を行う(★)</p> | A<br>各路線自治体との協議が調わず実施できていない取組もあるが、利用促進や利便性向上の取組、収支率改善の取組を積極的に実施することができた。 | C<br>■未達成理由(収支率、輸送人員)<br>本路線はR6.4.1から湊・波戸岬線に統合となったが一部便のみ運行を継続しており、輸送人員については統合前と比較して減少している。収支率においても、運行コストの増加により目標を達成することができなかった。<br>【収支率】<br>(R7)目標:41.4% 実績:33.5%(C)<br>【輸送人員】<br>(R7)目標:39,671人 実績:27,540人(C)              | 4/1に再編した効果、状況を注視しつつ、唐津地域利便増進実施計画に基づき利用者増の取組を関係各所と協議していく。 |
| 昭和自動車(株)<br>呼子線 | <p>宝当棧橋～岩野・打上～呼子系統の運行。</p> <p>R7 車両購入4台<br/>(伊万里、野元・呼子、他11系統に導入)</p> <p>R6 車両購入5台<br/>(伊万里、野元・呼子、他10系統に導入)</p> <p>R5 車両購入3台<br/>(伊万里、野元・呼子、他10系統に導入)</p> <p>R4 車両購入3台<br/>(伊万里、野元・呼子、他10系統に導入)</p> <p>R2 車両購入2台<br/>(有浦・仮屋、呼子、有浦・入野、切木、唐津・入野に導入)</p> <p>R1 車両購入1台<br/>(有浦・仮屋、呼子、有浦・入野、切木、唐津・入野に導入)</p> <p>H30 車両購入2台(湊、呼子に導入)</p> <p>H29 車両購入2台<br/>(1台は湊、呼子、有浦、切木、北波多に導入、1台は呼子、有浦、切木に導入)</p> <p>H27 車両購入2台</p> | <p>【前回の事業評価結果】<br/>利用者増加のため、利用促進、利便性向上の取組を実施し、バス路線の再編・最適化を実施し、収支率の改善を目指す。</p> <p>【反映状況(反映したものには★)】<br/>■生産性向上及び収支率改善に資する取組<br/>(1)学校や老人会等でのバスの乗り方教室を実施する<br/>(2)平成29年度に導入した交通系ICカードnimoca普及のための講習会を開催し、周知を図る<br/>(3)SAGA Mobility Laboを通して、JRと連携し、利便性を向上させ、新規利用の取込みを図る<br/>(4)時刻表へノンステップバスの表記を行い、利便性を向上させる<br/>(5)昭和バス公式LINE(運行情報・時刻検索・接近情報)の普及を行い、利便性を向上させる(★)<br/>(6)通学フリー定期券(紙)をWEB定期券化し、利便性を向上させる(★)<br/>(7)再編計画説明や各地区長会の折に、デマンド交通や時刻表の紹介を行い、公共交通の利用を促す(★)<br/>(8)市報への公共交通利用促進についての記事掲載を行う(★)</p> | A<br>各路線自治体との協議が調わず実施できていない取組もあるが、利用促進や利便性向上の取組、収支率改善の取組を積極的に実施することができた。 | A<br>■達成理由(収支率)<br>運行コストが増大したものの4/1から運行本数の適正化を図ったことにより収支率が改善し目標を達成することができた。<br>■未達成理由(輸送人員)<br>昨年度はまるっとフリーDAYの実施により利用が多かったものの、本年度は観光利用が低迷した。<br>【収支率】<br>(R7)目標:35.9% 実績:37.4%(A)<br>【輸送人員】<br>(R7)目標:94,606人 実績:76,942人(C) | 引き続き利便性向上等に取り組む。   |

| ①補助対象事業者等      | ②事業概要  | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況   | ④事業実施の適切性  | ⑤目標・効果達成状況   | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)   |
|----------------|--|---|--|--|---|
| 昭和自動車株<br>切木線  | <p>大手口～切子・古保志気～入野系統の運行。</p> <p>R7 車両購入4台<br/>(伊万里、野元・呼子、他11系統に導入)</p> <p>R6 車両購入5台<br/>(伊万里、野元・呼子、他10系統に導入)</p> <p>R5 車両購入3台<br/>(伊万里、野元・呼子、他10系統に導入)</p> <p>R4 車両購入3台<br/>(伊万里、野元・呼子、他10系統に導入)</p> <p>R2 車両購入2台<br/>(有浦・仮屋、呼子、有浦・入野、唐津・入野に導入)</p> <p>R1 車両購入1台<br/>(有浦・仮屋、呼子、有浦・入野、切木、唐津・入野に導入)</p> <p>H29 車両購入2台<br/>(1台は湊、呼子、有浦、切木、北波多に導入、1台は呼子、有浦、切木に導入)</p> | <p>【前回の事業評価結果】<br/>利用者増加のため、利用促進、利便性向上の取組を実施し、バス路線の再編・最適化を実施し、収支率の改善を目指す。</p> <p>【反映状況(反映したものには★)】<br/>■生産性向上及び収支率改善に資する取組<br/>(1)学校や老人会等でのバスの乗り方教室を実施する<br/>(2)平成29年度に導入した交通系ICカードnimoca普及のための講習会を開催し、周知を図る<br/>(3)SAGA Mobility Laboを通して、JRと連携し、利便性を向上させ、新規利用の取込みを図る<br/>(4)時刻表へノンステップバスの表記を行い、利便性を向上させる<br/>(5)昭和バス公式LINE(運行情報・時刻検索・接近情報)の普及を行い、利便性を向上させる(★)<br/>(6)通学フリー定期券(紙)をWEB定期券化し、利便性を向上させる(★)<br/>(7)再編計画説明や各地区長会の折に、デマンド交通や時刻表の紹介を行い、公共交通の利用を促す(★)<br/>(8)市報への公共交通利用促進についての記事掲載を行う(★)</p> | A<br>各沿線自治体との協議が調わず実施できていない取組もあるが、利用促進や利便性向上の取組、収支率改善の取組を積極的に実施することができた。 | C<br>■未達成理由(収支率、輸送人員)<br>輸送人員についてはオンデマンドタクシー「チョイソコひぜん」「チョイソコだいら」が好調であり、地域内の利用は移行していること、少子化による通学利用の減少が大きく目標を達成することができなかった。<br>収支率においても、運送収入の減少に併せて運行コストが増大し目標を達成することができなかった。<br>【収支率】<br>(R7)目標:48.1% 実績:30.3%(C)<br>【輸送人員】<br>(R7)目標:38,334人 実績:26,037人(C) | 利用者数の減少においてはオンデマンドタクシーへの移行ということもあるが、メインユーザーである通学利用者が少子化により減少し続けている現状があり、本路線の将来について利便増進実施計画に基づき協議を続けていく。 |
| 昭和自動車株<br>北波多線 | <p>大手口～今組・山本～市民病院きたはた系統の運行。</p> <p>R7 車両購入4台<br/>(伊万里、野元・呼子、他11系統に導入)</p> <p>R6 車両購入5台<br/>(伊万里、野元・呼子、他10系統に導入)</p> <p>R5 車両購入3台<br/>(伊万里、野元・呼子、他10系統に導入)</p> <p>R4 車両購入3台<br/>(伊万里、野元・呼子、他10系統に導入)</p> <p>R1 車両購入1台<br/>(伊万里・北波多に導入)</p> <p>H29 車両購入1台<br/>(湊、呼子、有浦、切木、北波多に導入)</p>  | <p>【前回の事業評価結果】<br/>利用者増加のため、利用促進、利便性向上の取組を実施し、バス路線の再編・最適化を実施し、収支率の改善を目指す。</p> <p>【反映状況(反映したものには★)】<br/>■生産性向上及び収支率改善に資する取組<br/>(1)学校や老人会等でのバスの乗り方教室を実施する<br/>(2)平成29年度に導入した交通系ICカードnimoca普及のための講習会を開催し、周知を図る<br/>(3)SAGA Mobility Laboを通して、JRと連携し、利便性を向上させ、新規利用の取込みを図る<br/>(4)時刻表へノンステップバスの表記を行い、利便性を向上させる<br/>(5)昭和バス公式LINE(運行情報・時刻検索・接近情報)の普及を行い、利便性を向上させる(★)<br/>(6)通学フリー定期券(紙)をWEB定期券化し、利便性を向上させる(★)<br/>(7)再編計画説明や各地区長会の折に、デマンド交通や時刻表の紹介を行い、公共交通の利用を促す(★)<br/>(8)市報への公共交通利用促進についての記事掲載を行う(★)</p> | A<br>各沿線自治体との協議が調わず実施できていない取組もあるが、利用促進や利便性向上の取組、収支率改善の取組を積極的に実施することができた。 | B<br>■未達成理由(収支率)<br>輸送人員の増加により運送収入は増加したものの、運行コストの増大が重くのしかかり目標を達成することができなかった。<br>■達成理由(輸送人員)<br>輸送人員においては路線沿線の商業施設への買い物や病院への通院、中学校の通学利用が増加し目標を達成することができた。<br>【収支率】<br>(R7)目標:45.8% 実績:41.3%(B)<br>【輸送人員】<br>(R7)目標:51,361人 実績:57,247人(A)                    | 本路線の利便性向上と運行効率をさらに上げるためR8.4.1に一部経路変更を実施する予定。経路変更による利用の動向を注視しながら、今後も路線の最適化を図っていく。                        |

| ①補助対象事業者等                  | ②事業概要  | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況   | ④事業実施の適切性   | ⑤目標・効果達成状況   | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)   |
|----------------------------|--|---|---|--|---|
| <p>昭和自動車(株)<br/>湊・波戸岬線</p> | <p>大手口～みなと園・呼子～波戸岬国民宿舎系統の運行。</p> <p>R6 車両購入5台<br/>(伊万里、野元・呼子、他10系統に導入)<br/>R5 車両購入3台<br/>(伊万里、野元・呼子、他10系統に導入)<br/>R4 車両購入3台<br/>(伊万里、野元・呼子、他10系統に導入)<br/>R2 車両購入2台<br/>(有浦・仮屋、呼子、有浦・入野、切木、唐津・入野に導入)<br/>R1 車両購入1台<br/>(有浦・仮屋、呼子、有浦・入野、切木、唐津・入野に導入)</p>                               | <p>【前回の事業評価結果】<br/>利用者増加のため、利用促進、利便性向上の取組を実施し、バス路線の再編・最適化を実施し、収支率の改善を目指す。</p> <p>【反映状況(反映したものには★)】<br/>■生産性向上及び収支率改善に資する取組<br/>(1)学校や老人会等でのバスの乗り方教室を実施する<br/>(2)平成29年度に導入した交通系ICカードnimoca普及のための講習会を開催し、周知を図る<br/>(3)SAGA Mobility Laboを通して、JRと連携し、利便性を向上させ、新規利用の取込みを図る<br/>(4)時刻表へノンステップバスの表記を行い、利便性を向上させる<br/>(5)昭和バス公式LINE(運行情報・時刻検索・接近情報)の普及を行い、利便性を向上させる(★)<br/>(6)通学フリー定期券(紙)をWEB定期券化し、利便性を向上させる(★)<br/>(7)再編計画説明や各地区長会の折に、デマンド交通や時刻表の紹介を行い、公共交通の利用を促す(★)<br/>(8)市報への公共交通利用促進についての記事掲載を行う(★)</p>   | <p>A</p> <p>各沿線自治体との協議が調わず実施できていない取組もあるが、利用促進や利便性向上の取組、収支率改善の取組を積極的に実施することができた。</p> | <p>本路線はR6.4.1より運行開始した路線であり、本年度の目標設定はない。</p> <p>【収支率】<br/>(R7)目標:なし 実績:34.1%</p> <p>【輸送人員】<br/>(R7)目標:なし 実績:68,116人</p> | <p>本路線の沿線は観光地として県や市もPRをしており、協働して本路線の利用促進を図っていく。また、利用の動向について注視し、更なる路線の適正化を検討する。</p>                                      |
| <p>昭和自動車(株)<br/>唐津・入野線</p> | <p>大手口～金の手～入野系統の運行。</p> <p>R7 車両購入4台<br/>(伊万里、野元・呼子、他11系統に導入)<br/>R6 車両購入5台<br/>(伊万里、野元・呼子、他10系統に導入)<br/>R5 車両購入3台<br/>(伊万里、野元・呼子、他10系統に導入)<br/>R4 車両購入3台<br/>(伊万里、野元・呼子、他10系統に導入)<br/>R2 車両購入2台<br/>(有浦・仮屋、呼子、有浦・入野、切木、唐津・入野に導入)<br/>R1 車両購入1台<br/>(有浦・仮屋、呼子、有浦・入野、切木、唐津・入野に導入)</p> | <p>【前回の事業評価結果】<br/>利用者増加のため、利用促進、利便性向上の取組を実施し、バス路線の再編・最適化を実施し、収支率の改善を目指す。</p> <p>【反映状況(反映したものには★)】<br/>■生産性向上及び収支率改善に資する取組<br/>(1)学校や老人会等でのバスの乗り方教室を実施する<br/>(2)平成29年度に導入した交通系ICカードnimoca普及のための講習会を開催し、周知を図る<br/>(3)SAGA Mobility Laboを通して、JRと連携し、利便性を向上させ、新規利用の取込みを図る<br/>(4)時刻表へノンステップバスの表記を行い、利便性を向上させる<br/>(5)昭和バス公式LINE(運行情報・時刻検索・接近情報)の普及を行い、利便性を向上させる(★)<br/>(6)通学フリー定期券(紙)をWEB定期券化し、利便性を向上させる(★)<br/>(7)再編計画説明や各地区長会の折に、デマンド交通や時刻表の紹介を行い、公共交通の利用を促す(★)<br/>(8)市報への公共交通利用促進についての記事掲載を行う(★)<br/>(9)沿線施設に協力を呼びかけ、乗車証明書などを用いた優待サービスを行い、新規利用の取込みを図る(★)<br/>(10)高齢者運転免許証自主返納者へバス・タクシー券を交付し、公共交通利用を促進する(★)</p> | <p>A</p> <p>各沿線自治体との協議が調わず実施できていない取組もあるが、利用促進や利便性向上の取組、収支率改善の取組を積極的に実施することができた。</p> | <p>本路線はR6.4.1より運行開始した路線であり、本年度の目標設定はない。</p> <p>【収支率】<br/>(R7)目標:なし 実績:34.0%</p> <p>【輸送人員】<br/>(R7)目標:なし 実績:76,429人</p> | <p>本路線は玄海町と唐津市内を結ぶ路線であるが、メインユーザーである通学利用者が少子化により減少している現状がある。また、玄海町内はオンデマンドタクシーが普及しており、今後は本路線の必要性や最適化について協議・検討を進めていく。</p> |

| ①補助対象事業者等      | ②事業概要   | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況   | ④事業実施の適切性                      | ⑤目標・効果達成状況   | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)   |
|----------------|---|---|--------------------------------|--|---|
| 佐賀市交通局<br>犬井道線 | 佐賀駅BC～唐人町・大崎～大詫間系統の運行<br><br>H26年度～R2年度 車両購入3台/年<br>R3年度 車両購入2台<br>R4年度 車両購入3台<br>R5年度 車両購入3台<br>R6年度 車両購入1台<br>【犬井道、早津江、橋津、金立(来迎寺)、金立(憩い)、広江、東与賀、蓮池、嘉瀬新町、徳万に1台導入】<br>R7年度 車両購入3台<br>【犬井道、早津江、橋津、金立(憩い)、広江、東与賀、蓮池、嘉瀬新町、徳万、西与賀に1台導入】<br>【犬井道、早津江、橋津、金立(来迎寺)、金立(憩い)、広江、東与賀、蓮池、嘉瀬新町、徳万に1台導入】<br>【犬井道、早津江、橋津、金立(来迎寺)、金立(憩い)、広江、東与賀、蓮池、徳万に1台導入】  | 【前回の事業評価結果】<br>輸送人員は、各種利用促進事業やSAGAアリーナの開業に伴う各種イベントの開催により大幅に増加している。<br>今後も市報やデジタルサイネージ等を活用した広報やICカード普及活動を継続して実施し、情報提供を図り、更なる利用者の増加に努める必要がある。<br>また、収支率を改善するためには、利用状況に合わせた効率的な運行も必要であり、バス路線や運行本数の最適化などを検討していく必要がある。<br><br>【反映状況(反映したものには★)】<br>■生産性向上及び収支率改善に資する取組<br>①中学生・高校生を対象とした全路線乗り放題定期券の「ノリのリワイド」及び、指定時間帯において全路線乗り放題定期券の「昼のリワイド」について広報を行い、新規利用者の獲得を図る(★)<br>②平成29年度に導入したバスロケーションシステム(オープンデータ化によりGooglemapに対応済)を普及させ、バスの接近情報を提供することで当該系統の利便性を高め、利用者の増加を図る。また、オープンデータ化(★)<br>③佐賀市内の大学・高校・中学生の新生を対象に案内チラシを配布する(★)<br>④70歳以上の佐賀市民に対し、「ワンコイン・シルバーパス(佐賀市交通局のバス路線が1乗車100円となるバス)」の周知を徹底し、高齢者の新規利用の取り込みを図る(★)<br>⑤「ワンコインシルバーパス」を交通系ICカードnimocaに搭載した旨のPRを行い、ICカードの普及を図る(★)<br>⑥佐賀市内バス運賃無料DAYを実施する(★)<br>⑦路線バスの後部座席に設置しているサイネージを活用し、情報提供を行う(★)<br>⑧乗り方教室の実施やHPで乗り方などについて広報する(★)<br>⑨月に一度市報で市営バスの情報を広報する(★) | A<br>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された | B<br>利用促進事業や収支率改善を図る事業に取り組んだ結果、輸送人員は目標を達成したものの、収支率は目標を達成できなかった。<br><br>【収支率】<br>(R7)目標:57.3% 実績:56.2%(B)<br>【輸送人員】<br>(R7)目標:155,635人 実績:188,589人(A) | 輸送人員は中高生限定のお手頃なフリー定期の効果により、固定利用者の創出につながり利用者が大幅に増加しているため、今後も周知を行っていく。<br>収益が増加した一方で人件費や物価高騰により費用も増加し、収支率が悪化しているため、引き続き利用促進事業を実施し、収支改善のため、運行ダイヤの最適化と運賃改正の検討を行う。 |
| 佐賀市交通局<br>早津江線 | 佐賀駅BC～唐人町・諸富橋～早津江系統の運行<br><br>H26年度～R2年度 車両購入3台/年<br>R3年度 車両購入2台<br>R4年度 車両購入3台<br>R5年度 車両購入3台<br>R6年度 車両購入1台<br>【犬井道、早津江、橋津、金立(来迎寺)、金立(憩い)、広江、東与賀、蓮池、嘉瀬新町、徳万に1台導入】<br>R7年度 車両購入3台<br>【犬井道、早津江、橋津、金立(憩い)、広江、東与賀、蓮池、嘉瀬新町、徳万、西与賀に1台導入】<br>【犬井道、早津江、橋津、金立(来迎寺)、金立(憩い)、広江、東与賀、蓮池、嘉瀬新町、徳万に1台導入】<br>【犬井道、早津江、橋津、金立(来迎寺)、金立(憩い)、広江、東与賀、蓮池、徳万に1台導入】 | 【前回の事業評価結果】<br>輸送人員は、各種利用促進事業やSAGAアリーナの開業に伴う各種イベントの開催により大幅に増加している。<br>今後も市報やデジタルサイネージ等を活用した広報やICカード普及活動を継続して実施し、情報提供を図り、更なる利用者の増加に努める必要がある。<br>また、収支率を改善するためには、利用状況に合わせた効率的な運行も必要であり、バス路線や運行本数の最適化などを検討していく必要がある。<br><br>【反映状況(反映したものには★)】<br>■生産性向上及び収支率改善に資する取組<br>①中学生・高校生を対象とした全路線乗り放題定期券の「ノリのリワイド」及び、指定時間帯において全路線乗り放題定期券の「昼のリワイド」について広報を行い、新規利用者の獲得を図る(★)<br>②平成29年度に導入したバスロケーションシステム(オープンデータ化によりGooglemapに対応済)を普及させ、バスの接近情報を提供することで当該系統の利便性を高め、利用者の増加を図る。また、オープンデータ化(★)<br>③佐賀市内の大学・高校・中学生の新生を対象に案内チラシを配布する(★)<br>④70歳以上の佐賀市民に対し、「ワンコイン・シルバーパス(佐賀市交通局のバス路線が1乗車100円となるバス)」の周知を徹底し、高齢者の新規利用の取り込みを図る(★)<br>⑤「ワンコインシルバーパス」を交通系ICカードnimocaに搭載した旨のPRを行い、ICカードの普及を図る(★)<br>⑥佐賀市内バス運賃無料DAYを実施する(★)<br>⑦路線バスの後部座席に設置しているサイネージを活用し、情報提供を行う(★)<br>⑧乗り方教室の実施やHPで乗り方などについて広報する(★)<br>⑨月に一度市報で市営バスの情報を広報する(★) | A<br>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された | B<br>利用促進事業や収支率改善を図る事業に取り組んだ結果、輸送人員は目標を達成したものの、収支率は目標を達成できなかった。<br><br>【収支率】<br>(R7)目標:68.4% 実績:63.7%(B)<br>【輸送人員】<br>(R7)目標:205,938人 実績:260,855人(A) | 輸送人員は中高生限定のお手頃なフリー定期の効果により、固定利用者の創出につながり利用者が大幅に増加しているため、今後も周知を行っていく。<br>収益が増加した一方で人件費や物価高騰により費用も増加し、収支率が悪化しているため、引き続き利用促進事業を実施し、収支改善のため、運行ダイヤの最適化と運賃改正の検討を行う。 |

| ①補助対象事業者等          | ②事業概要  | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況  | ④事業実施の適切性                   | ⑤目標・効果達成状況  | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)   |
|--------------------|--|--|-----------------------------|---|---|
| 佐賀市交通局<br>橋津線      | 佐賀駅BC～朝日町・諸富橋～橋津系統の運行<br><br>H26年度～R2年度 車両購入3台/年<br>R3年度 車両購入2台<br>R4年度 車両購入3台<br>R5年度 車両購入3台<br>R6年度 車両購入1台<br>【犬井道、早津江、橋津、金立(来迎寺)、金立(憩い)、広江、東与賀、蓮池、嘉瀬新町、徳万に1台導入】<br>R7年度 車両購入3台<br>【犬井道、早津江、橋津、金立(憩い)、広江、東与賀、蓮池、嘉瀬新町、徳万、西与賀に1台導入】<br>【犬井道、早津江、橋津、金立(来迎寺)、金立(憩い)、広江、東与賀、蓮池、嘉瀬新町、徳万に1台導入】<br>【犬井道、早津江、橋津、金立(来迎寺)、金立(憩い)、広江、東与賀、蓮池、徳万に1台導入】 | <p>【前回の事業評価結果】<br/>                     輸送人員は、各種利用促進事業やSAGAアリーナの開業に伴う各種イベントの開催により大幅に増加している。<br/>                     今後も市報やデジタルサイネージ等を活用した広報やICカード普及活動を継続して実施し、情報提供を図り、更なる利用者の増加に努める必要がある。<br/>                     また、収支率を改善するためには、利用状況に合わせた効率的な運行も必要であり、バス路線や運行本数の最適化などを検討していく必要がある。</p> <p>【反映状況(反映したものには★)】<br/>                     ■生産性向上及び収支率改善に資する取組<br/>                     ①中学生・高校生を対象とした全路線乗り放題定期券の「ノリのりワイド」及び、指定時間帯において全路線乗り放題定期券の「昼のりワイド」について広報を行い、新規利用者の獲得を図る(★)<br/>                     ②平成29年度に導入したバスロケーションシステム(オープンデータ化によりGooglemapに対応済)を普及させ、バスの接近情報を提供することで当該系統の利便性を高め、利用者の増加を図る。また、オープンデータ化(★)<br/>                     ③佐賀市内の大学・高校・中学生の新入生を対象に案内チラシを配布する(★)<br/>                     ④70歳以上の佐賀市民に対し、「ワンコイン・シルバーパス(佐賀市交通局のバス路線が1乗車100円となるパス)」の周知を徹底し、高齢者の新規利用の取り込みを図る(★)<br/>                     ⑤「ワンコインシルバーパス」を交通系ICカードnimocalに搭載した旨のPRを行い、ICカードの普及を図る(★)<br/>                     ⑥佐賀市内バス運賃無料DAYを実施する(★)<br/>                     ⑦路線バスの後部座席に設置しているサイネージを活用し、情報提供を行う(★)<br/>                     ⑧乗り方教室の実施やHPで乗り方などについて広報する(★)<br/>                     ⑨月に一度市報で市営バスの情報を広報する(★)</p> | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された | B 利用促進事業や収支率改善を図る事業に取り組んだ結果、輸送人員は目標を達成したものの、収支率は目標を達成できなかった。<br><br>【収支率】<br>(R7)目標:55.9% 実績:46.3%(B)<br>【輸送人員】<br>(R7)目標:69,785人 実績:79,951人(A)   | 輸送人員は中高生限定のお手頃なフリー定期の効果により、固定利用者の創出につながり利用者が大幅に増加しているため、今後も周知を行っていく。<br>収益が増加した一方で人件費や物価高騰により費用も増加し、収支率が悪化しているため、引き続き利用促進事業を実施し、収支改善のため、運行ダイヤの最適化と運賃改正の検討を行う。 |
| 佐賀市交通局<br>金立(来迎寺)線 | 県庁前・佐嘉神社前～尼寺・来迎寺～運転免許センター系統の運行<br><br>H26年度～R2年度 車両購入3台/年<br>R3年度 車両購入2台<br>R4年度 車両購入3台<br>R5年度 車両購入3台<br>R6年度 車両購入1台<br>【犬井道、早津江、橋津、金立(来迎寺)、金立(憩い)、広江、東与賀、蓮池、嘉瀬新町、徳万に1台導入】<br>R7年度 車両購入3台<br>【犬井道、早津江、橋津、金立(来迎寺)、金立(憩い)、広江、東与賀、蓮池、嘉瀬新町、徳万に1台導入】<br>【犬井道、早津江、橋津、金立(来迎寺)、金立(憩い)、広江、東与賀、蓮池、徳万に1台導入】  | ③佐賀市内の大学・高校・中学生の新入生を対象に案内チラシを配布する(★)<br>④70歳以上の佐賀市民に対し、「ワンコイン・シルバーパス(佐賀市交通局のバス路線が1乗車100円となるパス)」の周知を徹底し、高齢者の新規利用の取り込みを図る(★)<br>⑤「ワンコインシルバーパス」を交通系ICカードnimocalに搭載した旨のPRを行い、ICカードの普及を図る(★)<br>⑥佐賀市内バス運賃無料DAYを実施する(★)<br>⑦路線バスの後部座席に設置しているサイネージを活用し、情報提供を行う(★)<br>⑧乗り方教室の実施やHPで乗り方などについて広報する(★)<br>⑨月に一度市報で市営バスの情報を広報する(★)   | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された | B 利用促進事業や収支率改善を図る事業に取り組んだ結果、輸送人員は目標を達成したものの、収支率は目標を達成できなかった。<br><br>【収支率】<br>(R7)目標:66.7% 実績:55.9%(B)<br>【輸送人員】<br>(R7)目標:113,140人 実績:130,129人(A) | 輸送人員は中高生限定のお手頃なフリー定期の効果により、固定利用者の創出につながり利用者が大幅に増加しているため、今後も周知を行っていく。<br>収益が増加した一方で人件費や物価高騰により費用も増加し、収支率が悪化しているため、引き続き利用促進事業を実施し、収支改善のため、運行ダイヤの最適化と運賃改正の検討を行う。 |

| ①補助対象事業者等          | ②事業概要  | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況  | ④事業実施の適切性                      | ⑤目標・効果達成状況   | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)   |
|--------------------|--|--|--------------------------------|--|---|
| 佐賀市交通局<br>金立(いこい)線 | <p>県庁前・佐嘉神社前～尼寺・金立憩い～運転免許センター系統の運行</p> <p>H26年度～R2年度 車両購入3台/年<br/>R3年度 車両購入2台<br/>R4年度 車両購入3台<br/>R5年度 車両購入3台<br/>R6年度 車両購入1台</p> <p>【犬井道、早津江、橋津、金立(来迎寺)、金立(憩い)、広江、東与賀、蓮池、嘉瀬新町、徳万に1台導入】</p> <p>R7年度 車両購入3台<br/>【犬井道、早津江、橋津、金立(憩い)、広江、東与賀、蓮池、嘉瀬新町、徳万、西与賀に1台導入】</p> <p>【犬井道、早津江、橋津、金立(来迎寺)、金立(憩い)、広江、東与賀、蓮池、嘉瀬新町、徳万に1台導入】</p> <p>【犬井道、早津江、橋津、金立(来迎寺)、金立(憩い)、広江、東与賀、蓮池、徳万に1台導入】</p> | <p>【前回の事業評価結果】<br/>輸送人員は、各種利用促進事業やSAGAアリーナの開業に伴う各種イベントの開催により大幅に増加している。<br/>今後も市報やデジタルサイネージ等を活用した広報やICカード普及活動を継続して実施し、情報提供を図り、更なる利用者の増加に努める必要がある。<br/>また、収支率を改善するためには、利用状況に合わせた効率的な運行も必要であり、バス路線や運行本数の最適化などを検討していく必要がある。</p> <p>【反映状況(反映したものには★)】<br/>■生産性向上及び収支率改善に資する取組<br/>①中学生・高校生を対象とした全路線乗り放題定期券の「ノリのリワイド」及び、指定時間帯において全路線乗り放題定期券の「昼のリワイド」について広報を行い、新規利用者の獲得を図る(★)<br/>②平成29年度に導入したバスロケーションシステム(オープンデータ化によりGooglemapに対応済)を普及させ、バスの接近情報を提供することで当該システムの利便性を高め、利用者の増加を図る。また、オープンデータ化(★)<br/>③佐賀市内の大学・高校・中学生の新入生を対象に案内チラシを配布する(★)<br/>④70歳以上の佐賀市民に対し、「ワンコイン・シルバーパス(佐賀市交通局のバス路線が1乗車100円となるパス)」の周知を徹底し、高齢者の新規利用の取り込みを図る(★)<br/>⑤「ワンコインシルバーパス」を交通系ICカードnimocaに搭載した旨のPRを行い、ICカードの普及を図る(★)<br/>⑥佐賀市内バス運賃無料DAYを実施する(★)<br/>⑦路線バスの後部座席に設置しているサイネージを活用し、情報提供を行う(★)<br/>⑧乗り方教室の実施やHPで乗り方などについて広報する(★)<br/>⑨月に一度市報で市営バスの情報を広報する(★)</p> | A<br>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された | B<br>利用促進事業や収支率改善を図る事業に取り組んだ結果、輸送人員は目標を達成したものの、収支率は目標を達成できなかった。<br>【収支率】<br>(R7)目標:81.5% 実績:69.4%(B)<br>【輸送人員】<br>(R7)目標:198,372人 実績:236,517人(A) | 輸送人員は中高生限定のお手頃なフリー定期の効果により、固定利用者の創出につながり利用者が大幅に増加しているため、今後も周知を行っていく。<br>収益が増加した一方で人件費や物価高騰により費用も増加し、収支率が悪化しているため、引き続き利用促進事業を実施し、収支改善のため、運行ダイヤの最適化と運賃改正の検討を行う。 |
| 佐賀市交通局<br>広江線      | <p>佐賀駅BC～中島・広江～和崎系統の運行</p> <p>H26年度～R2年度 車両購入3台/年<br/>R3年度 車両購入2台<br/>R4年度 車両購入3台<br/>R5年度 車両購入3台<br/>R6年度 車両購入1台</p> <p>【犬井道、早津江、橋津、金立(来迎寺)、金立(憩い)、広江、東与賀、蓮池、嘉瀬新町、徳万に1台導入】</p> <p>R7年度 車両購入3台<br/>【犬井道、早津江、橋津、金立(憩い)、広江、東与賀、蓮池、嘉瀬新町、徳万、西与賀に1台導入】</p> <p>【犬井道、早津江、橋津、金立(来迎寺)、金立(憩い)、広江、東与賀、蓮池、嘉瀬新町、徳万に1台導入】</p> <p>【犬井道、早津江、橋津、金立(来迎寺)、金立(憩い)、広江、東与賀、蓮池、徳万に1台導入】</p>             | <p>【前回の事業評価結果】<br/>輸送人員は、各種利用促進事業やSAGAアリーナの開業に伴う各種イベントの開催により大幅に増加している。<br/>今後も市報やデジタルサイネージ等を活用した広報やICカード普及活動を継続して実施し、情報提供を図り、更なる利用者の増加に努める必要がある。<br/>また、収支率を改善するためには、利用状況に合わせた効率的な運行も必要であり、バス路線や運行本数の最適化などを検討していく必要がある。</p> <p>【反映状況(反映したものには★)】<br/>■生産性向上及び収支率改善に資する取組<br/>①中学生・高校生を対象とした全路線乗り放題定期券の「ノリのリワイド」及び、指定時間帯において全路線乗り放題定期券の「昼のリワイド」について広報を行い、新規利用者の獲得を図る(★)<br/>②平成29年度に導入したバスロケーションシステム(オープンデータ化によりGooglemapに対応済)を普及させ、バスの接近情報を提供することで当該システムの利便性を高め、利用者の増加を図る。また、オープンデータ化(★)<br/>③佐賀市内の大学・高校・中学生の新入生を対象に案内チラシを配布する(★)<br/>④70歳以上の佐賀市民に対し、「ワンコイン・シルバーパス(佐賀市交通局のバス路線が1乗車100円となるパス)」の周知を徹底し、高齢者の新規利用の取り込みを図る(★)<br/>⑤「ワンコインシルバーパス」を交通系ICカードnimocaに搭載した旨のPRを行い、ICカードの普及を図る(★)<br/>⑥佐賀市内バス運賃無料DAYを実施する(★)<br/>⑦路線バスの後部座席に設置しているサイネージを活用し、情報提供を行う(★)<br/>⑧乗り方教室の実施やHPで乗り方などについて広報する(★)<br/>⑨月に一度市報で市営バスの情報を広報する(★)</p> | A<br>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された | B<br>利用促進事業や収支率改善を図る事業に取り組んだ結果、輸送人員は目標を達成したものの、収支率は目標を達成できなかった。<br>【収支率】<br>(R7)目標:64.5% 実績:49.9%(B)<br>【輸送人員】<br>(R7)目標:161,419人 実績:185,399人(A) | 輸送人員は中高生限定のお手頃なフリー定期の効果により、固定利用者の創出につながり利用者が大幅に増加しているため、今後も周知を行っていく。<br>収益が増加した一方で人件費や物価高騰により費用も増加し、収支率が悪化しているため、引き続き利用促進事業を実施し、収支改善のため、運行ダイヤの最適化と運賃改正の検討を行う。 |

| ①補助対象事業者等      | ②事業概要  | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況  | ④事業実施の適切性                      | ⑤目標・効果達成状況   | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)   |
|----------------|--|--|--------------------------------|--|---|
| 佐賀市交通局<br>東与賀線 | 佐賀駅BC～大財町・佐賀大学前～大野系統の運行<br><br>H26年度～R2年度 車両購入3台/年<br>R3年度 車両購入2台<br>R4年度 車両購入3台<br>R5年度 車両購入3台<br>R6年度 車両購入1台<br>【犬井道、早津江、橋津、金立(来迎寺)、金立(憩い)、広江、東与賀、蓮池、嘉瀬新町、徳万に1台導入】<br>R7年度 車両購入3台<br>【犬井道、早津江、橋津、金立(憩い)、広江、東与賀、蓮池、嘉瀬新町、徳万、西与賀に1台導入】<br>【犬井道、早津江、橋津、金立(来迎寺)、金立(憩い)、広江、東与賀、蓮池、嘉瀬新町、徳万に1台導入】<br>【犬井道、早津江、橋津、金立(来迎寺)、金立(憩い)、広江、東与賀、蓮池、徳万に1台導入】 | <b>【前回の事業評価結果】</b><br>輸送人員は、各種利用促進事業やSAGAアリーナの開業に伴う各種イベントの開催により大幅に増加している。<br>今後も市報やデジタルサイネージ等を活用した広報やICカード普及活動を継続して実施し、情報提供を図り、更なる利用者の増加に努める必要がある。<br>また、収支率を改善するためには、利用状況に合わせた効率的な運行も必要であり、バス路線や運行本数の最適化などを検討していく必要がある。<br><br><b>【反映状況(反映したものには★)】</b><br><b>■生産性向上及び収支率改善に資する取組</b><br>①中学生・高校生を対象とした全路線乗り放題定期券の「ノリのりワイド」及び、指定時間帯において全路線乗り放題定期券の「昼のりワイド」について広報を行い、新規利用者の獲得を図る(★)<br>②平成29年度に導入したバスロケーションシステム(オープンデータ化によりGooglemapに対応済)を普及させ、バスの接近情報を提供することで当該系統の利便性を高め、利用者の増加を図る。また、オープンデータ化(★)<br>③佐賀市内の大学・高校・中学生の新入生を対象に案内チラシを配布する(★)<br>④70歳以上の佐賀市民に対し、「ワンコイン・シルバーパス(佐賀市交通局のバス路線が1乗車100円となるパス)」の周知を徹底し、高齢者の新規利用の取り込みを図る(★)<br>⑤「ワンコインシルバーパス」を交通系ICカードnimocalに搭載した旨のPRを行い、ICカードの普及を図る(★)<br>⑥佐賀市内バス運賃無料DAYを実施する(★)<br>⑦路線バスの後部座席に設置しているサイネージを活用し、情報提供を行う(★)<br>⑧乗り方教室の実施やHPで乗り方などについて広報する(★)<br>⑨月に一度市報で市営バスの情報を広報する(★) | A<br>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された | B<br>利用促進事業や収支率改善を図る事業に取り組んだ結果、輸送人員は目標を達成したものの、収支率は目標を達成できなかった。<br><br>【収支率】<br>(R7)目標:84.9% 実績:71.7%(B)<br>【輸送人員】<br>(R7)目標:163,934人 実績:193,757人(A) | 輸送人員は中高生限定のお手頃なフリー定期の効果により、固定利用者の創出につながり利用者が大幅に増加しているため、今後も周知を行っていく。<br>収益が増加した一方で人件費や物価高騰により費用も増加し、収支率が悪化しているため、引き続き利用促進事業を実施し、収支改善のため、運行ダイヤの最適化と運賃改正の検討を行う。 |
| 佐賀市交通局<br>蓮池線  | 佐賀駅BC～唐人町・東田代～橋津系統の運行<br><br>H26年度～R2年度 車両購入3台/年<br>R3年度 車両購入2台<br>R4年度 車両購入3台<br>R5年度 車両購入3台<br>R6年度 車両購入1台<br>【犬井道、早津江、橋津、金立(来迎寺)、金立(憩い)、広江、東与賀、蓮池、嘉瀬新町、徳万に1台導入】<br>R7年度 車両購入3台<br>【犬井道、早津江、橋津、金立(憩い)、広江、東与賀、蓮池、嘉瀬新町、徳万、西与賀に1台導入】<br>【犬井道、早津江、橋津、金立(来迎寺)、金立(憩い)、広江、東与賀、蓮池、嘉瀬新町、徳万に1台導入】<br>【犬井道、早津江、橋津、金立(来迎寺)、金立(憩い)、広江、東与賀、蓮池、徳万に1台導入】   | ③佐賀市内の大学・高校・中学生の新入生を対象に案内チラシを配布する(★)<br>④70歳以上の佐賀市民に対し、「ワンコイン・シルバーパス(佐賀市交通局のバス路線が1乗車100円となるパス)」の周知を徹底し、高齢者の新規利用の取り込みを図る(★)<br>⑤「ワンコインシルバーパス」を交通系ICカードnimocalに搭載した旨のPRを行い、ICカードの普及を図る(★)<br>⑥佐賀市内バス運賃無料DAYを実施する(★)<br>⑦路線バスの後部座席に設置しているサイネージを活用し、情報提供を行う(★)<br>⑧乗り方教室の実施やHPで乗り方などについて広報する(★)<br>⑨月に一度市報で市営バスの情報を広報する(★)   | A<br>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された | B<br>利用促進事業や収支率改善を図る事業に取り組んだ結果、輸送人員は目標を達成したものの、収支率は目標を達成できなかった。<br><br>【収支率】<br>(R7)目標:48.7% 実績:45.2%(B)<br>【輸送人員】<br>(R7)目標:93,382人 実績:112,648人(A)  | 輸送人員は中高生限定のお手頃なフリー定期の効果により、固定利用者の創出につながり利用者が大幅に増加しているため、今後も周知を行っていく。<br>収益が増加した一方で人件費や物価高騰により費用も増加し、収支率が悪化しているため、引き続き利用促進事業を実施し、収支改善のため、運行ダイヤの最適化と運賃改正の検討を行う。 |

| ①補助対象事業者等               | ②事業概要   | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況  | ④事業実施の適切性                              | ⑤目標・効果達成状況   | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)   |
|-------------------------|---|--|--|--|---|
| <p>佐賀市交通局<br/>嘉瀬新町線</p> | <p>佐賀駅BC～医療センター・嘉瀬新町～くぼた特産物直売所系統の運行</p> <p>H26年度～R2年度 車両購入3台/年<br/>R3年度 車両購入2台<br/>R4年度 車両購入3台<br/>R5年度 車両購入3台<br/>R6年度 車両購入1台<br/>【犬井道、早津江、橋津、金立(来迎寺)、金立(憩い)、広江、東与賀、蓮池、嘉瀬新町、徳万に1台導入】<br/>R7年度 車両購入3台<br/>【犬井道、早津江、橋津、金立(憩い)、広江、東与賀、蓮池、嘉瀬新町、徳万、西与賀に1台導入】<br/>【犬井道、早津江、橋津、金立(来迎寺)、金立(憩い)、広江、東与賀、蓮池、嘉瀬新町、徳万に1台導入】</p>   | <p>【前回の事業評価結果】<br/>輸送人員は、各種利用促進事業やSAGAアリーナの開業に伴う各種イベントの開催により大幅に増加している。<br/>今後も市報やデジタルサイネージ等を活用した広報やICカード普及活動を継続して実施し、情報提供を図り、更なる利用者の増加に努める必要がある。<br/>また、収支率を改善するためには、利用状況に合わせた効率的な運行も必要であり、バス路線や運行本数の最適化などを検討していく必要がある。</p> <p>【反映状況(反映したものには★)】<br/>■生産性向上及び収支率改善に資する取組<br/>①中学生・高校生を対象とした全路線乗り放題定期券の「ノリのりワイド」及び、指定時間帯において全路線乗り放題定期券の「昼のりワイド」について広報を行い、新規利用者の獲得を図る(★)<br/>②平成29年度に導入したバスロケーションシステム(オープンデータ化によりGooglemapに対応済)を普及させ、バスの接近情報を提供することで当該システムの利便性を高め、利用者の増加を図る。また、オープンデータ化(★)<br/>③佐賀市内の大学・高校・中学生の新入生を対象に案内チラシを配布する(★)<br/>④70歳以上の佐賀市民に対し、「ワンコイン・シルバーパス(佐賀市交通局のバス路線が1乗車100円となるパス)」の周知を徹底し、高齢者の新規利用の取り込みを図る(★)<br/>⑤「ワンコインシルバーパス」を交通系ICカードnimocaに搭載した旨のPRを行い、ICカードの普及を図る(★)<br/>⑥佐賀市内バス運賃無料DAYを実施する(★)<br/>⑦路線バスの後部座席に設置しているサイネージを活用し、情報提供を行う(★)<br/>⑧乗り方教室の実施やHPで乗り方などについて広報する(★)<br/>⑨月に一度市報で市営バスの情報を広報する(★)</p> | <p>A<br/>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された</p> | <p>B<br/>利用促進事業や収支率改善を図る事業に取り組んだ結果、輸送人員は目標を達成したものの、収支率は目標を達成できなかった。<br/>【収支率】<br/>(R7)目標:50.9% 実績:46.4%(B)<br/>【輸送人員】<br/>(R7)目標:57,954人 実績:69,710人(A)</p> | <p>輸送人員は中高生限定のお手頃なフリー定期の効果により、固定利用者の創出につながり利用者が大幅に増加しているため、今後も周知を行っていく。<br/>収益が増加した一方で人件費や物価高騰により費用も増加し、収支率が悪化しているため、引き続き利用促進事業を実施し、収支改善のため、運行ダイヤの最適化と運賃改正の検討を行う。</p> |
| <p>佐賀市交通局<br/>徳万線</p>   | <p>佐賀駅BC～医療センター・徳万～くぼた特産物直売所系統の運行</p> <p>H26年度～R2年度 車両購入3台/年<br/>R3年度 車両購入2台<br/>R4年度 車両購入3台<br/>R5年度 車両購入3台<br/>R6年度 車両購入1台<br/>【犬井道、早津江、橋津、金立(来迎寺)、金立(憩い)、広江、東与賀、蓮池、嘉瀬新町、徳万に1台導入】<br/>R7年度 車両購入3台<br/>【犬井道、早津江、橋津、金立(憩い)、広江、東与賀、蓮池、嘉瀬新町、徳万、西与賀に1台導入】<br/>【犬井道、早津江、橋津、金立(来迎寺)、金立(憩い)、広江、東与賀、蓮池、嘉瀬新町、徳万に1台導入】<br/>【犬井道、早津江、橋津、金立(来迎寺)、金立(憩い)、広江、東与賀、蓮池、徳万に1台導入】</p> | <p>③佐賀市内の大学・高校・中学生の新入生を対象に案内チラシを配布する(★)<br/>④70歳以上の佐賀市民に対し、「ワンコイン・シルバーパス(佐賀市交通局のバス路線が1乗車100円となるパス)」の周知を徹底し、高齢者の新規利用の取り込みを図る(★)<br/>⑤「ワンコインシルバーパス」を交通系ICカードnimocaに搭載した旨のPRを行い、ICカードの普及を図る(★)<br/>⑥佐賀市内バス運賃無料DAYを実施する(★)<br/>⑦路線バスの後部座席に設置しているサイネージを活用し、情報提供を行う(★)<br/>⑧乗り方教室の実施やHPで乗り方などについて広報する(★)<br/>⑨月に一度市報で市営バスの情報を広報する(★)</p>   | <p>A<br/>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された</p> | <p>B<br/>利用促進事業や収支率改善を図る事業に取り組んだ結果、輸送人員は目標を達成したものの、収支率は目標を達成できなかった。<br/>【収支率】<br/>(R7)目標:45.7% 実績:41.8%(B)<br/>【輸送人員】<br/>(R7)目標:56,055人 実績:64,149人(A)</p> | <p>輸送人員は中高生限定のお手頃なフリー定期の効果により、固定利用者の創出につながり利用者が大幅に増加しているため、今後も周知を行っていく。<br/>収益が増加した一方で人件費や物価高騰により費用も増加し、収支率が悪化しているため、引き続き利用促進事業を実施し、収支改善のため、運行ダイヤの最適化と運賃改正の検討を行う。</p> |

| ①補助対象事業者等      | ②事業概要   | ③前回(又は類似事業)の<br>事業評価結果の反映状況   | ④事業実施の適切性                      | ⑤目標・効果達成状況   | ⑥事業の今後の改善点<br>(特記事項を含む)   |
|----------------|---|---|--------------------------------|--|---|
| 佐賀市交通局<br>西与賀線 | 佐賀駅BC～大財町・佐賀大学<br>前～大野系統の運行<br><br>H26年度～R2年度 車両購入3<br>台/年<br>R3年度 車両購入2台<br>R4年度 車両購入3台<br>R5年度 車両購入3台<br>R6年度 車両購入1台<br>R7年度 車両購入3台<br>【犬井道、早津江、橋津、金立<br>(憩い)、広江、東与賀、蓮池、<br>嘉瀬新町、徳万、西与賀に1台<br>導入】 | <p>【前回の事業評価結果】<br/>輸送人員は、各種利用促進事業やSAGAアリーナの開業に伴う各種イベントの開催により大幅に増加している。今後も市報やデジタルサイネージ等を活用した広報やICカード普及活動を継続して実施し、情報提供を図り、更なる利用者の増加に努める必要がある。<br/>また、収支率を改善するためには、利用状況に合わせた効率的な運行も必要であり、バス路線や運行本数の最適化などを検討していく必要がある。</p> <p>【反映状況(反映したものには★)】<br/>■生産性向上及び収支率改善に資する取組<br/>①中学生・高校生を対象とした全路線乗り放題定期券の「ノリのりワイド」及び、指定時間帯において全路線乗り放題定期券の「昼のりワイド」について広報を行い、新規利用者の獲得を図る(★)<br/>②平成29年度に導入したバスロケーションシステム(オープンデータ化によりGooglemapに対応済)を普及させ、バスの接近情報を提供することで当該系統の利便性を高め、利用者の増加を図る。また、オープンデータ化(★)<br/>③佐賀市内の大学・高校・中学生の新入生を対象に案内チラシを配布する(★)<br/>④70歳以上の佐賀市民に対し、「ワンコイン・シルバーパス(佐賀市交通局のバス路線が1乗車100円となるパス)」の周知を徹底し、高齢者の新規利用の取り込みを図る(★)<br/>⑤「ワンコインシルバーパス」を交通系ICカードnimocaに搭載した旨のPRを行い、ICカードの普及を図る(★)<br/>⑥佐賀市内バス運賃無料DAYを実施する(★)<br/>⑦路線バスの後部座席に設置しているサイネージを活用し、情報提供を行う(★)<br/>⑧乗り方教室の実施やHPで乗り方などについて広報する(★)<br/>⑨月に一度市報で市営バスの情報を広報する(★)</p> | A<br>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された | B<br>利用促進事業や収支率改善を図る事業に取り組んだ結果、輸送人員は目標を達成したものの、収支率は目標を達成できなかった。<br><br>【収支率】<br>(R7)目標:86.4% 実績:85.3%(B)<br>【輸送人員】<br>(R7)目標:184,693人 実績:233,751人(A) | 輸送人員は中高生限定のお手頃なフリー定期の効果により、固定利用者の創出につながり利用者が大幅に増加しているため、今後も周知を行っていく。<br>収益が増加した一方で人件費や物価高騰により費用も増加し、収支率が悪化しているため、引き続き利用促進事業を実施し、収支改善のため、運行ダイヤの最適化と運賃改正の検討を行う。 |

| ①補助対象事業者等       | ②事業概要  | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況   | ④事業実施の適切性                      | ⑤目標・効果達成状況   | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む) |
|-----------------|--|---|--------------------------------|--|---------------------|
| 祐徳自動車(株)<br>佐賀線 | 祐徳神社前～江北駅前・好生館～佐賀駅バスセンター系統の運行<br><br>R3年度 車両購入1台<br>R4年度 車両購入1台<br>R5年度 車両購入1台<br>R7年度 車両購入1台                | <p>【前回の事業評価結果】<br/>沿線市町の人口減少やモータリゼーションの進行により輸送人員の減少及び収支率の悪化を引き起こしていることが明らかとなったため、ICカード普及活動やバス運行情報のオープンデータ化及びバスロケーションシステムの広報を行い、利用促進事業や利便性向上による輸送人員の増加を図る必要がある。また、収支率の改善のためには、輸送人員の減少が見込まれるとしても、バス路線の再編・最適化が必要となる。</p> <p>【反映状況(反映したものには★)】<br/>           ■生産性向上及び収支率改善に資する取組<br/>           ①平成30年度に導入した交通系ICカードnimoca普及のための広報を行い、更なる新規利用の取込みを図る。(令和7年9月まで)<br/>           ②平成30年度に導入したバスロケーションシステムの利便性を広報し、更なる新規利用の取込みを図る。(令和7年9月まで)<br/>           ③時刻表にQRコードを貼り、バスの位置情報を確認できるようにする。(令和7年9月まで)<br/>           ④企画乗車券の発売を行い、新規利用の取込みを図る。(令和7年9月まで)(★)<br/>           ⑤佐賀駅バスセンターでの乗継割引を実施し、利便性向上及び新規利用の取込みを図る。(令和7年9月まで)(★)<br/>           ⑥佐賀市バス路線マップ(英・中・韓対応)の配布を行い、住民への周知を行う。(令和7年9月まで)(★)<br/>           ⑦公共交通に関するイベントを開催し、利用促進を図る。(令和7年9月まで)(★)<br/>           ⑧バスの時刻、運賃等についてホームページ等で周知。(令和7年9月まで)(★)<br/>           ⑨公共交通利用促進事業バス・タクシー回数券の発行による、利便性向上を図る。(令和7年9月まで)(★)</p> | A<br>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された | B<br><p>■目標達成の要因(収支率)<br/>10/1に運賃改定及び運行本数の適正化を実施したことで、目標を達成することができた。<br/>           ■目標未達成の要因(輸送人員)<br/>10/1に運賃改定及び運行本数の適正化を実施したものの、目標を達成することができなかった。</p> <p>【収支率】<br/>(R7)目標:25.7% 実績:26.8%(A)<br/>           【輸送人員】<br/>(R7)目標:87,316人 実績:59,673人(C)</p> | 引き続き利便性向上等に取り組む     |
| 祐徳自動車(株)<br>武雄線 | 下西山車庫～江北駅前・好生館～佐賀駅バスセンター系統の運行<br><br>R2年度 車両購入1台<br>R3年度 車両購入1台<br>R5年度 車両購入1台<br>R6年度 車両購入1台<br>R7年度 車両購入1台 | (同左)  | A<br>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された | C<br><p>■目標未達成の要因<br/>10/1に運賃改定及び運行本数の適正化を実施したものの、目標を達成することができなかった。</p> <p>【収支率】<br/>(R7)目標:27.7% 実績:25.1%(C)<br/>           【輸送人員】<br/>(R7)目標:102,919人 実績:80,929人(C)</p>  | 引き続き利便性向上等に取り組む     |

| ①補助対象事業者等               | ②事業概要  | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況   | ④事業実施の適切性                              | ⑤目標・効果達成状況  | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)    |
|-------------------------|--|---|--|---|------------------------|
| <p>祐徳自動車(株)<br/>嬉野線</p> | <p>祐徳神社前～嬉野市役所～湯の田系統の運行</p> <p>R2年度 車両購入1台<br/>R3年度 車両購入1台<br/>R4年度 車両購入1台<br/>R6年度 車両購入1台<br/>R7年度 車両購入1台</p> | <p>【前回の事業評価結果】<br/>沿線市町の人口減少やモータリゼーションの進行により輸送人員の減少及び収支率の悪化を引き起こしていることが明らかとなったため、ICカード普及活動やバス運行情報のオープンデータ化及びバスロケーションシステムの広報を行い、利用促進事業や利便性向上による輸送人員の増加を図る必要がある。また、収支率の改善のためには、輸送人員の減少が見込まれるとしても、バス路線の再編・最適化が必要となる。</p> <p>【反映状況(反映したものには★)】<br/>■生産性向上及び収支率改善に資する取組<br/>①平成30年度に導入した交通系ICカードnimoca普及のための広報を行い、更なる新規利用の取込みを図る。(令和7年9月まで)<br/>②平成30年度に導入したバスロケーションシステムの利便性を広報し、更なる新規利用の取込みを図る。(令和7年9月まで)<br/>③時刻表にQRコードを貼り、バスの位置情報を確認できるようにする。(令和7年9月まで)<br/>④企画乗車券の発売を行い、新規利用の取込みを図る。(令和7年9月まで)(★)<br/>⑤佐賀駅バスセンターでの乗継割引を実施し、利便性向上及び新規利用の取込みを図る。(令和7年9月まで)(★)<br/>⑥佐賀市バス路線マップ(英・中・韓対応)の配布を行い、住民への周知を行う。(令和7年9月まで)(★)<br/>⑦公共交通に関するイベントを開催し、利用促進を図る。(令和7年9月まで)(★)<br/>⑧バスの時刻、運賃等についてホームページ等で周知。(令和7年9月まで)(★)<br/>⑨公共交通利用促進事業バス・タクシー回数券の発行による、利便性向上を図る。(令和7年9月まで)(★)</p> | <p>A<br/>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された</p> | <p>C<br/>■目標未達成の要因<br/>10/1に運賃改定及び運行本数の適正化を実施したものの、目標を達成することができなかった。<br/>【収支率】<br/>(R7)目標:34.3% 実績:30.4%(C)<br/>【輸送人員】<br/>(R7)目標:72,668人 実績:58,356人(C)</p> | <p>引き続き利便性向上等に取り組む</p> |
| <p>祐徳自動車(株)<br/>吉田線</p> | <p>中川～吉田～湯の田系統の運行</p> <p>R3年度 車両購入1台<br/>R5年度 車両購入1台<br/>R7年度 車両購入1台</p>                                       | <p>【前回の事業評価結果】<br/>沿線市町の人口減少やモータリゼーションの進行により輸送人員の減少及び収支率の悪化を引き起こしていることが明らかとなったため、ICカード普及活動やバス運行情報のオープンデータ化及びバスロケーションシステムの広報を行い、利用促進事業や利便性向上による輸送人員の増加を図る必要がある。また、収支率の改善のためには、輸送人員の減少が見込まれるとしても、バス路線の再編・最適化が必要となる。</p> <p>【反映状況(反映したものには★)】<br/>■生産性向上及び収支率改善に資する取組<br/>①平成30年度に導入した交通系ICカードnimoca普及のための広報を行い、更なる新規利用の取込みを図る。(令和7年9月まで)<br/>②平成30年度に導入したバスロケーションシステムの利便性を広報し、更なる新規利用の取込みを図る。(令和7年9月まで)<br/>③時刻表にQRコードを貼り、バスの位置情報を確認できるようにする。(令和7年9月まで)<br/>④企画乗車券の発売を行い、新規利用の取込みを図る。(令和7年9月まで)(★)<br/>⑤佐賀駅バスセンターでの乗継割引を実施し、利便性向上及び新規利用の取込みを図る。(令和7年9月まで)(★)<br/>⑥佐賀市バス路線マップ(英・中・韓対応)の配布を行い、住民への周知を行う。(令和7年9月まで)(★)<br/>⑦公共交通に関するイベントを開催し、利用促進を図る。(令和7年9月まで)(★)<br/>⑧バスの時刻、運賃等についてホームページ等で周知。(令和7年9月まで)(★)<br/>⑨公共交通利用促進事業バス・タクシー回数券の発行による、利便性向上を図る。(令和7年9月まで)(★)</p> | <p>A<br/>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された</p> | <p>C<br/>■目標未達成の要因<br/>10/1に運賃改定及び運行本数の適正化を実施したものの、目標を達成することができなかった。<br/>【収支率】<br/>(R7)目標:32.1% 実績:26.6%(C)<br/>【輸送人員】<br/>(R7)目標:46,786人 実績:39,656人(C)</p> | <p>引き続き利便性向上等に取り組む</p> |

| ①補助対象事業者等       | ②事業概要  | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況  | ④事業実施の適切性                      | ⑤目標・効果達成状況  | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む) |
|-----------------|--|--|--------------------------------|---|---------------------|
| 祐徳自動車(株)<br>祐徳線 | 祐徳神社前～嬉野市役所～下西山車庫系統の運行<br><br>R2年度 車両購入1台<br>R4年度 車両購入1台<br>R5年度 車両購入1台<br>R6年度 車両購入1台 | <b>【前回の事業評価結果】</b><br>沿線市町の人口減少やモータリゼーションの進行により輸送人員の減少及び収支率の悪化を引き起こしていることが明らかとなったため、ICカード普及活動やバス運行情報のオープンデータ化及びバスロケーションシステムの広報を行い、利用促進事業や利便性向上による輸送人員の増加を図る必要がある。<br>また、収支率の改善のためには、輸送人員の減少が見込まれるとしても、バス路線の再編・最適化が必要となる。   | A<br>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された | A<br><b>■目標達成の要因(収支率)</b><br>10/1に運賃改定及び運行本数の適正化を実施したことで、目標を達成することができた。<br><b>■目標未達成の要因(輸送人員)</b><br>10/1に運賃改定及び運行本数の適正化を実施したものの、目標を達成することができなかった。<br><br><b>【収支率】</b><br>(R7)目標:33.8% 実績:37.0%(A)<br><b>【輸送人員】</b><br>(R7)目標:62,465人 実績:52,879人(C) | 引き続き利便性向上等に取り組む     |
| 祐徳自動車(株)<br>太良線 | 肥前鹿島駅前～糸岐本町～竹崎港系統の運行<br><br>R2年度 車両購入1台<br>R4年度 車両購入1台<br>R6年度 車両購入1台                  | <b>【反映状況(反映したものには★)】</b><br><b>■生産性向上及び収支率改善に資する取組</b><br>①平成30年度に導入した交通系ICカードnimoca普及のための広報を行い、更なる新規利用の取込みを図る。(令和7年9月まで)<br>②平成30年度に導入したバスロケーションシステムの利便性を広報し、更なる新規利用の取込みを図る。(令和7年9月まで)<br>③時刻表にQRコードを貼り、バスの位置情報を確認できるようにする。(令和7年9月まで)<br>④企画乗車券の発売を行い、新規利用の取込みを図る。(令和7年9月まで)(★)<br>⑤佐賀駅バスセンターでの乗継割引を実施し、利便性向上及び新規利用の取込みを図る。(令和7年9月まで)(★)<br>⑥佐賀市バス路線マップ(英・中・韓対応)の配布を行い、住民への周知を行う。(令和7年9月まで)(★)<br>⑦公共交通に関するイベントを開催し、利用促進を図る。(令和7年9月まで)(★)<br>⑧バスの時刻、運賃等についてホームページ等で周知。(令和7年9月まで)(★)<br>⑨公共交通利用促進事業バス・タクシー回数券の発行による、利便性向上を図る。(令和7年9月まで)(★) | A<br>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された | C<br><b>■目標未達成の要因</b><br>10/1に運賃改定及び運行本数の適正化を実施したものの、目標を達成することができなかった。<br><br><b>【収支率】</b><br>(R7)目標:25.8% 実績:24.3%(C)<br><b>【輸送人員】</b><br>(R7)目標:49,117人 実績:43,574人(C)   | 引き続き利便性向上等に取り組む     |

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要                 | ③前回(又は類似事業)の<br>事業評価結果の反映状況  | ④事業実施の適切性                      | ⑤目標・効果達成状況   | ⑥事業の今後の改善点<br>(特記事項を含む)   |
|-----------|-----------------------|--|--------------------------------|--|---|
| 西鉄バス佐賀(株) | JR久留米～久留米警察署～<br>西鉄鳥栖 | <p>◆実施できたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・久留米広域連携中枢都市圏で作成した公共交通マップをイベント時や久留米バスセンター窓口等で配布した。</li> <li>・鳥栖市公共交通マップを各所へ配布した。(MaaSについても記載あり)</li> <li>・鳥栖支社窓口等では、路線ごとの時刻表を配布した</li> <li>・令和6年11月25日、鳥栖市役所と協力し、沿線の基里小学校にてバス教室実施。その他以下日程で、鳥栖市内の小学校にてバス教室を実施した。(令和6年12月2日・・・旭小学校 令和6年12月5日・・・若葉小学校 令和6年12月9日・・・麓小学校)</li> <li>・令和7年5月25日(日)、はたらくクルマ(in鳥栖プレミアムアウトレット)において、子供向けのバス乗車体験会を実施した。</li> <li>・西鉄グループにおいて、令和7年9月23日、西鉄創立記念日に際し、全エリアの一般路線バスが300円で乗り放題となるデジタル乗車券を販売した。</li> <li>・西鉄グループにおいて土日祝及び春休み・ゴールデンウィーク・夏休み・冬休みの期間、こども50円バスを実施した。</li> <li>・ホームページ、公式X(旧Twitter)、バスナビアプリにて、各種施策(こども50円バスなど)やイベント告知を適宜実施</li> </ul> | A<br>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された | A<br><p>◆目標</p> <p>【収支率】令和5年度実績69.9%から収支改善1.0%以上を目標とする。</p> <p>【輸送人員】令和5年度実績197,332人以上を維持する。</p> <p>◆実績</p> <p>【収支率】72.42% 令和5年度実績から2.5%改善</p> <p>【輸送人員】189,373人 令和5年度実績から7,959人減少</p>   | <p>◆利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年10月4日の「バスの日イベント」に併せて鳥栖市内バス無料を実施し利用促進を図った。</li> <li>・さがMaaS事業実行委員会の取り組みに参加し、令和7年10月・11月のサガン鳥栖の試合開催に併せて、スマホアプリ「my route」を活用した企画乗車券「西鉄バスで行こう！サガン鳥栖ファミリーきっぷ」を発売した。</li> <li>また、令和7年10月のTOSU NESTIVAL2025開催に併せて、「西鉄バスで行く！TOSU NESTIVAL2025デジタルきっぷ」を発売した。</li> </ul> |
| 西鉄バス佐賀(株) | 鳥栖駅～綾部・国立東佐賀病院前～西鉄久留米 | <p>◆実施できたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・久留米広域連携中枢都市圏で作成した公共交通マップをイベント時や久留米バスセンター窓口等で配布した。</li> <li>・鳥栖市公共交通マップを各所へ配布した。(MaaSについても記載あり)</li> <li>・鳥栖支社窓口等では、路線ごとの時刻表を配布した</li> <li>・令和6年12月9日・・・鳥栖市役所と協力し、沿線の麓小学校にてバス教室を実施した。</li> <li>※その他鳥栖市の学校2校にてバス教室を実施した(11月25日・・・基里小学校/12月2日・・・旭小学校/12月5日・・・若葉小学校)</li> <li>・令和7年5月25日(日)、はたらくクルマ(in鳥栖プレミアムアウトレット)において、子供向けの乗車体験会を実施した。</li> <li>・西鉄グループにおいて土日祝及び春休み・ゴールデンウィーク・夏休み・冬休みの期間、こども50円バスを実施した。</li> <li>・ホームページ、公式X(旧Twitter)、バスナビアプリにて、各種施策(こども50円バスなど)やイベント告知</li> </ul>   | A<br>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された | B<br><p>◆目標</p> <p>【収支率】令和5年度実績43.6%から収支改善1.0%以上を目標とする。</p> <p>【輸送人員】令和5年度実績106,018人以上を維持する。</p> <p>◆実績</p> <p>【収支率】42.18% 令和5年度実績から1.4%悪化</p> <p>【輸送人員】98,623人 令和5年度実績から7,395人減少</p> <p>◆達成できなかった理由</p> <p>人件費・燃油費の高騰に加え、資材や車両メンテナンス料も上昇しているため、運行費用が増加傾向にある。結果として、費用の増加が収入の増加を上回ったため、目標達成ができなかった。</p> | <p>◆利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年10月4日の「バスの日イベント」に併せて鳥栖市内バス無料を実施し利用促進を図った。</li> <li>・さがMaaS事業実行委員会の取り組みに参加し、令和7年10月・11月のサガン鳥栖の試合開催に併せて、スマホアプリ「my route」を活用した企画乗車券「西鉄バスで行こう！サガン鳥栖ファミリーきっぷ」を発売した。</li> <li>また、令和7年10月のTOSU NESTIVAL2025開催に併せて、「西鉄バスで行く！TOSU NESTIVAL2025デジタルきっぷ」を発売した。</li> </ul> |

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要       | ③前回(又は類似事業)の<br>事業評価結果の反映状況  | ④事業実施の適切性                      | ⑤目標・効果達成状況   | ⑥事業の今後の改善点<br>(特記事項を含む)   |
|-----------|-------------|--|--------------------------------|--|---|
| 西鉄バス佐賀(株) | 鳥栖駅～目達原～神埼駅 | <p>◆実施できたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ、公式X(旧Twitter)、バスナビアプリにて、各種施策(こども50円バスなど)やイベント告知を適宜実施。</li> <li>・令和6年12月2日、鳥栖市役所と協力し、沿線の旭小学校にてバス教室実施。その他以下日程で、鳥栖市内の小学校にてバス教室を実施した。(令和6年11月23日…基里小学校 令和6年12月5日…若葉小学校 令和6年12月9日…麓小学校)</li> <li>・令和7年5月25日、はたらくクルマ(in鳥栖プレミアムアウトレット)において、こども向けのバス乗車体験会を実施した。</li> <li>・令和7年9月23日、西鉄創立記念日に際し、全エリアの一般路線バスが300円で乗り放題となるデジタル乗車券を販売した。</li> <li>・イベントにて鳥栖市等で作成した公共交通マップを配布した。</li> <li>・西鉄グループにおいて土日祝及び春休み・ゴールデンウィーク・夏休み・冬休みの期間、こども50円バスを実施した。</li> </ul> | A<br>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された | <p>【収支率】令和5年度実績47.5%から収支改善1.0%以上を目標とする。<br/>【輸送人員】令和5年度実績48,812人以上を維持する。</p> <p>◆実績<br/>【収支率】36.9% 令和5年度実績から10.6%悪化<br/>【輸送人員】41,602人 令和5年度実績から7,210人減少</p> <p>◆達成できなかった理由<br/>パナソニック佐賀工場の閉鎖が主な要因と考えられる。<br/>同工場の従業員は令和4年3月まで当社の特定旅客事業で輸送していたが、同事業の廃止に伴い、令和4年4月以降は本系統への利用が一部振り替わった。<br/>この結果、目標に対して未達となった。</p> | <p>◆利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年10月4日の「バスの日イベント」に併せて鳥栖市内バス無料を実施し利用促進を図った。</li> <li>・さがMaaS事業実行委員会の取り組みに参加し、令和7年10月・11月のサガン鳥栖の試合開催に併せて、スマホアプリ「my route」を活用した企画乗車券「西鉄バスで行こう！サガン鳥栖ファミリーきっぷ」を発売した。</li> <li>また、令和7年10月のTOSU NESTIVAL2025開催に併せて、「西鉄バスで行く！TOSU NESTIVAL2025デジタルきっぷ」を発売した。</li> </ul> |
| 西鉄バス佐賀(株) | 鳥栖駅～目達原     | <p>◆実施できたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ、公式X(旧Twitter)、バスナビアプリにて、各種施策(こども50円バスなど)やイベント告知を適宜実施。</li> <li>・令和6年12月2日、鳥栖市役所と協力し、沿線の旭小学校にてバス教室実施。その他以下日程で、鳥栖市内の小学校にてバス教室を実施した。(令和6年11月23日…基里小学校 令和6年12月5日…若葉小学校 令和6年12月9日…麓小学校)</li> <li>・令和7年5月25日、はたらくクルマ(in鳥栖プレミアムアウトレット)において、こども向けのバス乗車体験会を実施した。</li> <li>・令和7年9月23日、西鉄創立記念日に際し、全エリアの一般路線バスが300円で乗り放題となるデジタル乗車券を販売した。</li> <li>・イベントにて鳥栖市等で作成した公共交通マップを配布した。</li> <li>・西鉄グループにおいて土日祝及び春休み・ゴールデンウィーク・夏休み・冬休みの期間、こども50円バスを</li> </ul>      | A<br>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された | <p>◆目標<br/>【収支率】令和5年度実績61.4%から収支改善1.0%以上を目標とする。<br/>【輸送人員】令和5年度実績69,932人以上を維持する。</p> <p>◆実績<br/>【収支率】49.9% 令和5年度実績から11.5%悪化<br/>【輸送人員】60,357人 令和5年度実績から9,575人減少</p> <p>◆達成できなかった理由<br/>パナソニック佐賀工場の閉鎖が主な要因と考えられる。<br/>同工場の従業員は令和4年3月まで当社の特定旅客事業で輸送していたが、同事業の廃止に伴い、令和4年4月以降は本系統への利用が一部振り替わった。</p>                | <p>◆利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年10月4日の「バスの日イベント」に併せて鳥栖市内バス無料を実施し利用促進を図った。</li> <li>・さがMaaS事業実行委員会の取り組みに参加し、令和7年10月・11月のサガン鳥栖の試合開催に併せて、スマホアプリ「my route」を活用した企画乗車券「西鉄バスで行こう！サガン鳥栖ファミリーきっぷ」を発売した。</li> <li>また、令和7年10月のTOSU NESTIVAL2025開催に併せて、「西鉄バスで行く！TOSU NESTIVAL2025デジタルきっぷ」を発売した。</li> </ul> |

| ①補助対象事業者等                | ②事業概要                  | ③前回(又は類似事業)の<br>事業評価結果の反映状況   | ④事業実施の適切性                      | ⑤目標・効果達成状況  | ⑥事業の今後の改善点<br>(特記事項を含む)  |
|--------------------------|------------------------|---|--------------------------------|---|--|
| 西鉄バス佐賀(株)                | 佐賀第二合同庁舎～江見～西鉄久留米      | <p>◆実施できたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・久留米広域連携中枢都市圏で作成した公共交通マップをイベント時や久留米バスセンター窓口等で配布した。</li> <li>・令和7年8月25日、あすなろクラブ(佐賀市内の放課後児童クラブ)を対象としてバス教室を実施した。</li> <li>・令和7年9月23日、西鉄創立記念日に際し、全エリアの一般路線バスが300円で乗り放題となるデジタル乗車券を販売した。</li> <li>・令和6年11月16日、17日の2日間、「佐賀さいこうフェス」のイベントに合わせて佐賀市内で降車された方を対象に運賃が無料となる無料DAYを実施した。</li> <li>・西鉄グループにおいて土日祝及び春休み・ゴールデンウィーク・夏休み・冬休みの期間、こども50円バスを実施した。</li> <li>・ホームページ、公式X(旧Twitter)、バスナビアプリにて、各種施策(こども50円バスなど)やイベント告知を適宜実施した。</li> </ul> | A<br>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された | <p>◆目標<br/>【収支率】令和5年実績収支率58.7%から収支改善1.0%以上を目標とする。<br/>【輸送人員】令和5年実績187,134人以上を維持する。</p> <p>◆実績<br/>【収支率】58.92% 令和5年度実績から0.2%改善<br/>【輸送人員】89,603人 令和5年度実績から97,531人減少</p>    | <p>◆利用促進<br/>・令和7年10月18日と19日の「佐賀さいこうフェス」開催に併せて佐賀市内バス無料DAYを実施し利用促進を図った。</p> <p>◆その他<br/>・令和6補助年度と運行回数を比較すると、運転士不足に伴う減便により便数が半減となっている。<br/>・運行区間の久留米市内中心部は他路線との競合区間もあるため、利用状況を注視していきたい。</p>  |
| 西鉄バス佐賀(株)・西鉄バス久留米(株)共同運行 | 佐賀第二合同庁舎～目達原・長門石～西鉄久留米 | <p>◆実施できたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントにて公共交通マップを配布した。</li> <li>・令和7年8月25日、あすなろクラブ(佐賀市内の放課後児童団体)と協力し、小学生向けのバス教室を実施した。令和6年12月4日、久留米市役所と協力し、京町支社にて、荘島小学校生徒を対象としたバス教室を実施した。</li> <li>・令和6年11月16日、17日の2日間、「佐賀さいこうフェス」のイベントに合わせて佐賀市内で降車された方を対象に運賃が無料となる無料DAYを実施した。</li> <li>・西鉄グループにおいて、土日祝および春休み・ゴールデンウィーク・夏休み・冬休みの期間、こども50円バスを実施した。</li> <li>・ホームページにて、各種施策(こども50円バスなど)やイベント告知を適宜実施した。加えて、公式X(旧Twitter)、バスナビアプリを活用しイベント等のPRを実施した。</li> </ul>                      | A<br>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された | <p>◆目標<br/>【収支率】令和5年度実績収支率66.5%から収支改善1.0%以上を目標とする。<br/>【輸送人員】令和5年度実績245,153人以上を維持する。</p> <p>◆実績<br/>【収支率】72.77% 令和5年度実績から6.3%改善<br/>【輸送人員】196,517人 令和5年度実績から48,636人減少</p> | <p>◆利用促進<br/>・令和7年10月18日と19日の「佐賀さいこうフェス」開催に併せて佐賀市内バス無料DAYを実施し利用促進を図った。<br/>・令和7年7月に定時性向上を目的に所要時間の見直しを実施しており、今後も必要に応じて実施し利便性向上に努めていく。</p> <p>◆その他<br/>・令和6補助年度と運行回数を比較すると、運転士不足に伴う減便により便数が9割となっている。<br/>・運行区間の久留米市内中心部は他路線との競合区間もあるため、今後も利用状況を注視していきたい。</p> |
| 西鉄バス佐賀(株)・西鉄バス久留米(株)共同運行 | 目達原～長門石～西鉄久留米          | <p>◆実施できたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントにて公共交通マップを配布した。</li> <li>・令和7年8月25日、あすなろクラブ(佐賀市内の放課後児童団体)と協力し、小学生向けのバス教室を実施した。令和6年12月4日、久留米市役所と協力し、京町支社にて、荘島小学校生徒を対象としたバス教室を実施した。</li> <li>・令和6年11月16日、17日の2日間、「佐賀さいこうフェス」のイベントに合わせて佐賀市内で降車された方を対象に運賃が無料となる無料DAYを実施した。</li> <li>・西鉄グループにおいて、土日祝および春休み・ゴールデンウィーク・夏休み・冬休みの期間、こども50円バスを実施した。</li> <li>・ホームページにて、各種施策(こども50円バスなど)やイベント告知を適宜実施した。加えて、公式X(旧Twitter)、バスナビアプリを活用しイベント等のPRを実施した。</li> </ul>                      | A<br>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された | <p>◆目標<br/>本系統は令和6年10月1日より当補助金対象となったため、本年度の目標設定はない。</p> <p>◆実績<br/>【収支率】96.41%<br/>【輸送人員】185,688人</p>   | <p>◆利用促進<br/>・令和7年7月に定時性向上を目的に所要時間の見直しを実施しており、今後も必要に応じて実施し利便性向上に努めていく。</p> <p>◆その他<br/>・令和6補助年度と運行回数を比較すると、運転士不足に伴う減便により便数が9割となっている。<br/>・運行区間の久留米市内中心部は他路線との競合区間もあるため、今後も利用状況を注視していきたい。</p>   |

| ①補助対象事業者等               | ②事業概要                   | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況   | ④事業実施の適切性                       | ⑤目標・効果達成状況   | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)                                       |
|-------------------------|-------------------------|---|---------------------------------|--|---|
| 西肥自動車(株)<br>福島支所前～伊万里駅前 | 福島支所前～相生橋～伊万里駅前間の運行。    | 関係市町と連携し、地区別時刻表作成・配布、Googleマップへの情報掲載の他、バスナビアプリでの運行情報の配信及び定期券運賃検索などの機能拡充、同アプリのバス利用者への更なる周知を行い、輸送人員及び経常収益の増加を図った。 | A<br>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | B<br>【輸送人員】<br>(目標値)30,229人(R5年度維持)<br>(R7実績値)27,212人(達成率:90.0%)<br>【運送収入】<br>(目標値)11,565,039円(R5年度維持)<br>(R7実績値)13,551,322円(達成率:117.2%)<br>【収支率】<br>(目標値)26.3%(R5年度の実績25.3%+1%)<br>(R7実績値)25.7%(達成率:97.7%)<br><br>運送収入は目標を達成。<br>輸送人員は運行回数の見直しや沿線人口の減少による影響で減少、収支率も目標を達成できなかった。 | 運転士の安定的な充足に努めつつ、「西肥バスナビ」アプリを活用しながら、関係市町と連携し持続可能な運行を図っていく。 |
| 西肥自動車(株)<br>佐世保～伊万里     | 佐世保駅前～三川内～伊万里駅前間の運行。    | 関係市町と連携し、地区別時刻表作成・配布、Googleマップへの情報掲載の他、バスナビアプリでの運行情報の配信及び定期券運賃検索などの機能拡充、同アプリのバス利用者への更なる周知を行い、輸送人員及び経常収益の増加を図った。 | A<br>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | B<br>【輸送人員】<br>(目標値)83,148人(R5年度維持)<br>(R7実績値)91,316人(達成率:109.8%)<br>【運送収入】<br>(目標値)21,102,666円(R5年度維持)<br>(R7実績値)27,127,373円(達成率:128.5%)<br>【収支率】<br>(目標値)48.7%(R5年度の実績47.7%+1%)<br>(R7実績値)50.2%(達成率:103.1%)<br><br>全項目で目標を達成。  | 運転士の安定的な充足に努めつつ、「西肥バスナビ」アプリを活用しながら、関係市町と連携し持続可能な運行を図っていく。 |
| 西肥自動車(株)<br>佐世保～嬉野      | 佐世保駅前～三川内～嬉野バスセンター間の運行。 | 関係市町と連携し、地区別時刻表作成・配布、Googleマップへの情報掲載の他、バスナビアプリでの運行情報の配信及び定期券運賃検索などの機能拡充、同アプリのバス利用者への更なる周知を行い、輸送人員及び経常収益の増加を図った。 | A<br>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | B<br>【輸送人員】<br>(目標値)65,050人(R5年度維持)<br>(R7実績値)89,903人(達成率:138.2%)<br>【運送収入】<br>(目標値)21,260,796円(R5年度維持)<br>(R7実績値)32,667,836円(達成率:153.7%)<br>【収支率】<br>(目標値)63.6%(R5年度の実績62.6%+1%)<br>(R7実績値)69.3%(達成率:110.0%)<br><br>全項目で目標を達成。  | 運転士の安定的な充足に努めつつ、「西肥バスナビ」アプリを活用しながら、関係市町と連携し持続可能な運行を図っていく。 |

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要   | ③前回(又は類似事業)の<br>事業評価結果の反映状況  | ④事業実施の適切性                      | ⑤目標・効果達成状況   | ⑥事業の今後の改善点<br>(特記事項を含む)  |
|-----------|---|--|--------------------------------|--|--|
| JR九州バス(株) | 嬉野温泉バスセンター～<br>嬉野温泉駅・武雄温泉駅～新<br>武雄病院<br><br>R6年<br>車両購入1台/年 | <p>【前回の事業評価結果】<br/>西九州新幹線開通により嬉野温泉駅～武雄温泉駅間の利用が著しく減少し、1人当たりの支払額が下がったため、収支率の改善が達成できていない系統があった。<br/>一方で輸送人員は回復傾向にあるため、引き続き利用促進のための広報や、利用実態に合った運行回数や系統構成の見直しを行い、乗車密度を高めていく必要がある。</p> <p>【反映状況(反映したものには★)】<br/>■生産性向上及び収支率改善に資する取組<br/>(1)イベントへ参加し、新規利用の取込みを図る【継続】★<br/>(2)ICカードを導入し、お客様の利便性向上を高め、利用促進に努める。★<br/>(3)観光客及びインパウンド向けにわかりやすいパスの行先表示を付与し、利便性の向上を図る★<br/>(4)観光客及びインパウンド向けに主な観光地のあるバス停にアルファベットを付与し、不安を解消する【継続】★<br/>(5)休日やイベント開催日に併せて、「こども運賃無料の日」を実施し、新規利用の取込みを図る<br/>(6)MaaS事業として、令和4年1月から発売を開始したデジタルチケット「かぶきフリーきつぷ」が普及するよう自治体と協力し、利用促進に努める<br/>(7)時刻表や沿線施設を掲載した利用促進チラシを自治体と連携し、車内や沿線施設及び沿線住民へ配布する★</p> | A<br>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された | B<br>本系統の沿線市町は従来から続く人口減少やモータリゼーション進行、近年の新型コロナ感染拡大による行動変容等の影響もあり、さらには燃料費の高騰等で輸送コストの上昇により、収支率を悪化させる原因となっている。R7年度は、輸送人員は目標を達成したが、従業員の給与ベースアップを実施(乗務員確保等の理由のため)し、費用が増加したため、収支率については計画に位置付けられた目標を達成できなかった。<br><br>【収支率】<br>(R7)目標:37.9% 実績:30.6%(C)<br>【輸送人員】<br>(R7)目標:57,800人 実績:73,777人(A) | 輸送人員は増加傾向にあるので、利用促進の広報活動を今後も継続していく。また、地元利用客はもとより観光客の移動手段としての交通網として、新幹線との接続等事業者と沿線自治体が一体となって検討していく。<br><br>また、利用区間別の実態を精査した上で、運行回数や系統構成の見直しを検討し、効率的な輸送体系の構築と収支率の改善を目指す。 |
| JR九州バス(株) | 彼杵駅～嬉野温泉駅・武雄温泉駅～たけお競輪場<br><br>R6年<br>車両購入1台/年               | <p>(2)ICカードを導入し、お客様の利便性向上を高め、利用促進に努める。★<br/>(3)観光客及びインパウンド向けにわかりやすいパスの行先表示を付与し、利便性の向上を図る★<br/>(4)観光客及びインパウンド向けに主な観光地のあるバス停にアルファベットを付与し、不安を解消する【継続】★<br/>(5)休日やイベント開催日に併せて、「こども運賃無料の日」を実施し、新規利用の取込みを図る<br/>(6)MaaS事業として、令和4年1月から発売を開始したデジタルチケット「かぶきフリーきつぷ」が普及するよう自治体と協力し、利用促進に努める<br/>(7)時刻表や沿線施設を掲載した利用促進チラシを自治体と連携し、車内や沿線施設及び沿線住民へ配布する★</p>   | A<br>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された | B<br>本系統の沿線市町は従来から続く人口減少やモータリゼーション進行、近年の新型コロナ感染拡大による行動変容等の影響もあり、さらには燃料費の高騰等で輸送コストの上昇により、収支率を悪化させる原因となっている。R7年度は、輸送人員は目標を達成したが、従業員の給与ベースアップを実施(乗務員確保等の理由のため)し、費用が増加したため、収支率については計画に位置付けられた目標を達成できなかった。<br><br>【収支率】<br>(R7)目標:30.6% 実績:21.7%(C)<br>【輸送人員】<br>(R7)目標:35,981人 実績:40,486人(A) | 輸送人員は増加傾向にあるので、利用促進の広報活動を今後も継続していく。また、地元利用客はもとより観光客の移動手段としての交通網として、新幹線との接続等事業者と沿線自治体が一体となって検討していく。<br><br>また、利用区間別の実態を精査した上で、運行回数や系統構成の見直しを検討し、効率的な輸送体系の構築と収支率の改善を目指す。 |

| ①補助対象事業者等             | ②事業概要        | ③前回(又は類似事業)の<br>事業評価結果の反映状況   | ④事業実施の適切性                      | ⑤目標・効果達成状況  | ⑥事業の今後の改善点<br>(特記事項を含む)       |
|-----------------------|--------------|---|--------------------------------|---|-------------------------------|
| (有)ジョイックス交通<br>三瀬・横武線 | 三瀬支所～神埼駅前～横武 | <p>【前回の事業評価結果】<br/>九年庵等の開催で一定の輸送人員はあるものの、収支率の改善が必要な路線。路線の最適化を図る必要もあるが、人件費・燃油高騰等に加え車両点検及び修理費の高騰の影響により、さらに悪化する恐れがある。<br/>利用者増を図るため、バスの認知が向上する取組を実施する。</p> <p>【反映状況(反映したものには★)】<br/>■生産性向上及び収支率改善に資する取組<br/>(1)九年庵等のイベントなどにて、沿線市町と協力してPRを行う。(★)<br/>(2)神崎市公共交通マップの配布を行い、住民への周知を行う。(★)<br/>(3)自治会長会を通じてチラシを全戸配布し、住民への周知を行う。<br/>(4)公共交通利用に関する地域住民説明会を開催し、住民への周知を行う。</p> | A<br>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された | B<br>利用促進事業や収支率改善を図る事業に取り組んだ結果、輸送人員は目標を達成できたが、収支率は目標を達成できなかった。<br>【収支率】<br>(R7)目標:15.2% 実績:10.6%(B)<br>【輸送人員】<br>(R7)目標:17,727人 実績:18,559人(A) | 運行の効率化を図るとともに、引き続き利用促進の広報に努める |

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年2月27日

九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通確保維持改善事業(地域間幹線系統)

| 協議会名                    | ①補助対象事業者等   | ②事業概要                          | 協議会における事業評価結果               |                                 |  |                | 地方運輸局等における<br>二次評価結果   | 備考   |
|-------------------------|---|--------------------------------|-----------------------------|---------------------------------|--|----------------|--|--|
|                         |   |                                | ③前回(又は類似事業)の事業<br>評価結果の反映状況 | ④事業<br>実施の<br>適切性               | ⑤目標・効果<br>達成状況   | ⑥事業の今<br>後の改善点 | 評価結果   |  |
| 長崎県地域<br>公共交通活<br>性化協議会 | 長崎県交通局<br>長崎自動車(株)<br>西肥自動車(株)<br>島原鉄道(株)<br>さいかい交通(株)<br>五島自動車(株)<br>壱岐交通(株)<br>対馬交通(株)<br>生月自動車(有)<br>JR九州バス(株) | 37系統<br>※詳細は別添<br>一次評価のと<br>おり | 別添一次評価の<br>とおり              | A評価：18系統<br>B評価：16系統<br>C評価：3系統 | A評価：19系統<br>B評価：18系統<br>C評価：0系統<br><br>【参考：前年度】<br>A評価：23系統<br>B評価：16系統<br>C評価：1系統 | 別添一次評価<br>のとおり | <p>コロナは明けたものの、運転士や整備士をはじめとする人員不足や、燃料費・車両価格の高騰等、バスを取り巻く厳しい状況下で、バスを利用するきっかけづくりのため運転者体験会や、スポーツや各種イベントとのタイアップ、企画乗車券の造成等、利用促進に向け様々な取組をされていることを評価します。今後もバス事業者、関係自治体等連携して取組みを続けられることを期待します。</p> <p>また、導入したバスロケやHP.、SNS等を活用して利用者利便の向上やDX・GX化を図ったり、高齢者が地域では買い物や通院ニーズに合わせてルートやダイヤを見直したり、外国人の利用がある系統では多言語化の取組を行う等、地域の実情や特性に応じ、取組み内容を工夫されている点も評価します。</p> <p>目標の達成状況に関しては、前年度に比べると若干A評価の系統が減ったものの、全体の半数以上の系統は目標を達成しており、上記のような取組みを行う中で得た結果を検証することで、より効果的な改善につながることを期待されます。</p> <p>今後は、目標を達成できなかった原因だけでなく、目標を達成した系統については、達成できた原因の分析を行い、目標を達成できなかった系統に活かせる部分は活かし、また、系統毎の目標達成状況に応じて、次の目標や評価指標をを検討、最適化していくことも必要と思料します。</p> | <p>評価指標</p> <p>【乗車密度】</p> <p>【輸送人員】</p> <p>【運送収入】</p> <p>【収支率】</p> |

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月15日

協働会名:長崎県地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要                                     | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況  | ④事業実施の適切性                    | ⑤目標・効果達成状況  | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)   |
|-----------|---|--|------------------------------|---|---|
| 長崎県交通局    | 1. 長崎～雲仙線の運行                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・バスロケーションシステム「県営バスナビ」により、リアルタイムの運行情報を提供した。</li> <li>・ホームページにGTFSデータを公開し、ナビタイム等の総合ナビゲーションサービス提供者を通じて、幅広く運行ダイヤ等の情報提供を行った。</li> <li>・高齢者等を対象としたフリーバスを引き続き販売した。</li> <li>・令和7年4月から、沿線地区の要望にあわせて停車バス停を追加した。</li> <li>・令和7年9月から、往復割引を設定したデジタルチケットの運用を開始した。</li> </ul> | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | <p>【乗車密度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値:5.6人(R5年度実績) → ・実績値:7.0人</li> </ul> <p>【輸送人員】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値:32,095人 (R5年度実績:31,399人×102.2%)</li> <li>・実績値:36,728人 (達成率:114.4%)</li> </ul> <p>【運送収入】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値:24,894,443円 (R5年度実績:24,354,443円×102.2%)</li> <li>・実績値:30,675,156円 (達成率:123.2%)</li> </ul> <p>【収支率】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値:52.2% (R5年度実績:51.2%+1%)</li> <li>・実績値:57.3% (達成率:109.7%)</li> </ul> <p>令和7年4月から、沿線地区の要望にあわせて停車バス停を追加し、9月からは往復割引を設定したデジタルチケットの運用を開始した。インバウンドを含む観光需要の回復も奏功し目標を達成できた。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も沿線地区へのPRと、地元自治体や住民からの運行に関する情報収集に取り組み、運行ダイヤに反映させるよう進めていく。</li> <li>・バスロケーションシステムや、ホームページ、SNS上での運行ダイヤや乗り継ぎダイヤの情報提供、運行状況の発信など、お客様の利便性向上策を進める。</li> <li>・引き続き、高齢者等を対象とする各種フリーバスの展開を行う。</li> <li>・乗客のなかには県外からの方や外国人観光客も多いので、のりばでの案内やSNSでの展開など、分かりやすいバス運行情報の発信に努める。</li> <li>・湯治の有名地としての小浜、雲仙の観光PRを念頭とした関係各所とのコラボキャンペーンを実施する。</li> </ul> |
|           | 2. 江の浦～長崎線の運行(矢上団地、大波止経由)                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・バスロケーションシステム「県営バスナビ」により、リアルタイムの運行情報を提供した。</li> <li>・ホームページにGTFSデータを公開し、ナビタイム等の総合ナビゲーションサービス提供者を通じて、幅広く運行ダイヤ等の情報提供を行った。</li> <li>・高齢者等を対象としたフリーバスを引き続き販売した。</li> <li>・九州maasのプラットホームのマイルートによる共創の取り組みとして、複数事業者が連携したフリーバスを販売した。</li> </ul>                        | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | <p>【乗車密度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値:7.7人(R5年度実績) → ・実績値:8.5人</li> </ul> <p>【輸送人員】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値:305,346人 (R5年度実績:300,621人×101.6%)</li> <li>・実績値:324,922人 (達成率:106.4%)</li> </ul> <p>【運送収入】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値:61,393,187円 (R5年度実績:60,443,187円×101.6%)</li> <li>・実績値:66,566,084円 (達成率:108.4%)</li> </ul> <p>【収支率】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値:69.8% (R5年度実績:68.8%+1%)</li> <li>・実績値:69.1% (達成率:98.9%)</li> </ul> <p>乗車密度・輸送人員・収入の目標は達成したが、運転士等の給与改善やコロナ禍で見送っていた車両購入の再開等に伴う費用の増加が影響して、収支率については目標達成には至らなかった。</p>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も沿線地区へのPRと、地元自治体や住民からの運行に関する情報収集に取り組み、運行ダイヤに反映させるよう進めていく。</li> <li>・バスロケーションシステムや、ホームページ、SNS上での運行ダイヤや乗り継ぎダイヤの情報提供、運行状況の発信など、お客様の利便性向上策を進める。</li> <li>・人口が比較的多い長崎市内中心部と東長崎地区を結ぶ路線であり、高齢者や小学生も多いので、引き続き各種フリーバスの展開を進めていく。</li> <li>・引き続き、九州maasのプラットホームのマイルートによる共創の取り組みを進めていく。</li> </ul>  |
|           | 3. 江の浦～長崎線の運行(飯塚団地、矢上団地、大波止経由)            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・バスロケーションシステム「県営バスナビ」により、リアルタイムの運行情報を提供した。</li> <li>・ホームページにGTFSデータを公開し、ナビタイム等の総合ナビゲーションサービス提供者を通じて、幅広く運行ダイヤ等の情報提供を行った。</li> <li>・高齢者等を対象としたフリーバスを引き続き販売した。</li> <li>・九州maasのプラットホームのマイルートによる共創の取り組みとして、複数事業者が連携したフリーバスを販売した。</li> </ul>                        | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | <p>【乗車密度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値:8.2人(R5年度実績) → ・実績値:8.3人</li> </ul> <p>【輸送人員】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値:105,512人 (R5年度実績:103,927人×101.5%)</li> <li>・実績値:108,097人 (達成率:102.4%)</li> </ul> <p>【運送収入】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値:22,630,543円 (R5年度実績:22,290,543円×101.5%)</li> <li>・実績値:23,855,845円 (達成率:105.4%)</li> </ul> <p>【収支率】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値:72.6% (R5年度実績:71.6%+1%)</li> <li>・実績値:66.2% (達成率:91.2%)</li> </ul> <p>乗車密度・輸送人員・収入の目標は達成したが、運転士等の給与改善やコロナ禍で見送っていた車両購入の再開等に伴う費用の増加が影響して、収支率については目標達成には至らなかった。</p>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も沿線地区へのPRと、地元自治体や住民からの運行に関する情報収集に取り組み、運行ダイヤに反映させるよう進めていく。</li> <li>・バスロケーションシステムや、ホームページ、SNS上での運行ダイヤや乗り継ぎダイヤの情報提供、運行状況の発信など、お客様の利便性向上策を進める。</li> <li>・人口が比較的多い長崎市内中心部と東長崎地区を結ぶ路線であり、高齢者や小学生も多いので、引き続き各種フリーバスの展開を進めていく。</li> <li>・引き続き、九州maasのプラットホームのマイルートによる共創の取り組みを進めていく。</li> </ul>  |
|           | 4. 諫早～小長井線の運行<br>【車両補助対象】<br>・R07.03 購入2台 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・バスロケーションシステム「県営バスナビ」により、リアルタイムの運行情報を提供した。</li> <li>・ホームページにGTFSデータを公開し、ナビタイム等の総合ナビゲーションサービス提供者を通じて、幅広く運行ダイヤ等の情報提供を行った。</li> <li>・高齢者等を対象としたフリーバスを引き続き販売した。</li> <li>・地域公共交通計画に基づき、持続的な公共交通網の構築に向けて、地元市と連携しながら、路線とダイヤの再編等に取り組んだ。</li> </ul>                     | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | <p>【乗車密度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値:2.8人(R5年度実績) → ・実績値:4.1人</li> </ul> <p>【輸送人員】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値:115,104人 (R5年度実績:110,684人×104.0%)</li> <li>・実績値:160,979人 (達成率:139.9%)</li> </ul> <p>【運送収入】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値:21,872,729円 (R5年度実績:21,032,729円×104.0%)</li> <li>・実績値:30,843,462円 (達成率:141.0%)</li> </ul> <p>【収支率】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値:31.6% (R5年度実績:30.6%+1%)</li> <li>・実績値:38.7% (達成率:122.3%)</li> </ul> <p>令和7年4月より、申請番号5「諫早～みさかえの園線」と併せたところで、利用状況に合わせた運行効率化のための運行形態の見直しを図ったこともあり、目標を達成できた。</p>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も沿線地区へのPRと、地元自治体や住民からの運行に関する情報収集に取り組み、運行ダイヤに反映させるよう進めていく。</li> <li>・バスロケーションシステムや、ホームページ、SNS上での運行ダイヤや乗り継ぎダイヤの情報提供、運行状況の発信など、お客様の利便性向上策を進める。</li> <li>・引き続き、高齢者等を対象とする各種フリーバスの展開を行う。</li> <li>・なお、関係市の地域公共交通計画に基づき、令和7年4月に運行系統の見直しによる運行効率化を実施したところであるが、引き続き、地元市と連携しながら、路線とダイヤの再編等に取り組む。</li> </ul>                                   |

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月15日

協働会名:長崎県地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要  | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況  | ④事業実施の適切性                    | ⑤目標・効果達成状況   | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)   |
|-----------|--|--|------------------------------|--|---|
| 長崎県交通局    | 5. 諫早～みさかえの圏線の運行                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・バスロケーションシステム「県営バスナビ」により、リアルタイムの運行情報を提供した。</li> <li>・ホームページにGTFSデータを公開し、ナビタイム等の総合ナビゲーションサービス提供者を通じて、幅広く運行ダイヤ等の情報提供を行った。</li> <li>・高齢者等を対象としたフリーバスを引き続き販売した。</li> <li>・地域公共交通計画に基づき、持続的な公共交通網の構築に向けて、地元市と連携しながら、路線とダイヤの再編等に取り組んだ。</li> </ul> | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | <p>【乗車密度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値:2.8人(R5年度実績) → ・実績値:3.0人</li> </ul> <p>【輸送人員】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値:50,205人 (R5年度実績:48,270人×104.0%)</li> <li>・実績値:32,302人 (達成率:64.3%)</li> </ul> <p>【運送収入】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値:11,414,286円 (R5年度実績:10,974,286円×104.0%)</li> <li>・実績値:7,077,091円 (達成率:62.0%)</li> </ul> <p>【収支率】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値:31.5% (R5年度実績:30.5%+1%)</li> <li>・実績値:29.3% (達成率:93.1%)</li> </ul> <p>令和7年4月より、申請番号4「諫早～小長井線」と併せたところで、利用状況に合わせた運行効率化のための運行形態の見直しを図ったことにより、当該路線については朝夕の通勤通学便を除いて、区間を申請番号4「諫早～小長井」と同区間に短縮のうえ、運行便数の見直しを行った結果、期間中の輸送規模が縮小したため、乗車密度を除き、目標達成には至らなかったが、運行の効率化を図ることができた。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も沿線地区へのPRと、地元自治体や住民からの運行に関する情報収集に取り組み、運行ダイヤに反映させるよう進めていく。</li> <li>・バスロケーションシステムや、ホームページ、SNS上での運行ダイヤや乗り継ぎダイヤの情報提供、運行状況の発信など、お客様の利便性向上策を進める。</li> <li>・引き続き、高齢者等を対象とする各種フリーバスの展開を行う。</li> <li>・なお、関係市の地域公共交通計画に基づき、令和7年4月に運行系統の見直しによる運行効率化を実施したところであるが、引き続き、地元市と連携しながら、路線とダイヤの再編等に取り組む。</li> </ul> |
|           | 6. 東厚生町～飯盛団地線の運行<br><br>【車両補助対象】<br>・R06.03 購入3台 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・バスロケーションシステム「県営バスナビ」により、リアルタイムの運行情報を提供した。</li> <li>・ホームページにGTFSデータを公開し、ナビタイム等の総合ナビゲーションサービス提供者を通じて、幅広く運行ダイヤ等の情報提供を行った。</li> <li>・高齢者等を対象としたフリーバスを引き続き販売した。</li> <li>・地元市と連携し、世帯数が増加傾向にある地域へのバス乗り入れについての協議を進めた。</li> </ul>                  | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | <p>【乗車密度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値:4.2人(R5年度実績) → ・実績値:4.1人</li> </ul> <p>【輸送人員】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値:202,828人 (R5年度実績:198,062人×102.4%)</li> <li>・実績値:196,285人 (達成率:96.8%)</li> </ul> <p>【運送収入】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値:35,324,027円 (R5年度実績:34,494,027円×102.4%)</li> <li>・実績値:34,234,226円 (達成率:96.9%)</li> </ul> <p>【収支率】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値:48.4% (R5年度実績:47.4%+1%)</li> <li>・実績値:43.2% (達成率:89.3%)</li> </ul> <p>乗車密度・輸送人員・収入については、対前年ではほぼ前年並み(対前年99%)であったが、運転士等の給与改善やコロナ禍で見送っていた車両購入の再開等に伴う費用の増加が影響して、収支率については前年度よりも減少しており、目標達成には至らなかった。</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も沿線地区へのPRと、地元自治体や住民からの運行に関する情報収集に取り組み、運行ダイヤに反映させるよう進めていく。</li> <li>・バスロケーションシステムや、ホームページ、SNS上での運行ダイヤや乗り継ぎダイヤの情報提供、運行状況の発信など、お客様の利便性向上策を進める。</li> <li>・引き続き、高齢者等を対象とする各種フリーバスの展開を行う。</li> <li>・なお、路線内において世帯数が増加傾向にある地域へのバスの乗り入れについて、関係市や地元と協議を継続し、新規乗り入れに向けて調整を行っている。</li> </ul>                   |
|           | 7. 今村～早見線の運行                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・バスロケーションシステム「県営バスナビ」により、リアルタイムの運行情報を提供した。</li> <li>・ホームページにGTFSデータを公開し、ナビタイム等の総合ナビゲーションサービス提供者を通じて、幅広く運行ダイヤ等の情報提供を行った。</li> <li>・高齢者等を対象としたフリーバスを引き続き販売した。</li> </ul>  | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | <p>【乗車密度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値:2.4人(R5年度実績) → ・実績値:2.8人</li> </ul> <p>【輸送人員】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値:116,855人 (R5年度実績:111,544人×104.8%)</li> <li>・実績値:128,140人 (達成率:109.7%)</li> </ul> <p>【運送収入】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値:17,820,707円 (R5年度実績:17,010,707円×104.8%)</li> <li>・実績値:19,674,540円 (達成率:110.4%)</li> </ul> <p>【収支率】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値:27.9% (R5年度実績:26.9%+1%)</li> <li>・実績値:28.2% (達成率:101.1%)</li> </ul> <p>コロナ禍以降の乗客数の回復や生産性向上に向けた各取り組みも奏功し、目標を達成できた。</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も沿線地区へのPRと、地元自治体や住民からの運行に関する情報収集に取り組み、運行ダイヤに反映させるよう進めていく。</li> <li>・バスロケーションシステムや、ホームページ、SNS上での運行ダイヤや乗り継ぎダイヤの情報提供、運行状況の発信など、お客様の利便性向上策を進める。</li> <li>・引き続き、高齢者等を対象とする各種フリーバスの展開を行う。</li> <li>・引き続き、地域公共交通計画に基づき、持続的な公共交通網の構築に向けて、地元市と連携しながら、路線とダイヤの再編等に取り組む。</li> </ul>                           |
|           | 8. 諫早～長崎空港線の運行(消防学校前、サンスバ おおむら経由)                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・バスロケーションシステム「県営バスナビ」により、リアルタイムの運行情報を提供した。</li> <li>・ホームページにGTFSデータを公開し、ナビタイム等の総合ナビゲーションサービス提供者を通じて、幅広く運行ダイヤ等の情報提供を行った。</li> <li>・高齢者等を対象としたフリーバスを引き続き販売した。</li> </ul>  | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | <p>【乗車密度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値:5.9人(R5年度実績) → ・実績値:6.6人</li> </ul> <p>【輸送人員】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値:128,481人 (R5年度実績:126,315人×101.7%)</li> <li>・実績値:142,441人 (達成率:110.9%)</li> </ul> <p>【運送収入】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値:27,875,721円 (R5年度実績:27,405,721円×101.7%)</li> <li>・実績値:30,771,368円 (達成率:110.4%)</li> </ul> <p>【収支率】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値:64.4% (R5年度実績:63.4%+1%)</li> <li>・実績値:63.9% (達成率:99.2%)</li> </ul> <p>空港利用者が増加傾向にあるなか、乗客数の回復もあり、乗車密度・輸送人員・収入の目標は達成したが、運転士等の給与改善やコロナ禍で見送っていた車両購入の再開等に伴う費用の増加が影響して、収支率については目標達成には至らなかった。</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も沿線地区へのPRと、地元自治体や住民からの運行に関する情報収集に取り組み、運行ダイヤに反映させるよう進めていく。</li> <li>・バスロケーションシステムや、ホームページ、SNS上での運行ダイヤや乗り継ぎダイヤの情報提供、運行状況の発信など、お客様の利便性向上策を進める。</li> <li>・引き続き、高齢者等を対象とする各種フリーバスの展開を行う。</li> <li>・乗客のなかには県外からの方や外国人観光客も多いので、のりばでの案内やSNSでの展開など、分かりやすいバス運行情報の発信に努める。</li> </ul>                         |

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月15日

協議会名:長崎県地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要   | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況  | ④事業実施の適切性                    | ⑤目標・効果達成状況   | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)   |
|-----------|---|--|------------------------------|--|---|
| 長崎県交通局    | 9. 諫早～長崎空港線の運行(長崎医療センター、サンスバおおむら経由)           | <ul style="list-style-type: none"> <li>バスロケーションシステム「県営バスナビ」により、リアルタイムの運行情報を提供した。</li> <li>ホームページにGTFSデータを公開し、ナビタイム等の総合ナビゲーションサービス提供者を通じて、幅広く運行ダイヤ等の情報提供を行った。</li> <li>高齢者等を対象としたフリーバスを引き続き販売した。</li> </ul> | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | <p>【乗車密度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値:5.0人(R5年度実績) → 実績値:5.8人</li> </ul> <p>【輸送人員】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値:165,431人 (R5年度実績:161,998人×102.1%)</li> <li>・実績値:181,735人 (達成率:109.9%)</li> </ul> <p>【輸送収入】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値:34,211,329円 (R5年度実績:33,501,329円×102.1%)</li> <li>・実績値:39,253,979円 (達成率:114.7%)</li> </ul> <p>【収支率】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値:53.8% (R5年度実績:52.8%+1%)</li> <li>・実績値:55.4% (達成率:103.0%)</li> </ul> <p>空港利用者が増加傾向にあるなか、乗客数の回復もあり、目標を達成できた。</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も沿線地区へのPRと、地元自治体や住民からの運行に関する情報収集に取り組み、運行ダイヤに反映させるよう進めていく。</li> <li>・バスロケーションシステムや、ホームページ、SNS上での運行ダイヤや乗り継ぎダイヤの情報提供、運行状況の発信など、お客様の利便性向上策を進める。</li> <li>・引き続き、高齢者等を対象とする各種フリーバスの展開を行う。</li> <li>・乗客のなかには県外からの方や外国人観光客も多いので、のりばでの案内やSNSでの展開など、分かりやすいバス運行情報の発信に努める。</li> </ul> |
| 長崎自動車株式会社 | 1. 時津北部ターミナル～大串線の運行<br>【車両購入】<br>・R7.9 小型1台購入 | 観光客にも分かりやすい移動環境を整えるため、行先案内バスマップを作成・配布するとともに、令和6年4月に導入したバスロケーションシステムの利用促進に取り組んだ。また、一部にデジタルバス停を設置し利便向上を図った。  | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | <p>【乗車密度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値:3.5人(R5年度の実績値)</li> <li>・R7年度実績3.3人</li> </ul> <p>【輸送人員】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値:50,154人(R5年度の実績値+1,710人)</li> <li>・R7年度実績:51,826人</li> <li>・達成率:103.3%</li> </ul> <p>【運送収入】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値:13,665,346円(R5年度の実績値+525,590円)</li> <li>・R7年度実績:14,345,331円</li> <li>・達成率:104.9%</li> </ul> <p>【収支率】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値:28.70%(R5年度の実績値+1.10%)</li> <li>・R7年度の実績:24.5%</li> <li>・達成率:85.3%</li> </ul> <p>輸送人員および運送収入については、昨年10月に実施した大串線枝線の路線廃止により、利用者が当該幹線系統へ移行し、運行回数や輸送人員が増加し、目標を達成することができた。一方、収支率については、車両更新に伴う減価償却費の増加や燃油価格の高騰等の影響により、目標を達成できなかった。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も関連機関との連携を強化し、利用実態の把握を進めるとともに、効率性と利便性に配慮したダイヤ編成の改善を図り、持続可能なバス路線への転換を目指す中で、沿線企業や地域住民への利用促進に向けた効果的な取り組みを継続して実施する。</li> <li>・観光需要のさらなる取り込みを図るため、SNSを活用した情報発信やバスマップの無償配布を継続するとともに、併せてMaaSの推進による沿線施設と連携したデジタルチケット造成の検討を行い利便性向上に取り組む。</li> </ul>                                |
|           | 2. 秋寄～長与ニュータウン線の運行                            | 観光客にも分かりやすい移動環境を整えるため、行先案内バスマップを作成・配布するとともに、令和6年4月に導入したバスロケーションシステムの利用促進に取り組んだ。また、一部にデジタルバス停を設置し利便向上を図った。  | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | <p>【乗車密度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値:3.5人(R5年度の実績値)</li> <li>・R7年度実績3.4人</li> </ul> <p>【輸送人員】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値:59,606人(R5年度の実績値+1,600人)</li> <li>・R7年度実績:57,890人</li> <li>・達成率:97.1%</li> </ul> <p>【運送収入】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値:8,403,309円(R5年度の実績値+244,775円)</li> <li>・R7年度実績:8,283,527円</li> <li>・達成率:98.5%</li> </ul> <p>【収支率】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値:37.70%(R5年度の実績値+1.10%)</li> <li>・R7年度の実績:32.9%</li> <li>・達成率:87.2%</li> </ul> <p>沿線地域の人口減少および少子高齢化による輸送人員の減少や、車両更新に伴う減価償却費の増加や燃油価格の高騰等の影響を受け、目標を達成できなかった。</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民の移動需要に即した路線で、今後沿線エリアに開発予定の複合施設について、当該路線の乗り入れによる利用者の利便向上を見据え協議・検討を実施する。</li> <li>・利用実態に基づいたダイヤの効率化を検討し、持続可能なバス路線網の維持を図る。</li> <li>・観光客にも分かりやすい、行先案内バスマップの作成・配布を行うとともに、令和6年4月に導入したバスロケーションシステムの周知・利用促進に取り組む。</li> <li>・一部バス停にデジタルバス停を設置し、運行情報の見える化による利便性向上を図る。</li> </ul> |

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月15日

協議会名:長崎県地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要                               | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況   | ④事業実施の適切性                    | ⑤目標・効果達成状況   | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)  |
|-----------|-------------------------------------|---|------------------------------|--|--|
| 長崎自動車株式会社 | 3. 江平高部～百合野病院前線の運行                  | 観光客にも分かりやすい移動環境を整えるため、行先案内バスマップを作成・配布するとともに、令和6年4月に導入したバスロケーションシステムの利用促進に取り組んだ。また、一部にデジタルバス停を設置し利便向上を図った。       | A:事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | <p>【乗車密度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値:6.1人(R5年度の実績値)</li> <li>・R7年度実績:6.1人</li> </ul> <p>【輸送人員】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値:152,157人(R5年度の実績値+2,550人)</li> <li>・R7年度実績:155,243人</li> <li>・達成率:102.0%</li> </ul> <p>【運送収入】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値:20,060,284円(R5年度の実績値+393,339円)</li> <li>・R7年度実績:20,695,227円</li> <li>・達成率:103.1%</li> </ul> <p>【収支率】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値:57.40%(R5年度の実績値+1.10%)</li> <li>・R7年度の実績:51.3%</li> <li>・達成率:89.3%</li> </ul> <p>輸送人員および運送収入については、R6年度の実績とほぼ同水準で推移し、目標を達成することができた。</p> <p>一方、収支率については、車両更新に伴う減価償却費の増加や燃油価格の高騰等の影響により、目標を達成できなかった。</p>                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民の移動需要に即した路線で、今後沿線エリアに分譲開始が予定されていることから、当該路線の乗り入れによる利用者の利便向上を見据え協議・検討を実施する。</li> <li>・利用実態に基づいたダイヤの効率化を検討し、持続可能なバス路線網の維持を図る。</li> <li>・観光客にも分かりやすい、行先案内バスマップの作成・配布を行うとともに、令和6年4月に導入したバスロケーションシステムの周知・利用促進に取り組む。</li> <li>・一部バス停にデジタルバス停を設置し、運行情報の見える化による利便性向上を図る。</li> </ul> |
|           | 4. 新地中華街～琴の尾登口線の運行                  | 観光客にも分かりやすい移動環境を整えるため、行先案内バスマップを作成・配布するとともに、令和6年4月に導入したバスロケーションシステムの利用促進に取り組んだ。また、一部にデジタルバス停を設置し利便向上を図った。       | A:事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | <p>【乗車密度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値:5.9人(R5年度の実績値)</li> <li>・R7年度実績:6.2人</li> </ul> <p>【輸送人員】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値:123,800人(R5年度の実績値+2,740人)</li> <li>・R7年度実績:146,030人</li> <li>・達成率:117.9%</li> </ul> <p>【運送収入】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値:20,392,370円(R5年度の実績値+399,850円)</li> <li>・R7年度実績:24,231,554円</li> <li>・達成率:118.8%</li> </ul> <p>【収支率】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値:46.60%(R5年度の実績値+1.10%)</li> <li>・R7年度の実績:43.0%</li> <li>・達成率:92.2%</li> </ul> <p>乗車密度および輸送人員、運送収入については沿線系統の運行ダイヤ適正化を実施し、当該補助系統への利用客が増加し、目標を達成することができた。</p> <p>一方、収支率については、車両更新に伴う減価償却費の増加や燃油価格の高騰等の影響により、目標を達成できなかった。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も関連機関との連携を強化し、利用実態の把握を進めるとともに、効率性と利便性に配慮したダイヤ編成の改善を図り、持続可能なバス路線への転換を目指す中で、沿線企業や地域住民への利用促進に向けた効果的な取り組みを継続して実施する。</li> <li>・観光需要のさらなる取り込みを図るため、SNSを活用した情報発信やバスマップの無償配布を継続する。</li> <li>・今後沿線エリアに開業予定の複合施設について、当該路線の乗り入れによる利用者の利便向上を見据え協議・検討を実施する。</li> </ul>                    |
| 西肥自動車株式会社 | 1.福島支所前～伊万里駅前線(福島支所前～相生橋～伊万里駅前間)の運行 | 関係市町と連携し、地区別時刻表作成・配布、Googleマップへの情報掲載の他、バスナビアプリでの運行情報の配信及び定期券運賃検索などの機能拡充、同アプリのバス利用者への更なる周知を行い、輸送人員及び経常収益の増加を図った。 | A:事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | <p>【輸送人員】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(目標値)30,229人(R5年度維持)</li> <li>(R7実績値)27,212人(達成率:90.0%)</li> </ul> <p>【運送収入】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(目標値)11,565,039円(R5年度維持)</li> <li>(R7実績値)13,551,322円(達成率:117.2%)</li> </ul> <p>【収支率】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(目標値)26.3%(R5年度の実績25.3%+1%)</li> <li>(R7実績値)25.7%(達成率:97.7%)</li> </ul> <p>運送収入は目標を達成。</p> <p>輸送人員は運行回数の見直しや沿線人口の減少による影響で減少、収支率も目標を達成できなかった。</p>  | <p>運転士の安定的な充足に努めつつ、「西肥バスナビ」アプリを活用しながら、関係市町と連携し持続可能な運行を図っていく。</p>   |

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月15日

協議会名:長崎県地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要                             | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況   | ④事業実施の適切性                    | ⑤目標・効果達成状況  | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)                                       |
|-----------|-----------------------------------|---|------------------------------|---|---|
| 西肥自動車株式会社 | 2.佐世保～伊万里線(佐世保駅前～三川内～伊万里駅前間)の運行   | 関係市町と連携し、地区別時刻表作成・配布、Googleマップへの情報掲載の他、バスナビアプリでの運行情報の配信及び定期券運賃検索などの機能拡充、同アプリのバス利用者への更なる周知を行い、輸送人員及び経常収益の増加を図った。 | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | 【輸送人員】<br>(目標値)83,148人(R5年度維持)<br>(R7実績値)91,316人(達成率:109.8%)<br>【運送収入】<br>(目標値)21,102,666円(R5年度維持)<br>(R7実績値)27,127,373円(達成率:128.5%)<br>【収支率】<br>(目標値)48.7%(R5年度の実績47.7%+1%)<br>(R7実績値)50.2%(達成率:103.1%)<br><br>全項目で目標を達成。  | 運転士の安定的な充足に努めつつ、「西肥バスナビ」アプリを活用しながら、関係市町と連携し持続可能な運行を図っていく。 |
|           | 3.有川～青方線(有川港ターミナル～壽山～青方間)の運行      | 関係市町と連携し、地区別時刻表作成・配布、Googleマップへの情報掲載の他、バスナビアプリでの運行情報の配信及び定期券運賃検索などの機能拡充、同アプリのバス利用者への更なる周知を行い、輸送人員及び経常収益の増加を図った。 | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | 【輸送人員】<br>(目標値)26,263人(R5年度維持)<br>(R7実績値)27,346人(達成率:104.1%)<br>【運送収入】<br>(目標値)6,281,911円(R5年度維持)<br>(R7実績値)7,754,962円(達成率:123.4%)<br>【収支率】<br>(目標値)34.4%(R5年度の実績%+1%)<br>(R7実績値)38.6%(達成率:112.2%)<br><br>全項目で目標を達成。  | 運転士の安定的な充足に努めつつ、「西肥バスナビ」アプリを活用しながら、関係市町と連携し持続可能な運行を図っていく。 |
|           | 4.青方循環線(青方～奈摩～青方間)の運行             | 関係市町と連携し、地区別時刻表作成・配布、Googleマップへの情報掲載の他、バスナビアプリでの運行情報の配信及び定期券運賃検索などの機能拡充、同アプリのバス利用者への更なる周知を行い、輸送人員及び経常収益の増加を図った。 | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | 【輸送人員】<br>(目標値)26,992人(R5年度維持)<br>(R7実績値)25,488人(達成率:94.4%)<br>【運送収入】<br>(目標値)5,389,103円(R5年度維持)<br>(R7実績値)5,105,340円(達成率:94.7%)<br>【収支率】<br>(目標値)21.6%(R5年度の実績%+1%)<br>(R7実績値)12.6%(達成率:58.3%)<br><br>運行回数の見直しや沿線人口の減少による影響で減少し、目標を達成できなかった。                             | 運転士の安定的な充足に努めつつ、「西肥バスナビ」アプリを活用しながら、関係市町と連携し持続可能な運行を図っていく。 |
|           | 5.補泊線(佐々バスセンター～補泊～江迎間)の運行         | 関係市町と連携し、地区別時刻表作成・配布、Googleマップへの情報掲載の他、バスナビアプリでの運行情報の配信及び定期券運賃検索などの機能拡充、同アプリのバス利用者への更なる周知を行い、輸送人員及び経常収益の増加を図った。 | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | 【輸送人員】<br>(目標値)88,442人(R5年度維持)<br>(R7実績値)76,067人(達成率:86.0%)<br>【運送収入】<br>(目標値)21,124,952円(R5年度維持)<br>(R7実績値)22,336,664円(達成率:105.7%)<br>【収支率】<br>(目標値)38.1%(R5年度の実績%+1%)<br>(R7実績値)41.2%(達成率:108.1%)<br><br>運送収入、収支率は目標を達成。<br>輸送人員は運行回数の見直しや沿線人口の減少による影響で減少し、目標を達成できなかった。 | 運転士の安定的な充足に努めつつ、「西肥バスナビ」アプリを活用しながら、関係市町と連携し持続可能な運行を図っていく。 |
|           | 6.佐世保～嬉野線(佐世保駅前～三川内～嬉野バスセンター間)の運行 | 関係市町と連携し、地区別時刻表作成・配布、Googleマップへの情報掲載の他、バスナビアプリでの運行情報の配信及び定期券運賃検索などの機能拡充、同アプリのバス利用者への更なる周知を行い、輸送人員及び経常収益の増加を図った。 | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | 【輸送人員】<br>(目標値)65,050人(R5年度維持)<br>(R7実績値)89,903人(達成率:138.2%)<br>【運送収入】<br>(目標値)21,260,796円(R5年度維持)<br>(R7実績値)32,667,836円(達成率:153.7%)<br>【収支率】<br>(目標値)63.6%(R5年度の実績62.6%+1%)<br>(R7実績値)69.3%(達成率:110.0%)<br><br>全項目で目標を達成。  | 運転士の安定的な充足に努めつつ、「西肥バスナビ」アプリを活用しながら、関係市町と連携し持続可能な運行を図っていく。 |

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月15日

協議会名:長崎県地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要  | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況   | ④事業実施の適切性                    | ⑤目標・効果達成状況  | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)                                       |
|-----------|--|---|------------------------------|---|---|
| 西肥自動車株式会社 | 7.平戸駅～平戸高校前線(平戸駅～平戸橋橋～平戸高校前間)の運行                         | 関係市町と連携し、地区別時刻表作成・配布、Googleマップへの情報掲載の他、バスナビアプリでの運行情報の配信及び定期券運賃検索などの機能拡充、同アプリのバス利用者への更なる周知を行い、輸送人員及び経常収益の増加を図った。 | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | 【輸送人員】<br>(目標値)56,445人(R5年度維持)<br>(R7実績値)47,775人(達成率:81.7%)<br>【運送収入】<br>(目標値)21,640,598円(R5年度維持)<br>(R7実績値)26,867,279円(達成率:124.2%)<br>【収支率】<br>(目標値)41.7%(R5年度の実績%+1%)<br>(R7実績値)43.8%(達成率:105.0%)<br><br>全項目で目標を達成。   | 運転士の安定的な充足に努めつつ、「西肥バスナビ」アプリを活用しながら、関係市町と連携し持続可能な運行を図っていく。 |
|           | 8.佐世保駅前～松浦駅前線(佐世保駅前～佐々～松浦駅前間)の運行                         | 関係市町と連携し、地区別時刻表作成・配布、Googleマップへの情報掲載の他、バスナビアプリでの運行情報の配信及び定期券運賃検索などの機能拡充、同アプリのバス利用者への更なる周知を行い、輸送人員及び経常収益の増加を図った。 | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | 【輸送人員】<br>(目標値)268,704人(R5年度維持)<br>(R7実績値)273,253人(達成率:101.7%)<br>【運送収入】<br>(目標値)68,558,317円(R5年度維持)<br>(R7実績値)86,227,825円(達成率:125.8%)<br>【収支率】<br>(目標値)79.0%(R5年度の実績%+1%)<br>(R7実績値)90.0%(達成率:113.9%)<br><br>全項目で目標を達成。  | 運転士の安定的な充足に努めつつ、「西肥バスナビ」アプリを活用しながら、関係市町と連携し持続可能な運行を図っていく。 |
|           | 9.佐世保駅前～平戸橋線(佐世保駅前～佐々～平戸橋間)の運行                           | 関係市町と連携し、地区別時刻表作成・配布、Googleマップへの情報掲載の他、バスナビアプリでの運行情報の配信及び定期券運賃検索などの機能拡充、同アプリのバス利用者への更なる周知を行い、輸送人員及び経常収益の増加を図った。 | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | 【輸送人員】<br>(目標値)431,523人(R5年度維持)<br>(R7実績値)387,958人(達成率:89.9%)<br>【運送収入】<br>(目標値)145,984,631円(R5年度維持)<br>(R7実績値)124,838,693円(達成率:85.5%)<br>【収支率】<br>(目標値)81.4%(R5年度の実績%+1%)<br>(R7実績値)65.7%(達成率:80.7%)<br><br>運行回数の見直しや沿線人口の減少による影響で減少し、目標を達成できなかった。                         | 運転士の安定的な充足に努めつつ、「西肥バスナビ」アプリを活用しながら、関係市町と連携し持続可能な運行を図っていく。 |
|           | 10.西海橋西口～佐世保市総合医療センター入口線(西海橋西口～佐世保駅前～佐世保市総合医療センター入口間)の運行 | 関係市町と連携し、地区別時刻表作成・配布、Googleマップへの情報掲載の他、バスナビアプリでの運行情報の配信及び定期券運賃検索などの機能拡充、同アプリのバス利用者への更なる周知を行い、輸送人員及び経常収益の増加を図った。 | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | 【輸送人員】<br>(目標値)101,556人(R5年度維持)<br>(R7実績値)152,624人(達成率:150.3%)<br>【運送収入】<br>(目標値)23,562,246円(R5年度維持)<br>(R7実績値)37,314,515円(達成率:158.4%)<br>【収支率】<br>(目標値)80.3%(R5年度の実績%+1%)<br>(R7実績値)89.0%(達成率:110.8%)<br><br>全項目で目標を達成。  | 運転士の安定的な充足に努めつつ、「西肥バスナビ」アプリを活用しながら、関係市町と連携し持続可能な運行を図っていく。 |
|           | 11.佐世保駅前～知見寺～吉井(佐世保駅前～知見寺～吉井間)の運行                        | 関係市町と連携し、地区別時刻表作成・配布、Googleマップへの情報掲載の他、バスナビアプリでの運行情報の配信及び定期券運賃検索などの機能拡充、同アプリのバス利用者への更なる周知を行い、輸送人員及び経常収益の増加を図った。 | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | 【輸送人員】<br>(目標値)162,655人(R5年度維持)<br>(R7実績値)151,629人(達成率:93.2%)<br>【運送収入】<br>(目標値)33,784,111円(R5年度維持)<br>(R7実績値)37,297,074円(達成率:110.4%)<br>【収支率】<br>(目標値)74.2%(R5年度の実績%+1%)<br>(R7実績値)81.5%(達成率:109.8%)<br><br>運送収入、収支率は目標を達成。<br>輸送人員は運行回数の見直しや沿線人口の減少による影響で減少し、目標を達成できなかった。 | 運転士の安定的な充足に努めつつ、「西肥バスナビ」アプリを活用しながら、関係市町と連携し持続可能な運行を図っていく。 |

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月15日

協議会名:長崎県地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要                  | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況                | ④事業実施の適切性           | ⑤目標・効果達成状況  | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)   |
|-----------|------------------------|--|---------------------|---|---|
| 島原鉄道株式会社  | 1.島原～加津佐線(島原駅～加津佐)の運行  | 前回と同様に、沿線人口の増減率に輸送人員数を乗じた値を目標として取り組んだ。 | A 計画どおり事業は適切に実施された。 | 【輸送人員】<br>・目標値:101,809人(R5年度の実績値×102.8%)<br>・R7年度実績:87,356人<br>・達成率:85.8%<br>【運送収入】<br>・目標値:22,214,266円(R5年度の実績値×104.5%)<br>・R7年度実績:17,779,586円<br>・達成率:80.0%<br>【収支率】<br>・目標値:71.6%(R5年度の実績値+3.0%)<br>・R7年度実績:47.4%<br>・達成率:66.2%<br>経常費用は減少したが、地域人口の減少に伴う輸送人員、運送収入が減少したため、収支率が悪化し目標を達成できなかった。 | 乗務員不足に対応、また、通勤通学や通院、買い物客へのニーズに対応するため、系統の再編を検討し運行効率化を図る。   |
|           | 2.諫早市役所～雲仙線(諫早駅～雲仙)の運行 | 前回と同様に、沿線人口の増減率に輸送人員数を乗じた値を目標として取り組んだ。 | A 計画どおり事業は適切に実施された。 | 【輸送人員】<br>・目標値:168,125人(R5年度の実績値×102.8%)<br>・R7年度実績:166,195人<br>・達成率:98.9%<br>【運送収入】<br>・目標値:45,276,109円(R5年度の実績値×103.6%)<br>・R7年度実績:40,865,322円<br>・達成率:90.3%<br>【収支率】<br>・目標値:58.5%(R5年度実績値+1.9%)<br>・R7年度実績:53.6%<br>・達成率:91.6%<br>経常費用は減少したが、運送収入が減少したため、目標を達成できなかった。                       | 乗務員不足に対応するため、系統の再編を検討し運行効率化を図る。また、観光・インバウンドのニーズに対応するため、企画乗車券(Shimatetsu Free Pass、しまてつスキっぷなど)の拡販に努める。 |
|           | 3.島原～雲仙線(青雲荘～島原駅)の運行   | 前回と同様に、沿線人口の増減率に輸送人員数を乗じた値を目標として取り組んだ。 | A 計画どおり事業は適切に実施された。 | 【輸送人員】<br>・目標値:80,398人(R5年度の実績値×101.3%)<br>・R7年度実績:77,562人<br>・達成率:96.5%<br>【運送収入】<br>・目標値:16,760,786円(R5年度の実績値×102.9%)<br>・R7年度実績:18,181,135円<br>・達成率:108.5%<br>【収支率】<br>・目標値:36.9%(R5年度実績値+1.0%)<br>・R7年度実績:49.9%<br>・達成率:135.2%<br>輸送人員は微減であったが、運送収入増加、経常費用の減少により収支率が改善したため、目標を達成できた。        | 乗務員不足に対応するため、系統の再編を検討し運行効率化を図る。また、観光・インバウンドのニーズに対応するため、企画乗車券(Shimatetsu Free Pass、しまてつスキっぷなど)の拡販に努める。 |
|           | 4.諫早～口之津線(諫早駅～口之津)の運行  | 前回と同様に、沿線人口の増減率に輸送人員数を乗じた値を目標として取り組んだ。 | A 計画どおり事業は適切に実施された。 | 【輸送人員】<br>・目標値:243,471人(R5年度の実績値×102.3%)<br>・R7年度実績:226,317人<br>・達成率:93.0%<br>【運送収入】<br>・目標値:60,171,280円(R5年度の実績値×103.5%)<br>・R7年度実績:53,191,336円<br>・達成率:88.4%<br>【収支率】<br>・目標値:63.9%(R5年度実績値+2.1%)<br>・R7年度実績:59.6%<br>・達成率:93.3%<br>経常費用は減少したが、地域人口の減少に伴う輸送人員、運送収入が減少したため、収支率が悪化し目標を達成できなかった。 | 乗務員不足に対応するため、系統の再編を検討し運行効率化を図る。また、観光・インバウンドのニーズに対応するため、企画乗車券(Shimatetsu Free Pass、しまてつスキっぷなど)の拡販に努める。 |

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月15日

協議会名:長崎県地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| ①補助対象事業者等  | ②事業概要                                     | ③前回(又は類似事業)の<br>事業評価結果の反映状況   | ④事業実施の適切性                    | ⑤目標・効果達成状況   | ⑥事業の今後の改善点<br>(特記事項を含む)   |
|------------|---|---|------------------------------|--|---|
| さいかい交通株式会社 | 1. 瀬戸桜の里線(板の浦～神の浦～桜の里ターミナル)の運行            | 令和6年4月に導入した、当該国庫補助システムを含む一部路線を対象としたスマートフォン型バスロケーションシステムについて、令和7年3月に、池島線を除く全路線を対象とした車載器(タブレット型)へ移行し、利便性の向上を図った。また、西海市等の協力を得ながら、お知らせチラシの配布や停留所への掲出を行い、利用者への周知及び利用促進を図ることで、輸送人員並びに運送収入の増加を図った。 | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | 【乗車密度】<br>・目標値:3.8人(R5年度の実績値)<br>・R7年度実績:3.8人<br>・達成率:100.0%<br>【輸送人員】<br>・目標値:95,541人(R5年度の実績値+1,597人)<br>・R7年度実績:104,884人<br>・達成率:109.8%<br>【運送収入】<br>・目標値:25,373,306円(R5年度の実績値+424,136円)<br>・R7年度実績:25,263,161円<br>・達成率:99.6%<br>【収支率】<br>・目標値:59.8%(R5年度の実績値+1.0%)<br>・R7年度実績:45.6%<br>・達成率:76.3%<br>乗車密度及び輸送人員については、目標を達成できたが、運送収入については、コロナ禍の収束により約314千円の改善があったものの、目標達成には至らなかった。<br>また、収支率についても、人件費等の大幅な費用増加の影響により、目標を達成できなかった。           | グループ会社と連携した新たな企画乗車券の開発について継続的に検討するとともに、イベント開催等の施策を通じて、輸送人員並びに運送収入の増加を図る。<br>また、深刻化する運転士不足への対応として、地元利用者のニーズや利用実態の変化を的確に把握し、ダイヤ改正にあたっては運行便数の見直しを含めた抜本的なダイヤ編成に取り組むことで、収支改善につなげていく。 |
| 五島自動車株式会社  | 1. 福江～三井楽線(福江～水之浦～三井楽)の運行<br>令和6年度車両1両を購入 | 企画乗車券の広報・PR活動の取り組みに加え、高齢者フリー乗車券の販売継続により、利用者の拡大に取り組んだ。また、休日、年末年始のダイヤの見直し等により、効率的なダイヤ編成により、経費の圧縮、収支率の改善に取り組んだ。  | A 計画通りに事業は適切に実施された。          | 【乗車密度】<br>・目標値:3.1人(R5年度の実績値以上)<br>・R6年度実績:3.5人<br>・達成率:112.9%<br>【利用人員】<br>・目標値:117,221人(R5年度の実績116,060人×101%)<br>・R7年度実績:101,753人<br>・達成率:86.8%<br>【運送収入】<br>・目標値:24,133,976円(R5年度の実績23,895,026円×101%)<br>・R7年度実績:24,730,615円<br>・達成率:102.5%<br>【収支率】<br>・目標値:52.0%(R5年度の実績51%+1%)<br>・R7年度実績:44.5%<br>・達成率:85.6%<br>利用人員については、人口減(対R5年度96%約1,200人減)による輸送人員の減少により達成できなかった。収支率については、全系統の総乗車キロは減少したが予想以上に費用は減らず、キロ当たりの経常費用が増加した為達成できなかった。      | 引き続き企画乗車券、1日フリー乗車券等の販売拡大に努め、高齢者フリー乗車券の販売継続により、利用者の拡大を図る。<br>また、継続的にダイヤの見直しを行い、効率的なダイヤ編成をすることにより、経費の圧縮を図り、収支率の改善を目指す。  |
| 五島自動車株式会社  | 2. 福江～大浜～富江線の運行<br>令和6年度車両1両を購入           | 企画乗車券の広報・PR活動の取り組みに加え、高齢者フリー乗車券の販売継続により、利用者の拡大に取り組んだ。また、休日、年末年始のダイヤの見直し等により、効率的なダイヤ編成により、経費の圧縮、収支率の改善に取り組んだ。  | A 計画通りに事業は適切に実施された。          | 【乗車密度】<br>・目標値:2.8人(R5年度の実績値以上)<br>・R7年度実績:3.1人<br>・達成率:110.7%<br>【利用人員】<br>・目標値:45,282人(R5年度の実績44,834人×101%)<br>・R7年度実績:43,801人<br>・達成率:96.7%<br>【運送収入】<br>・目標値:12,865,331円(R5年度の実績12,737,951円×101%)<br>・R7年度実績:12,818,581円<br>・達成率:99.6%<br>【収支率】<br>・目標値:56.0%(R5年度の実績55%+1%)<br>・R7年度実績:47.4%<br>・達成率:84.6%<br>利用人員、運送収入については、人口減(対R5年度96%約1,200人減)による輸送人員の減少により達成できなかった。<br>収支率については、全系統の総乗車キロは減少したが予想以上に費用は減らず、キロ当たりの経常費用が増加した為達成できなかった。 | 引き続き企画乗車券、1日フリー乗車券等の販売拡大に努め、高齢者フリー乗車券の販売継続により、利用者の拡大を図る。<br>また、継続的にダイヤの見直しを行い、効率的なダイヤ編成をすることにより、経費の圧縮を図り、収支率の改善を目指す。  |

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月15日

協議会名:長崎県地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要                    | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況   | ④事業実施の適切性                    | ⑤目標・効果達成状況  | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)  |
|-----------|--------------------------|---|------------------------------|---|--|
| 吉岐交通株式会社  | 1.郷ノ浦～勝本・芦辺～郷ノ浦線の運行      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・3月に各高校へ出向き、新入生や父兄へ定期券についての説明や時刻表等のチラシを配布した。</li> <li>・1日フリー乗車券の販売増のため、HPへの掲載や各車両へのチラシの貼付などを行った。</li> </ul>  | A 計画どおりには事業は実施された            | <p>【輸送人員】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値:71,156人(R5年度実績70,451人×101%)</li> <li>・R7年度実績:67,880人</li> <li>・達成率:95.4%</li> </ul> <p>【運送収入】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値:19,917,502円(R5年度実績19,877,747円×100.2%)、(費用で80万円削減)</li> <li>・R7年度実績:19,069,352円</li> <li>・達成率:95.7%</li> </ul> <p>【収支率】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値:56.7%(R5年度実績55.4%×102.3%)</li> <li>・R7年度実績:44.3%</li> <li>・達成率:78.1%</li> </ul> <p>高校生の生徒の減少により輸送人員及び収入は減少し、経費では労務費等の増加によりは達成できなかった。</p> | 通学定期券は吉岐市が50%補助していることから今後も吉岐市と連携し、1日フリー乗車券については、2日間使用出来るフリー乗車券の販売開始し、島内及び観光客、仕事での来島者に向けて行っており、またHP,車両内外にラッピング等を図り増収に繋がるよう社内協議を行う。  |
|           | 2.郷ノ浦～湯本～勝本・天ヶ原線の運行      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・3月に各高校へ出向き、新入生や父兄へ定期券についての説明や時刻表等のチラシを配布した。</li> <li>・1日フリー乗車券の販売増のため、HPへの掲載や各車両へのチラシの貼付などを行った。</li> </ul>  | B 車両故障につき一部実施出来なかった。         | <p>【輸送人員】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値:39,467人(R5年度実績39,076人×101%)</li> <li>・R7年度実績:38,432人</li> <li>・達成率:97.4%</li> </ul> <p>【運送収入】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値:13,833,841円(R5年度実績13,806,229円×100.2%)、(費用で50万円削減)</li> <li>・R7年度実績:13,090,261円</li> <li>・達成率:94.6%</li> </ul> <p>【収支率】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値:57.8%(R5年度実績56.6%×102.2%)</li> <li>・R7年度実績:44.2%</li> <li>・達成率:76.5%</li> </ul> <p>高校生の生徒の減少により輸送人員及び収入は減少し、経費では労務費等の増加によりは達成できなかった。</p> | 通学定期券は吉岐市が50%補助していることから今後も吉岐市と連携し、1日フリー乗車券については、2日間使用出来るフリー乗車券の販売開始し、島内及び観光客、仕事での来島者に向けて行っており、またHP,車両内外にラッピング等を図り増収に繋がるよう社内協議を行う。  |
| 対馬交通株式会社  | 1.厳原～鶏知～対馬病院線の運行         | 便毎の利用客の状況(利用時間、目的地)を分析し、通院、通学、韓国旅行者の利用のしやすい時刻、他の路線から乗り継ぎが出来るよう時刻の見直しを行った。   | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | <p>【輸送人員】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値:73,626人(R5年度実績値の108.8%)</li> <li>・R7年度実績:86,524人</li> <li>・達成率:117.52%</li> </ul> <p>【運送収入】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値:18,919,588円(R5年度実績値の119.8%)</li> <li>・R7年度実績:20,717,118円</li> <li>・達成率:109.50%</li> </ul> <p>【収支率】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値:52.59%(R5年度の実績値+7.42%)</li> <li>・R7年度実績:55.00%</li> <li>・達成率:104.58%</li> </ul> <p>輸送人員及、運送収入、収支率ともに目標値及びR6年度実績いずれも上回る事ができた。</p>                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年10月1日より対馬市利便増進計画を実施中。</li> <li>・利便増進計画の中で、時間ごとの利用目的、集中する時間帯などダイヤの見直しを行うことにより、通院以外で利用客増を図る。</li> <li>・外部情報サイトGoogleマップ、NAVITIME等への情報掲載、新たに路線マップを作成し国内外旅行者も利用しやすいよう努め増収を図る。</li> </ul> |
|           | 2.対馬病院～空港・仁位～国際ターミナル線の運行 | <ul style="list-style-type: none"> <li>国際ターミナルからの始発便が遅延した場合、航空便の利用が出来ない状態となっていた。関係者と協議をし、事前に連絡を入れることにより航空便利用が出来るよう改善を行った。</li> <li>また、高速船が再開され対馬観光物産協会カウンターにて、1日フリーバス券(韓国語表記)の販売を委託するとともに、韓国人向けパンフレットへの時刻表掲載等を依頼及び自社ホームページ内に韓国語表記も掲載し販売促進を行った。</li> <li>韓国人観光客の利用が多いエリアの時刻表にはハングル表記を追加し掲載を行った。</li> </ul> | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | <p>【輸送人員】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値:114,273人(R5年度実績値の116.36%)</li> <li>・R7年度実績:103,191人</li> <li>・達成率:90.30%</li> </ul> <p>【運送収入】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値:43,460,440円(R5年度実績値+国外1日FP増収見込プラスの173.05%)</li> <li>・R7年度実績:32,328,336円</li> <li>・達成率:74.39%</li> </ul> <p>【収支率】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値:57.68%(R5年度の実績値+22.5%)</li> <li>・R7年度実績:41.69%</li> <li>・達成率:72.28%</li> </ul> <p>輸送人員、運送収入、収支率ともに目標値は上回る事が出来なかった。但しR6年度実績いずれも上回る事ができた。</p>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年10月1日より対馬市利便増進計画を実施中。</li> <li>・利便増進計画の中で、この路線を新たなルートの運行を追加するなど実施し利用増を図る。</li> <li>・外部情報サイトGoogleマップ、NAVITIME等への情報掲載、新たに路線マップを作成し国内外旅行者も利用しやすいよう努め増収を図る。</li> </ul>                  |

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月15日

協議会名:長崎県地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要   | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況   | ④事業実施の適切性                   | ⑤目標・効果達成状況  | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)   |
|-----------|---|---|-----------------------------|---|---|
| 生月自動車南    | 便毎の利用客の状況(利用時間、目的地)を分析し、通院、通学、韓国旅行客の利用のしやすい時刻、他の路線から乗り継ぎが出来るよう時刻の見直しを行った。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・R6年10月～運賃改正を実施</li> <li>・R7年4月より、春日・高越・獅子地区住民に対する平戸市補助制度の廃止となったが、前半の3月末までの8ヶ月においては、車内掲示などで3地区住民に對して周知を行った。また、11/2の高越道路崩落による通行止のため、輸送人員は大幅減となった。</li> </ul>  | A 事業が計画にいちづけられたとおり、適切に実施された | <ul style="list-style-type: none"> <li>【輸送人員】</li> <li>・目標値:7,130人(R5年度7,130人 現状維持)</li> <li>・達成率:89.8%(6,407人)</li> <li>【運送収入】</li> <li>・目標値:2,599,107(R5年度の実績値2,475,340円+5.0%増)</li> <li>・達成率:2,870,836円<br/>⇒10.5%増</li> <li>【収支率】</li> <li>・目標値:18.0%(R5年度の実績値16.3%+1.7%増)</li> <li>《經常収入2,981千円》</li> <li>《經常費用18,301千円》</li> <li>・達成率:85.0%</li> <li>《經常収入:2,950千円》</li> <li>《經常費用:19,314千円》</li> <li>《収支率:15.3%</li> </ul> <p>運送収入については特に通学定期券に関して運賃改正の効果があったと考えられる。しかしながら、収支率では目標値に及ばず、大きな要因としては、高越道路崩落により運行ルートの変更のため、またR7.4月～の3地区住民の市補助制度の廃止も重なり、春日・高越・獅子地区の住民の利用を伸ばす事ができなかった。また費用では、ルート変更により乗車走行距離が伸びたこともあり、燃料費の増、昨今の物価高騰・人件費高騰も大きな要因の一つと考えられる。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・R6年11月の高越道路崩落により運行ルートを変更せざるを得ない状況となった。(R6.11.2～R7.4.29)</li> <li>・R7.4.30～高越道路の仮設道路完成により正規のルートを運行するも再度R7.7.18の集中豪雨により仮設道路の通行止を余儀なくされ、再度運行ルートを変更した(R7.7.18～R7.8.31)。R7.9月～再度正規ルートにて運行中。</li> <li>・再編特例の最終年度を終え、R8年4月からは市の利便増進計画に基づき平戸高校線はR8.3月末で廃止予定。</li> </ul> |
| JR九州バス㈱   | 1.彼杵～嬉野温泉駅～武雄温泉駅の運行   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ改修に向け関係会社と打合せを重ねたが金額の折り合いがつかず未実施</li> <li>・JR九州とタイアップ企画を実施。夏休みや冬休みなど長期休み期間、1日100円で在来線乗り放題になる小学6年生以下を対象としJR九州の企画きっぷ「こどもぼうけんきっぷ」が当社路線バス(福岡地区、佐賀・長崎地区、鹿児島地区)も乗車可能に。ご利用になる動機付けとして利用促進を実施した</li> <li>・佐賀駅バスセンター祭り、西九州新幹線開業2周年イベント(嬉野温泉駅イベント)にてチラシ配布やバスグッズの販売をしバスに慣れ親しんでもらう、ご利用になる動機付けとして利用促進を実施</li> </ul> | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された | <ul style="list-style-type: none"> <li>【輸送人員】</li> <li>・目標値:37,409人(R5年度の実績値+1,428人)</li> <li>・R7年度実績:40,486人</li> <li>・達成率:108.2%</li> <li>【運送収入】</li> <li>・目標値:16,050,722円(R5年度の実績値+1,754,806円)</li> <li>・R7年度実績:14,166,939円</li> <li>・達成率:88.2%</li> <li>【収支率】</li> <li>・目標値:30.6%(R5年度の実績値+1%)</li> <li>・R7年度実績:21.7%</li> <li>・達成率:70.9%</li> </ul> <p>輸送人員は増加し目標達成したが、運送収入は、西九州新幹線に利用者が移った関係で、嬉野温泉駅～武雄温泉駅間の利用が著しく減少し、1人当たりの支払額が下がったため、目標達成できなかった。</p> <p>給与ベースアップ実施や燃料費高騰で経費が増えたことで、収支率については達成できなかった。</p>   | <p>新型コロナウイルスが落ち着き、輸送人員は増加しているものの、輸送人員が回復できていない路線であり、利用促進の広報活動を今後も継続していく。また、地元利用客はもとより観光客の移動手段としての交通網として、新幹線との接続等事業者と沿線自治体が一体となって検討していく。</p>   |

**地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表**  
**(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)**

令和8年2月27日

九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通確保維持改善事業(地域間幹線系統)

| 協議会名         | ①補助対象事業者等  | ②事業概要                  | 協議会における事業評価結果           |                                   |  |            | 地方運輸局等における<br>二次評価結果   | 備考   |
|--------------|--|------------------------|-------------------------|-----------------------------------|--|------------|--|--|
|              |  |                        | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性                         | ⑤目標・効果達成状況   | ⑥事業の今後の改善点 | 評価結果   |  |
| 熊本県地域公共交通協議会 | 熊本バス(株)<br>産交バス(株)<br>熊本電気鉄道(株)<br>西鉄バス大牟田(株)<br>南国交通(株) | 35系統<br>※詳細は別添一次評価のとおり | 別添一次評価のとおり              | A評価: 25系統<br>B評価: 9系統<br>C評価: 1系統 | A評価: 15系統<br>B評価: 9系統<br>C評価: 11系統<br><br>【参考:前年度】<br>A評価: 20系統<br>B評価: 5系統<br>C評価: 10系統 | 別添一次評価のとおり | <p>コロナは明けたものの、運転士や整備士をはじめとする人員不足や、燃料費・車両価格の高騰等、バスを取り巻く厳しい状況下で、バスを利用するきっかけづくりのために運転士体験会やスポーツ・各種イベントとのタイアップ、企画乗車券の造成等、利用促進の様々な取組をされていることを評価します。今後もバス事業者、自治体等連携して取組を続けられることを期待します。</p> <p>また、沿線に学校がある系統ではバスの乗り方教室等を行い子供の時からバスを利用することに慣れてもらうことで将来のバス利用者の創出に繋げ、観光需要呼び込みのために時刻表を配布する等、地域の実情や特性に応じ、取組内容を工夫されている点も評価します。ただ、「事業の今後の改善点」が全てほとんど同じ内容となっているようですが、それぞれの取組を受けた結果や次に向けた改善点は、系統によって差異があるはずですので、書きぶりの工夫を検討されてはいかがでしょうか。</p> <p>目標の達成状況に関しては、前年度に比べると若干A評価の系統が減ったものの、上記のような取組を行う中で得た結果を検証することで、より効果的な改善につながる事が期待されます。</p> <p>今後は、目標を達成できなかった原因だけでなく、目標を達成した系統については、達成できた原因の分析を行い、目標を達成できなかった系統に活かせる部分は活かし、また、系統毎の目標達成状況に応じて、次の目標や評価指標を検討、最適化していくことも必要と思料します。</p> | <p align="center">評価指標<br/>【一日当たり輸送人員】<br/>【行政負担額】<br/>【収支率】</p> |

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月23日

協議会名: 熊本県地域公共交通協議会

評価対象事業名: 令和7年度 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要    | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況  | ④事業実施の適切性   | ⑤目標・効果達成状況   | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)   |
|-----------|----------|--|---|--|---|
| 熊本バス(株)   | 1 直行線    | 沿線自治体と共同でSDGsイベントに参加し、環境にやさしいバスをアピールし利用促進に努めた。また、わくわく1dayバスへの参画や「路線バスの旅」などデジタルチケットを活用した利用について周知を図った。 | B<br>場所の確保が難しく、乗り方教室が開催されなかったため、事業が計画に位置づけられたとおりに実施されない点があった。 | B<br>①目標24.4人/日に対して27.0人/日であった。<br>②目標38,359千円に対して37,415千円であった。<br>③目標48.97%に対して45.22%であった。<br>デジタルチケットの活用により特に通潤橋への観光目的の利用が増え、輸送量が増加し、補助金の行政負担額は減少したが、収支率の改善には至らなかった。 | 引き続き関係自治体と連携した乗り方教室等の利用促進を図り、デジタルチケットを活用した観光目的での利用方法についても周知を行っていく。また、沿線の学校へ定期券利用を促し、利用促進を図っていく。 |
| 熊本バス(株)   | 2 砥用線    | 沿線自治体と共同でバスの乗り方教室を開催し利用促進に努めた。また、わくわく1dayバスなどのデジタルチケットを活用した利用について周知を図った。                             | A<br>計画どおり事業は適切に実施された。  | A<br>①目標16.3人/日に対して23.9人/日であった。<br>②目標16,339千円に対して13,539千円であった。<br>③目標56.63%に対して66.11%であった。<br>沿線自治体の通学定期券の施策により定期券利用が増え、輸送量が増加し、収支率の改善に繋がり、補助金の行政負担額は減少した。            | 引き続き関係自治体と連携した乗り方教室等の利用促進を図り、デジタルチケットを活用した観光目的での利用方法についても周知を行っていく。また、通学定期券施策を沿線自治体と継続して行っていく。   |
| 熊本バス(株)   | 3 辺場・甲佐線 | 沿線自治体と共同でバスの乗り方教室を開催し利用促進に努めた。また、わくわく1dayバスなどのデジタルチケットを活用した利用について周知を図った。                             | A<br>計画どおり事業は適切に実施された。  | A<br>①目標20.0人/日に対して33.0人/日であった。<br>②目標14,633千円に対して11,732千円であった。<br>③目標54.52%に対して72.69%であった。<br>沿線自治体の通学定期券の施策により定期券利用が増え、輸送量が増加し、収支率の改善に繋がり、補助金の行政負担額は減少した。            | 引き続き関係自治体と連携した乗り方教室等の利用促進を図り、デジタルチケットを活用した観光目的での利用方法についても周知を行っていく。また、通学定期券施策を沿線自治体と継続して行っていく。   |
| 熊本バス(株)   | 4 御船・甲佐線 | 沿線自治体と共同でバスの乗り方教室を開催し利用促進に努めた。また、わくわく1dayバスへの参画や「みふねまるごと周遊券」などデジタルチケットを活用した利用について周知を図った。             | A<br>計画どおり事業は適切に実施された。  | A<br>①目標30.0人/日に対して43.8人/日であった。<br>②目標19,605千円に対して18,177千円であった。<br>③目標58.76%に対して68.97%であった。<br>沿線自治体の通学定期券の施策により定期券利用が増え、輸送量が増加し、収支率の改善に繋がり、補助金の行政負担額は減少した。            | 引き続き関係自治体と連携した乗り方教室等の利用促進を図り、デジタルチケットを活用した観光目的での利用方法についても周知を行っていく。また、通学定期券施策を沿線自治体と継続して行っていく。   |
| 熊本バス(株)   | 5 健軍・砥用線 | 沿線自治体と共同でバスの乗り方教室を開催し利用促進に努めた。また、わくわく1dayバスへの参画や「みふねまるごと周遊券」などデジタルチケットを活用した利用について周知を図った。             | C<br>要員確保が難しく、事業が計画に位置付けられたとおりに実施できなかった。                      | C<br>①目標12.5人/日に対して12.1人/日であった。<br>②目標15,257千円に対して16,408千円であった。<br>③目標50.54%に対して43.50%であった。<br>沿線自治体の通学定期券の施策等利用促進策を行ったが、輸送量が減少し、補助金の行政負担額は増加し、収支率の改善には至らなかった。         | 引き続き関係自治体と連携した乗り方教室等の利用促進を図り、デジタルチケットを活用した観光目的での利用方法についても周知を行っていく。また、通学定期券施策を沿線自治体と継続して行っていく。   |
| 熊本バス(株)   | 6 健軍線    | 沿線自治体と共同でバスの乗り方教室を開催し利用促進に努めた。また、わくわく1dayバスへの参画や「みふねまるごと周遊券」などデジタルチケットを活用した利用について周知を図った。             | A<br>計画どおり事業は適切に実施された。  | A<br>①目標37.4人/日に対して55.2人/日であった。<br>②目標24,513千円に対して24,403千円であった。<br>③目標57.89%に対して68.61%であった。<br>沿線自治体の通学定期券の施策により定期券利用が増え、輸送量が増加し、収支率の改善に繋がり、補助金の行政負担額は減少した。            | 引き続き関係自治体と連携した乗り方教室等の利用促進を図り、デジタルチケットを活用した観光目的での利用方法についても周知を行っていく。また、通学定期券施策を沿線自治体と継続して行っていく。   |

|         |            |  |   |  |   |  |   |
|---------|------------|--|---|--|---|--|---|
| 熊本バス(株) | 7 健軍・イオン線  | 沿線の大型商業施設と共同でバスのお仕事体験イベントを開催し利用促進に努めた。また、わくわく1dayバスなどのデジタルチケットを活用した利用について周知を図った。 | A | 計画どおり事業は適切に実施された。                      | A | ①目標18.4人/日に対して22.5人/日であった。<br>②目標8,692千円に対して7,969千円であった。<br>③目標62.34%に対して62.37%であった。<br>買い物目的での利用が増え、輸送量が増加し、収支率の改善に繋がり、補助金の行政負担額は減少した。                | 引き続き関係自治体と連携した乗り方教室等の利用促進を図り、デジタルチケットを活用した観光や買い物目的での利用方法についても周知を行っていく。                          |
| 熊本バス(株) | 8 宇土線      | わくわく1dayバスなどのデジタルチケットを活用した利用について周知を図った。また、現状に即したダイヤ改正を行い適正化を行った。                 | A | 計画どおり事業は適切に実施された。                      | A | ①目標15.1人/日に対して20.8人/日であった。<br>②目標5,147千円に対して2,734千円であった。<br>③目標68.17%に対して76.58%であった。<br>輸送量が増加し、収支率の改善に繋がり、補助金の行政負担額は減少した。共通定期券を利用した通勤・通学とも利用が増加した。    | 引き続き関係自治体と連携した乗り方教室等の利用促進を図り、デジタルチケットを活用した観光目的での利用方法についても周知を行っていく。また、沿線の学校へ定期券利用を促し、利用促進を図っていく。 |
| 熊本バス(株) | 9 松橋線      | 沿線自治体と共同でバスの乗り方教室を開催し利用促進に努めた。また、わくわく1dayバスなどのデジタルチケットを活用した利用について周知を図った。         | A | 計画どおり事業は適切に実施された。                      | A | ①目標15.1人/日に対して21.2人/日であった。<br>②目標6,991千円に対して3,664千円であった。<br>③目標65.51%に対して74.45%であった。<br>利用促進の取組に努めた結果、輸送量が増加し、収支率の改善に繋がり、補助金の行政負担額は減少した。               | 引き続き関係自治体と連携した乗り方教室等の利用促進を図り、デジタルチケットを活用した観光目的での利用方法についても周知を行っていく。また、沿線の学校へ定期券利用を促し、利用促進を図っていく。 |
| 熊本バス(株) | 10 画図線     | 沿線自治体と共同でバスの乗り方教室を開催し利用促進に努めた。また、わくわく1dayバスなどのデジタルチケットを活用した利用について周知を図った。         | A | 計画どおり事業は適切に実施された。                      | A | ①目標18.0人/日に対して25.2人/日であった。<br>②目標5,794千円に対して5,593千円であった。<br>③目標76.37%に対して88.85%であった。<br>輸送量が増加し、収支率の改善に繋がり、補助金の行政負担額は減少した。共通定期券を利用した通勤・通学とも利用が増加した。    | 引き続き関係自治体と連携した乗り方教室等の利用促進を図り、デジタルチケットを活用した観光目的での利用方法についても周知を行っていく。また、沿線の学校へ定期券利用を促し、利用促進を図っていく。 |
| 熊本バス(株) | 11 乙女線     | 沿線自治体と共同でバスの乗り方教室を開催し利用促進に努めた。また、わくわく1dayバスなどのデジタルチケットを活用した利用について周知を図った。         | A | 計画どおり事業は適切に実施された。                      | A | ①目標17.5人/日に対して22.5人/日であった。<br>②目標16,511千円に対して14,154千円であった。<br>③目標49.49%に対して52.89%であった。<br>沿線自治体の通学定期券の施策により定期券利用が増え、輸送量が増加し、収支率の改善に繋がり、補助金の行政負担額は減少した。 | 引き続き関係自治体と連携した乗り方教室等の利用促進を図り、デジタルチケットを活用した観光目的での利用方法についても周知を行っていく。また、通学定期券施策を沿線自治体と継続して行っていく。   |
| 熊本バス(株) | 12 中病・イオン線 | 沿線の大型商業施設と共同でバスのお仕事体験イベントを開催し利用促進に努めた。また、わくわく1dayバスなどのデジタルチケットを活用した利用について周知を図った。 | B | 要員確保が難しく、事業が計画に位置付けられたとおりに実施できない点があった。 | B | ①目標36.9人/日に対して48.1人/日であった。<br>②目標6,508千円に対して6,912千円であった。<br>③目標79.35%に対し84.65%であった。<br>買い物目的での利用が増え、輸送量が増加し、収支率の改善に繋がったが、補助金の行政負担額は増加した。               | 引き続き関係自治体と連携した乗り方教室等の利用促進を図り、デジタルチケットを活用した観光や買い物目的での利用方法についても周知を行っていく。                          |
| 熊本バス(株) | 13 江津・イオン線 | 沿線の大型商業施設と共同でバスのお仕事体験イベントを開催し利用促進に努めた。また、わくわく1dayバスなどのデジタルチケットを活用した利用について周知を図った。 | A | 計画どおり事業は適切に実施された。                      | A | ①目標40.8人/日に対して56.4人/日であった。<br>②目標6,830千円に対して5,409千円であった。<br>③目標86.50%に対し98.82%であった。<br>買い物目的での利用が増え、輸送量が増加し、収支率の改善に繋がり、補助金の行政負担額は減少した。                 | 引き続き関係自治体と連携した乗り方教室等の利用促進を図り、デジタルチケットを活用した観光や買い物目的での利用方法についても周知を行っていく。                          |

|         |                  |  |   |                                |   |  |   |
|---------|------------------|--|---|--------------------------------|---|--|---|
| 熊本バス(株) | 14 セイラ・イオン線      | 沿線の大型商業施設と共同でバスのお仕事体験イベントを開催し利用促進に努めた。また、わくわく1dayバスなどのデジタルチケットを活用した利用について周知を図った。 | A | 計画どおり事業は適切に実施された。              | A | ①目標46.3人/日に対して57.1人/日であった。<br>②目標8,543千円に対して7,599千円であった。<br>③目標87.05%に対し88.85%であった。<br>買い物目的での利用が増え、輸送量が増加し、収支率の改善に繋がり、補助金の行政負担額は減少した。                                     | 引き続き関係自治体と連携した乗り方教室等の利用促進を図り、デジタルチケットを活用した観光や買い物目的での利用方法についても周知を行っていく。                          |
| 熊本バス(株) | 15 城南・志導寺線       | わくわく1dayバスなどのデジタルチケットを活用した利用について周知を図った。また、現状に即したダイヤ改正を行い適正化を行った。                 | A | 計画どおり事業は適切に実施された。              | A | ①目標15.1人/日に対して22.7人/日であった。<br>②目標4,329千円に対して1,676千円であった。<br>③目標76.79%に対し95.55%であった。<br>輸送量が増加し、収支率の改善に繋がり、補助金の行政負担額は減少した。定期券を利用した通学利用が増加した。                                | 引き続き関係自治体と連携した乗り方教室等の利用促進を図り、デジタルチケットを活用した観光目的での利用方法についても周知を行っていく。また、沿線の学校へ定期券利用を促し、利用促進を図っていく。 |
| 熊本バス(株) | 16 健軍電停・イオン線     | 沿線の大型商業施設と共同でバスのお仕事体験イベントを開催し利用促進に努めた。また、わくわく1dayバスなどのデジタルチケットを活用した利用について周知を図った。 | A | 計画どおり事業は適切に実施された。              | A | ①目標11.7人/日に対して14.7人/日であった。<br>②目標6,905千円に対して6,734千円であった。<br>③目標43.73%に対し44.07%であった。<br>買い物目的での利用が増え、輸送量が増加し、収支率の改善に繋がり、補助金の行政負担額は減少した。                                     | 引き続き関係自治体と連携した乗り方教室等の利用促進を図り、デジタルチケットを活用した観光や買い物目的での利用方法についても周知を行っていく。                          |
| 熊本バス(株) | 17 田迎・城南線        | わくわく1dayバスなどのデジタルチケットを活用した利用について周知を図った。また、現状に即したダイヤ改正を行い適正化を行った。                 | A | 計画どおり事業は適切に実施された。              | A | ①目標52.9人/日に対して82.3人/日であった。<br>②目標5,949千円に対して2,974千円であった。<br>③目標111.46%に対し143.05%であった。<br>輸送量が増加し、収支率の改善に繋がり、補助金の行政負担額は減少した。共通定期券を利用した通勤・通学とも利用が増加した。                       | 引き続き関係自治体と連携した乗り方教室等の利用促進を図り、デジタルチケットを活用した観光目的での利用方法についても周知を行っていく。また、沿線の学校へ定期券利用を促し、利用促進を図っていく。 |
| 産交バス(株) | 1 健軍・東無田經由熊本・御船線 | 御船町と協力し、バスの乗車体験及び乗り方教室を実施し利用促進活動を図った。また、沿線周辺の高校へ時刻表やチラシなどの配布を行った。                | A | 計画通り事業は適切に実施された。               | C | 輸送量目標が16.0人/日に対し、20.1人/日であった。また、行政負担額目標が15,181千円に対し、17,290千円であった。収支率目標が41.70%に対し、41.03%であった。利用促進取組などの結果、輸送量・収入が増えたものの、人件費増加などの影響により経常費用が増加し、収支率は悪化した。収支率の悪化に伴い、行政負担額は増加した。 | 今後も引き続き、関係者との連携を図り、乗り方教室の開催など利用促進に向けた周知活動を実施していく。   |
| 産交バス(株) | 2 河内經由熊本・小天線     | 沿線病院の依頼を受け、バス利用を希望する方へ乗車体験会を実施した。  | B | 実施に必要な人員確保ができず、一部事業の実施ができなかった。 | B | 輸送量目標が39.1人/日に対し、49.4人/日であった。また、行政負担額目標が22,971千円に対し、27,659千円であった。収支率目標が50.34%に対し、51.03%であった。利用促進取組などの結果、輸送量・収入が増えたものの、人件費増加などの影響により経常費用が増加し、収支率は悪化した。収支率の悪化に伴い、行政負担額は増加した。 | 引き続き関係者との連携し、路線バスの利用促進を図る。ダイヤ間隔や所要時分を適正に設定し、利便向上にも取り組む。   |
| 産交バス(株) | 3 植木・大倉經由熊本・玉名線  | 玉名市と連携し、乗り方教室を実施した。  | B | 実施に必要な人員確保ができず、一部事業の実施ができなかった。 | C | 輸送量目標が17.9人/日に対し、20.1人/日であった。また、行政負担額目標が16,374千円に対し、19,629千円であった。収支率目標が47.07%に対し、42.28%であった。利用促進取組などの結果、輸送量・収入が増えたものの、人件費増加などの影響により経常費用が増加し、収支率は悪化した。収支率の悪化に伴い、行政負担額は増加した。 | 引き続き関係者との連携し、路線バスの利用促進を図る。学生の団体乗車利用も見られたため、沿線施設への広報活動など団体の利用促進も目指す。                             |

|         |                        |   |   |  |   |  |   |
|---------|------------------------|---|---|--|---|--|---|
| 産交バス(株) | 4 菊池經由<br>山鹿・大津線       | 7月に沿線高校で行われたオープンキャンパスにおいて、時刻表や系統別の行き先を記した専用案内を配布した。また、沿線病院へ時刻表を配布し、日中の時間帯に利用が見込める層へアプローチを行った。 | B | 一部事業において、検討は行ったものの、効果的な内容まで調整ができず、実施ができなかった。 | B | 輸送量目標が20.1人/日に対し、25.2人/日であった。また、行政負担額目標が56,890千円に対し、52,843千円であった。収支率目標が30.05%に対し、28.99%であった。利用促進取組などの結果、輸送量・収入が増えたものの、人件費増加などの影響により経常費用が増加し、収支率は悪化した。収支率の悪化に伴い、行政負担額は増加した。 | 今後も引き続き、関係者との意見交換や協議を進め、沿線学校への広報活動を始めた路線バスの利用促進を実現していく。   |
| 産交バス(株) | 5 労働庁舎・鬼池港經由<br>本渡・富岡線 | 沿線地域の学校が集まる校長会へ参加し、定期券販売の説明や乗り方教室の案内を行った。乗り方教室の依頼を受けた学校へ順次乗り方教室を開催し、利用促進を図った。                 | A | 計画通り事業は適切に実施された。                             | B | 輸送量目標が17.8人/日に対し、21.3人/日であった。また、行政負担額目標が57,352千円に対し、56,138千円であった。収支率目標が27.80%に対し、25.53%であった。利用促進取組などの結果、輸送量・収入が増えたものの、人件費増加などの影響により経常費用が増加し、収支率は悪化した。収支率の悪化に伴い、行政負担額は増加した。 | 沿線にはイルカウォッチングなどの有名な観光地もあることから、国内外の観光客へ利用促進に取り組んでいく。       |
| 産交バス(株) | 6 セントラル病院經由<br>本渡・鬼池線  | 沿線地域の学校が集まる校長会へ参加し、定期券販売の説明や乗り方教室の案内を行った。乗り方教室の依頼を受けた学校へ順次乗り方教室を開催し、利用促進を図った。                 | A | 計画通り事業は適切に実施された。                             | B | 輸送量目標が4.4人/日に対し、4.4人/日であった。また、行政負担額目標が18,265千円に対し、15,318千円であった。収支率目標が20.25%に対し、15.35%であった。輸送量・収入はほぼ横ばいであったものの、人件費増加などの影響により経常費用が増加し、収支率は悪化した。収支率の悪化に伴い、行政負担額は増加した。         | 沿線にはイルカウォッチングなどの有名な観光地もあることから、国内外の観光客へ利用促進に取り組んでいく。       |
| 産交バス(株) | 7 一町田中央・久玉經由<br>本渡・牛深線 | 沿線地域の学校が集まる校長会へ参加し、定期券販売の説明や乗り方教室の案内を行った。乗り方教室の依頼を受けた学校へ順次乗り方教室を開催し、利用促進を図った。                 | A | 計画通り事業は適切に実施された。                             | C | 輸送量目標が12.8人/日に対し、12.8人/日であった。また、行政負担額目標が102,331千円に対し、124,428千円であった。収支率目標が18.20%に対し、14.48%であった。輸送量・収入はほぼ横ばいであったものの、人件費増加などの影響により経常費用が増加し、収支率は悪化した。収支率の悪化に伴い、行政負担額は増加した。     | 本路線は世界遺産である崎津集落へ向かう路線との乗継路線でもあることから、国内外の観光客へ利用促進に取り組んでいく。 |
| 産交バス(株) | 8 桜山經由<br>玉名市役所・荒尾線    | 荒尾市と連携し、モビリティマネジメント無料乗車券を発行し、利用機会の創出を行った。   | B | 実施に必要な人員確保ができず、一部事業の実施ができなかった。               | C | 輸送量目標が24.9人/日に対し、28.5人/日であった。また、行政負担額目標が34,089千円に対し、40,832千円であった。収支率目標が36.00%に対し、31.29%であった。利用促進取組などの結果、輸送量・収入が増えたものの、人件費増加などの影響により経常費用が増加し、収支率は悪化した。収支率の悪化に伴い、行政負担額は増加した。 | 引き続き関係者との連携し、乗り方教室の実施や団体乗車の促進など路線バスの利用促進を図る。              |
| 産交バス(株) | 9 堅志田經由<br>松橋・砥用線      | 松橋駅での鉄道乗継を考慮し、発時刻の調整を行った。また、宇土市で開催されたピクニックマルシェにて、車両の展示や時刻表配布などを行い、利用促進を図った。                   | A | 計画通り事業は適切に実施された。                             | C | 輸送量目標が12.8人/日に対し、13.8人/日であった。また、行政負担額目標が39,993千円に対し、49,058千円であった。収支率目標が22.66%に対し、18.38%であった。利用促進取組などの結果、輸送量・収入が増えたものの、人件費増加などの影響により経常費用が増加し、収支率は悪化した。収支率の悪化に伴い、行政負担額は増加した。 | 沿線には佐俣の湯などの施設もあることから、通勤・通学・通院だけではなく利用目的を創出できるよう検討していく。    |

|            |                          |  |  |   |  |
|------------|--------------------------|--|--|---|--|
| 産交バス(株)    | 10 日奈久經由<br>八代・田浦線       | 八代市で開催されたにじいろキッズフェスタにて、車両の展示や時刻表配布などを行い、利用促進を図った。また、おれんじ鉄道未来戦略会議への出席など、利便性向上を目的に他交通機関との情報共有を実施した。8月発生の豪雨被害によって利便性低下を防ぐために、鉄道との連携も行った。  | B<br>一部事業において、検討は行ったものの、効果的な内容まで調整ができず、実施ができなかった。  | C<br>輸送量目標が16.5人/日に対し、20.5人/日であった。また、行政負担額目標が36,884千円に対し、42,124千円であった。収支率目標が20.14%に対し、18.31%であった。利用促進取組などの結果、輸送量・収入が増えたものの、人件費増加などの影響により経常費用が増加し、収支率は悪化した。収支率の悪化に伴い、行政負担額は増加した。   | 今後も引き続き、関係者との意見交換や協議を進め、路線バスの利用促進を実現していく。沿線には県内でも有数の温泉街である日奈久温泉があることから、通勤・通学・通院だけではなく利用目的を創出できるように検討していく。  |
| 産交バス(株)    | 11 道尻經由<br>阿蘇環状線         | 阿蘇駅前待合所においてモニターを設置し、観光客のお客様に向け、3か国の言語で時刻表や観光案内を掲示し、紙での配布も行った。  | B<br>実施に必要な人員確保ができず、一部事業の実施ができなかった。  | C<br>輸送量目標が22.8人/日に対し、30.4人/日であった。また、行政負担額目標が31,803千円に対し、36,875千円であった。収支率目標が18.80%に対し、18.52%であった。観光客の増加や利用促進取組などの結果、輸送量・収入が増えたものの、人件費増加などの影響により経常費用が増加し、収支率は悪化した。収支率の悪化に伴い、行政負担額は増加した。  | 引き続き関係自治体と連携を図り、地域住民以外の利用も増やせるよう、観光客への広報活動など利用促進に向けた周知活動を実施していく。   |
| 産交バス(株)    | 12 テクノ団地經由<br>熊本・高森線     | 観光推進機構や高森駅周辺のカフェなどへポスターや時刻表を定期的に配布し、利用促進を行った。また、主要地点で接続した高森町民バスの時刻を調整し、目的別(生活交通・観光)の設定を行い、利便性の向上を図った。  | B<br>実施に必要な人員確保ができず、一部事業の実施ができなかった。  | C<br>輸送量目標が21.9人/日に対し、21.7人/日であった。また、行政負担額目標が11,466千円に対し、17,570千円であった。収支率目標が69.66%に対し、57.00%であった。利用促進取組の結果、輸送人員は増えたものの、一人当たりの支払額の減少により、目標の輸送量までは至らなかった。また、人件費増加などの影響により経常費用が増加し、収支率は悪化した。収支率の悪化に伴い、行政負担額は増加した。  | 引き続き関係自治体と連携を図り、利用促進に向けた周知活動を実施していく。また、他路線バスとの接続強化を図り、利便性の向上も目指す。  |
| 熊本電気鉄道(株)  | 1 377新地団地線<br>(合志市役所)    | 前年度事業評価の結果等も踏まえ、学校との連携やPRを強化。乗合事業者が参画している共同経営事業の一環として、沿線の高校・大学の入学説明会やオープンキャンパス開催時に共通定期券に関する説明やチラシの配布、構内への時刻表掲示等を行った。また、沿線自治体の協力によりバス利用等に関してHPや広報誌にて発信していただく等、事業への深い理解をいただき、活発な周知活動を行う事ができた。  | A<br>R6.12月に熊本市により「無料の日」が開催され、利用促進が図られた他、各自治体との連携や沿線学校へのチラシ配布や案内等のPR強化、合志市との連携にてバスの乗り方教室を開催する等、適切に実施された。 | C<br>輸送量については目標通りの実績となり達成することができたが、行政負担額が目標+43千円。収支率についても72.0%の目標に対し71.05%と届かない結果となった。前回事業評価を踏まえた計画・取り組みの効果により利用者数・収入とも増加したものの、運転士不足状況の緩和や待遇改善を図る為の昇給等による人件費や、燃料をはじめとする物価高騰の影響による諸経費の増加が主な要因。   | R7.2月に新たに導入されたタッチ決済の利用率は15%近くまで上昇してきており、普及は進んでいるものの、沿線に多くの高校・大学を抱える当社・当該路線においては定期券の利用促進を更に図っていく事が必須と考えている。また、合志市の中核に向かう路線でもあることから、沿線のコミュニティ交通との連携等、利便性の強化を図ってまいりたい。                                      |
| 西鉄バス大牟田(株) | 1 西鉄大牟田営業所～大牟田市立病院・上町～庄山 | 今年度は、継続的な利用促進の取組みに加え、運行情報の視認性向上をはじめとした分かりやすく使いやすいバス停を目指し、大牟田市内4箇所にスマートバス停を設置するなど、利用者の拡大に努めた。<br>◇実施できたこと<br>・イベント等でのバス出展や運転士体験会の実施<br>・バス教室の実施(大牟田市内2校)<br>・イベント及びバス教室でのチラシ配布<br>・デジタルスタンプラリーの実施<br>・利用促進事業の実施<br>・子ども50円バス、子ども無料バスの実施<br>・シーズン毎のバス車内装飾<br>・運賃改定の実施<br>・スマートバス停の設置 | A<br>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された   | C<br>定量的な効果目標<br>【収支率】令和6年実績収支率26.06%から収支改善1.0%以上を目標とする。<br>【輸送人員】令和6年度実績23,680人以上を維持する。<br>【取組効果】令和7年度実績<br>[収支率]24.45% 令和6年度実績から1.61%悪化<br>[輸送人員]21,845人 令和6年度実績から1,835人減少<br>2024年10月5日に実施した運賃改定の影響により、利用者数の減少がみられる。また、人件費・燃油費の高騰により費用も増加したため、目標達成ができなかった。 | ◇利用促進<br>・令和8年1月に、ノンステップバスを4台導入。<br>・令和7年11月に「my route」で発売中のおおむた1日乗り放題バスきっぷを100円で販売するキャンペーンを実施し、早期に予定枚数300枚が完売した。今回収集したアンケート結果を基にPR施策を実施していきたい。<br>◇その他<br>令和7年10月1日に利用者の少ない勝立～庄山間の減便を実施。今後の利用状況を注視していく。 |

|            |   |   |                                |   |   |
|------------|---|---|--------------------------------|---|---|
| 西鉄バス大牟田(株) | 2 西鉄大牟田営業所～延命公園動物園前・大牟田市立病院・新大牟田駅～南関町役場 | <p>今年度は、継続的な利用促進の取組みに加え、運行情報の視認性向上をはじめとした分かりやすく使いやすいバス停を目指し、市内4箇所スマートバス停を設置するなど、利用者の拡大に努めた。</p> <p>◇実施できたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント等でのバス出展や運転士体験会の実施</li> <li>・バス教室の実施(大牟田市市内2校)</li> <li>・イベント及びバス教室でのチラシ配布</li> <li>・デジタルスタンプラリーの実施</li> <li>・利用促進事業の実施</li> <li>・子ども50円バス、子ども無料バスの実施</li> <li>・シーズン毎のバス車内装飾</li> <li>・運賃改定の実施</li> <li>・スマートバス停の設置</li> </ul> | A<br>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された | B<br><p>定量的な効果目標</p> <p>【収支率】令和6年度実績36.05%から収支改善1.0%以上を目標とする。</p> <p>【輸送人員】令和6年度実績104,359人以上を維持する。</p> <p>【取組効果】令和7年度実績</p> <p>[収支率]39.11% 令和6年度実績から3.06%改善</p> <p>[輸送人員]1107,074人 令和6年度実績から2,715人増加</p>  | <p>◇利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和8年1月に、ノンステップバスを4台導入。</li> <li>・令和7年11月に「my route」で発売中のおおむた1日乗り放題バスきっぷを100円で販売するキャンペーンを実施し、早期に予定枚数300枚が完売した。今回収集したアンケート結果を基にPR施策を実施していきたい。</li> </ul> <p>◇その他</p> <p>R5年11月1日より一部区間を並行する同路線他系統(先行番号57-2番)において、新大牟田駅でより多くの新幹線と接続できるよう、新大牟田駅への乗り入れ便数を増加やした(改正前平日28便、改正後平日42便)。また、新大牟田駅周辺では産業団地用地がR6年より分譲開始されている。今後も利便性が高い施策が実施できるよう状況を注視する。</p> |
| 西鉄バス大牟田(株) | 3 荒尾駅～右京町～久福木団地                         | <p>今年度は、継続的な利用促進の取組みに加え、運行情報の視認性向上をはじめとした分かりやすく使いやすいバス停を目指し、市内4箇所スマートバス停を設置するなど、利用者の拡大に努めた。</p> <p>◇実施できたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント等でのバス出展や運転士体験会の実施</li> <li>・バス教室の実施(大牟田市市内2校)</li> <li>・イベント及びバス教室でのチラシ配布</li> <li>・デジタルスタンプラリーの実施</li> <li>・利用促進事業の実施</li> <li>・子ども50円バス、子ども無料バスの実施</li> <li>・シーズン毎のバス車内装飾</li> <li>・運賃改定の実施</li> <li>・スマートバス停の設置</li> </ul> | A<br>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された | B<br><p>定量的な効果目標</p> <p>【収支率】令和6年度実績収支率64.47%から収支改善1.0%以上を目標とする。</p> <p>【輸送人員】令和6年度実績104,834人以上を維持する。</p> <p>【取組効果】令和7年度実績</p> <p>[収支率]68.46% 令和6年度実績から3.99%改善</p> <p>[輸送人員]1102,447人 令和6年度実績から2,787人減少</p> <p>2024年10月5日に実施した運賃改定により、利用者数の減少がみられるものの、費用の増加を収入の増加が上回ったため、収支率は目標達成できた。</p> | <p>◇利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和8年1月に、ノンステップバスを4台導入。</li> <li>・令和7年11月に「my route」で発売中のおおむた1日乗り放題バスきっぷを100円で販売するキャンペーンを実施し、早期に予定枚数300枚が完売した。今回収集したアンケート結果を基にPR施策を実施していきたい。</li> <li>・JR荒尾駅でのJR線との接続の見直しを検討していく。</li> </ul> <p>◇その他</p> <p>近年、早朝夜間時間帯から日中時間帯にご利用がシフトしている傾向にある。一方で1時間に1便程度の運行と、運行便数も少ないため、一定程度は等間隔での運行が必要と考える。今後も状況を注視する。</p>                                   |
| 西鉄バス大牟田(株) | 4 荒尾駅～天領橋～三池中町                          | <p>今年度は、継続的な利用促進の取組みに加え、運行情報の視認性向上をはじめとした分かりやすく使いやすいバス停を目指し、市内4箇所スマートバス停を設置するなど、利用者の拡大に努めた。</p> <p>◇実施できたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント等でのバス出展や運転士体験会の実施</li> <li>・バス教室の実施(大牟田市市内2校)</li> <li>・イベント及びバス教室でのチラシ配布</li> <li>・デジタルスタンプラリーの実施</li> <li>・利用促進事業の実施</li> <li>・子ども50円バス、子ども無料バスの実施</li> <li>・シーズン毎のバス車内装飾</li> <li>・運賃改定の実施</li> <li>・スマートバス停の設置</li> </ul> | A<br>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された | B<br><p>定量的な効果目標</p> <p>【収支率】令和6年度実績収支率68.88%から収支改善1.0%以上を目標とする。</p> <p>【輸送人員】令和6年度実績109,192人以上を維持する。</p> <p>【取組効果】令和7年度実績</p> <p>[収支率]72.50% 令和6年度実績から3.62%改善</p> <p>[輸送人員]1107,240人 令和6年度実績から1,952人減少</p> <p>2024年10月5日に実施した運賃改定により、利用者数の減少がみられるものの、費用の増加を収入の増加が上回ったため、収支率は目標達成できた。</p> | <p>◇利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和8年1月に、ノンステップバスを4台導入。</li> <li>・令和7年11月に「my route」で発売中のおおむた1日乗り放題バスきっぷを100円で販売するキャンペーンを実施し、早期に予定枚数300枚が完売した。今回収集したアンケート結果を基にPR施策を実施していきたい。</li> <li>・JR荒尾駅でのJR線との接続の見直しを検討していく。</li> </ul> <p>◇その他</p> <p>近年、早朝夜間時間帯から日中時間帯にご利用がシフトしている傾向にある。一方で1時間に1便程度の運行と、運行便数も少ないため、一定程度は等間隔での運行が必要と考える。今後も状況を注視する。</p>                                   |
| 南国交通(株)    | 1 水俣線(佐潟口・水俣車庫線)                        | 路線の維持に努め、令和7年4月に当該系統における初乗運賃を変更   | A<br>計画通り事業は適切に実施された           | A<br><p>目標26.0人/日に対して35.7人/日であった。</p> <p>経常収支率についてはR5実績35.6%、R7目標値36.56%に対し、R7実績値は42.25%となり改善となった。</p> <p>行政負担額については、目標値47,605に対し、実績額が38,264となり達成となった。</p>  | 令和8年度よりルート変更の依頼もあり、利用者が現在より見込めるルートに一部時間帯の変更を計画している  |

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表 (生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年2月27日

九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持改善事業(地域間幹線系統)

| 協議会名            | ①補助対象事業者等  | ②事業概要                      | 協議会における事業評価結果           |                                   |   |            | 地方運輸局等における<br>二次評価結果  | 備考                       |
|-----------------|--|----------------------------|-------------------------|-----------------------------------|---|------------|---|--------------------------|
|                 |  |                            | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性                         | ⑤目標・効果達成状況  | ⑥事業の今後の改善点 | 評価結果  |                          |
| 大分県地域公共交通活性化協議会 | 大分バス(株)<br>大分交通(株)<br>大交北部バス(株)<br>亀の井バス(株)<br>JR九州バス(株) | 11系統<br><br>※詳細は別添一次評価のとおり | 別添一次評価のとおり              | A評価: 11系統<br>B評価: 0系統<br>C評価: 0系統 | A評価: 4系統<br>B評価: 4系統<br>C評価: 3系統<br><br>【参考: 前年度】<br>A評価: 5系統<br>B評価: 6系統<br>C評価: 1系統 | 別添一次評価のとおり | <p>コロナは明けたものの、運転士や整備士をはじめとする人員不足や、燃料費・車両価格の高騰、少子化・過疎化の進行に伴うバス利用者の減少等、バスを取り巻く厳しい状況下で、利用促進の取組や車両更新等を計画的に実施されていることを評価します。今後もバス事業者、自治体等連携して取組を続けられることを期待します。</p> <p>ただ、「前回の事業評価結果の反映状況」についてはもう少し詳細を記載いただき、また、「事業の今後の改善点」は全てがほぼ同じ内容となっておりますが、それぞれの取組を受けた結果や次に向けた改善点は、系統によって差異があるはずですので、書きぶりの工夫を検討されてはいかがでしょうか。</p> <p>目標の達成状況に関しては、昨年と比較して輸送人員・収支改善状況の数字だけを見ると、目標達成した系統が若干減っているものの、上記のような取組を行う中で得た結果を検証することで、より効果的な改善につながることを期待されます。</p> <p>今後は、目標を達成できなかった原因だけでなく、目標を達成した系統については、達成できた原因の分析を行い、目標を達成できなかった系統に活かせる部分は活かし、また、系統毎の目標達成状況に応じて、次の目標や評価指標をを検討、最適化していくことも必要と思料します。</p> | 評価指標<br>【輸送人員】<br>【運送収入】 |

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月23日

協議会名:大分県地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| ①補助対象事業者等      | ②事業概要  | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況  | ④事業実施の適切性   | ⑤目標・効果達成状況  | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)   |
|----------------|--|--|---|---|---|
| 大分バス(株)<br>臼杵線 | 金池ターミナル<br>～県立病院<br>～臼杵港フェリーターミナル                      | 「大分県豊肥圏地域公共交通計画」、「大分県豊肥圏地域公共交通利便増進実施計画」の進捗管理を適切に行い、運行効率の改善等を図った。 | A<br>事業は、計画どおり適切に実施された。<br>【目標:計画運行回数】<br>1,936.0<br>【実績:実績運行回数】<br>1,936.0 | B<br>目標を概ね達成できた。(乗務員不足によるダイヤ改正・減便等から輸送人員は目標を下回る結果となった。)<br>・輸送人員<br>【目標】135,636人<br>【実績】116,391人<br>(達成度85.8%)<br>・運送収入<br>【目標】30,493,905円<br>【実績】30,544,233円<br>(達成度100.2%)      | 令和3年9月に策定した「大分県豊肥圏地域公共交通計画」及び「大分県豊肥圏地域公共交通利便増進実施計画」の進捗管理を適切に行うとともに、バス利用者の回復の為の各種利用拡大策にバス事業者、市町村等と連携して取り組み、バスの利用促進を図る。 |
| 大分バス(株)<br>伯大線 | 金池ターミナル<br>～県立病院入口<br>～佐伯駅<br>【車両導入】<br>R2:1台<br>R3:1台 | 「大分県南部圏地域公共交通計画」、「大分県南部圏地域公共交通利便増進実施計画」の進捗管理を適切に行い、運行効率の改善等を図った。 | A<br>事業は、計画どおり適切に実施された。<br>【目標:計画運行回数】<br>1,456.0<br>【実績:実績運行回数】<br>1,456.0 | B<br>目標を達成できなかった。(乗務員不足によるダイヤ改正・減便等から輸送人員、運送収入ともに目標を下回る結果となった。)<br>・輸送人員<br>【目標】71,679人<br>【実績】69,814人<br>(達成度97.4%)<br>・運送収入<br>【目標】30,379,123円<br>【実績】27,598,709円<br>(達成度90.8%) | 令和3年9月に策定した「大分県南部圏地域公共交通計画」及び「大分県南部圏地域公共交通利便増進実施計画」の進捗管理を適切に行うとともに、バス利用者の回復の為の各種利用拡大策にバス事業者、市町村等と連携して取り組み、バスの利用促進を図る。 |

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月23日

協議会名:大分県地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| ①補助対象事業者等       | ②事業概要   | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況   | ④事業実施の適切性  | ⑤目標・効果達成状況   | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)  |
|-----------------|---|---|--|--|--|
| 大分バス(株)<br>佐賀関線 | 大分駅前<br>～鶴崎<br>～佐賀関<br><br>【車両導入】<br>R2:1台<br>R3:1台<br>R4:0台<br>R5:0台<br>R6:2台<br>R7:1台 | 「大分県中部圏地域公共交通網形成計画」、「大分県中部圏地域公共交通再編実施計画」の進捗管理を適切に行い、運行効率の改善等を図った。 | 事業は、計画どおり適切に実施された。<br><br>A 【目標:計画運行回数】<br>3,395.0<br>【実績:実績運行回数】<br>3,395.0 | 目標を達成できなかった。(乗務員不足によるダイヤ改正・減便等から輸送人員、運送収入ともに目標を下回る結果となった。)<br><br>C 【目標】 376,841人<br>【実績】 273,412人<br>(達成度72.6%)<br>・運送収入<br>【目標】 73,513,844円<br>【実績】 57,447,785円<br>(達成度78.1%)          | 令和5年3月に策定した「大分県中部圏地域公共交通計画」、「大分県中部圏地域公共交通利便増進実施計画」の進捗管理を適切に行うとともに、バス利用者の回復の為の各種利用拡大策にバス事業者、市町村等と連携して取り組み、バスの利用促進を図る。 |
| 大分交通(株)<br>別大線  | 大分駅前<br>～関の江車庫前<br><br>【車両導入】<br>R6:1台<br>R7:1台   | 「大分県中部圏地域公共交通網形成計画」、「大分県中部圏地域公共交通再編実施計画」の進捗管理を適切に行い、運行効率の改善等を図った。 | 事業は、計画どおり適切に実施された。<br><br>A 【目標:計画運行回数】<br>5,146.5<br>【実績:実績運行回数】<br>5,146.5 | 目標を達成した。(国大線休止に伴い重複していた一部区間が休止代替の機能を果たし、いずれの目標も達成した。)<br><br>A<br>・輸送人員<br>【目標】 127,216人<br>【実績】 190,708人<br>(達成度149.9%)<br>・運送収入<br>【目標】 19,436,775円<br>【実績】 35,177,072円<br>(達成度181.0%) | 令和5年3月に策定した「大分県中部圏地域公共交通計画」、「大分県中部圏地域公共交通利便増進実施計画」の進捗管理を適切に行うとともに、バス利用者の回復の為の各種利用拡大策にバス事業者、市町村等と連携して取り組み、バスの利用促進を図る。 |

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月23日

協議会名:大分県地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| ①補助対象事業者等        | ②事業概要  | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況   | ④事業実施の適切性  | ⑤目標・効果達成状況  | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)   |
|------------------|--|---|--|---|---|
| 大分交通(株)<br>鉄輪線   | 大分駅前<br>～石垣8丁目<br>鉄輪温泉<br><br>【車両導入】<br>R6:1台<br>R7:1台 | 「大分県中部圏地域公共交通網形成計画」、「大分県中部圏地域公共交通再編実施計画」の進捗管理を適切に行い、運行効率の改善等を図った。 | A<br>事業は、計画どおり適切に実施された。<br><br>【目標:計画運行回数】<br>2,294.0<br>【実績:実績運行回数】<br>2,294.0                                      | C<br>目標を達成できなかった。(乗務員不足によるダイヤ改正・減便等から運送収入、運送収入ともに目標を下回る結果となった。)<br><br>・輸送人員<br>【目標】 158,178人<br>【実績】 122,059人<br>(達成度77.2%)<br>・運送収入<br>【目標】 24,543,044円<br>【実績】 20,804,422円<br>(達成度84.8%) | 令和5年3月に策定した「大分県中部圏地域公共交通計画」、「大分県中部圏地域公共交通利便増進実施計画」の進捗管理を適切に行うとともに、バス利用者の回復の為の各種利用拡大策にバス事業者、市町村等と連携して取り組み、バスの利用促進を図る。  |
| 大交北部バス(株)<br>中日線 | 中津駅前<br>～新万田・旬菜館<br>～守実温泉                              | 「大分県北部圏地域公共交通計画」、「大分県北部圏地域公共交通利便増進実施計画」の進捗管理を適切に行い、運行効率の改善等を図った。  | A<br>事業は、計画どおり適切に実施された(運休した回数は、全て、要綱に定めるやむを得ない事情として認められたもの)。<br><br>【目標:計画運行回数】<br>3,353.5<br>【実績:実績運行回数】<br>3,336.0 | A<br>目標を達成した。(人流が回復し、いずれの目標も達成した。)<br><br>・輸送人員<br>【目標】 78,377人<br>【実績】 81,681人<br>(達成度104.3%)<br>・運送収入<br>【目標】 22,381,819円<br>【実績】 23,849,965円<br>(達成度106.6%)                              | 令和3年9月に策定した「大分県北部圏地域公共交通計画」及び「大分県北部圏地域公共交通利便増進実施計画」の進捗管理を適切に行うとともに、バス利用者の回復の為の各種利用拡大策にバス事業者、市町村等と連携して取り組み、バスの利用促進を図る。 |

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月23日

協議会名:大分県地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| ①補助対象事業者等          | ②事業概要                      | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況  | ④事業実施の適切性  | ⑤目標・効果達成状況  | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)   |
|--------------------|----------------------------|--|--|---|---|
| 大交北部バス(株)<br>中安線   | 安心院<br>～下田の口<br>～中津駅前      | 「大分県北部圏地域公共交通計画」、「大分県北部圏地域公共交通利便増進実施計画」の進捗管理を適切に行い、運行効率の改善等を図った。 | A<br>事業は、計画どおり適切に実施された(運休した回数は、全て、要綱に定めるやむを得ない事情として認められたもの)。<br>【目標:計画運行回数】<br>2,401.0<br>【実績:実績運行回数】<br>2,391.0 | B<br>目標を概ね達成した。(乗務員不足によるダイヤ改正・減便等から運送収入は目標を下回る結果となったが、2%程度減のレベルには達している。)・輸送人員<br>【目標】 54,891人<br>【実績】 66,308人<br>(達成度120.8%)<br>・運送収入<br>【目標】 16,757,208円<br>【実績】 16,507,642円<br>(達成度98.5%) | 令和3年9月に策定した「大分県北部圏地域公共交通計画」及び「大分県北部圏地域公共交通利便増進実施計画」の進捗管理を適切に行うとともに、バス利用者の回復の為の各種利用拡大策にバス事業者、市町村等と連携して取り組み、バスの利用促進を図る。 |
| 大交北部バス(株)<br>国道中高線 | 豊後高田<br>～宇佐駅・宇佐市役所<br>～四日市 | 「大分県北部圏地域公共交通計画」、「大分県北部圏地域公共交通利便増進実施計画」の進捗管理を適切に行い、運行効率の改善等を図った。 | A<br>事業は、計画どおり適切に実施された(運休した回数は、全て、要綱に定めるやむを得ない事情として認められたもの)。<br>【目標:計画運行回数】<br>2,866.0<br>【実績:実績運行回数】<br>2,859.0 | A<br>目標を達成した。(乗務員不足によるダイヤ改正・減便を実施したが、いずれの目標も達成した。)・輸送人員<br>【目標】 55,869人<br>【実績】 57,826人<br>(達成度103.5%)<br>・運送収入<br>【目標】 9,413,249円<br>【実績】 9,459,389円<br>(達成度100.5%)                        | 令和3年9月に策定した「大分県北部圏地域公共交通計画」及び「大分県北部圏地域公共交通利便増進実施計画」の進捗管理を適切に行うとともに、バス利用者の回復の為の各種利用拡大策にバス事業者、市町村等と連携して取り組み、バスの利用促進を図る。 |

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月23日

協議会名:大分県地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| ①補助対象事業者等         | ②事業概要                     | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況   | ④事業実施の適切性  | ⑤目標・効果達成状況   | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)   |
|-------------------|---------------------------|---|--|--|---|
| 大交北部バス(株)<br>伊美線  | 宇佐駅前<br>～竹田津港・伊美港<br>～伊美  | 「大分県北部圏地域公共交通計画」、「大分県北部圏地域公共交通利便増進実施計画」の進捗管理を適切に行い、運行効率の改善等を図った。  | A<br>事業は、計画どおり適切に実施された(運休した回数は、全て、要綱に定めるやむを得ない事情として認められたもの)。<br>【目標:計画運行回数】<br>2,048.0<br>【実績:実績運行回数】<br>2,039.0 | B<br>目標を概ね達成した。(乗務員不足によるダイヤ改正・減便等から輸送人員は目標を下回る結果となったが、5%程度減のレベルに達した。)<br>・輸送人員<br>【目標】 30,499人<br>【実績】 29,080人<br>(達成度95.3%)<br>・運送収入<br>【目標】 10,997,867円<br>【実績】 13,690,828円<br>(達成度124.5%) | 令和3年9月に策定した「大分県北部圏地域公共交通計画」及び「大分県北部圏地域公共交通利便増進実施計画」の進捗管理を適切に行うとともに、バス利用者の回復の為の各種利用拡大策にバス事業者、市町村等と連携して取り組み、バスの利用促進を図る。 |
| 亀の井バス(株)<br>サファリ線 | 別府駅西口<br>～鉄輪・APU<br>～サファリ | 「大分県中部圏地域公共交通網形成計画」、「大分県中部圏地域公共交通再編実施計画」の進捗管理を適切に行い、運行効率の改善等を図った。 | A<br>事業は、計画どおり適切に実施された。<br>【目標:計画運行回数】<br>2,190.0<br>【実績:実績運行回数】<br>2,190.0                                      | A<br>目標を達成した。(観光施設に接続する路線であり、インバウンド需要の回復により、いずれの目標も達成した。)<br>・輸送人員<br>【目標】 93,446人<br>【実績】 120,562人<br>(達成度129.0%)<br>・運送収入<br>【目標】 40,513,642円<br>【実績】 46,149,012円<br>(達成度113.9%)           | 当初の目標を達成し、当該システムを含む一般乗合事業が2年連続黒字のため、令和8年度以降は補助対象外系統となるが、引き続き、バス利用者の回復の為の各種利用拡大策にバス事業者、市町村等と連携して取り組み、バスの利用促進を図る。       |

# 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月23日

協議会名:大分県地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| ①補助対象事業者等  | ②事業概要       | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況  | ④事業実施の適切性  | ⑤目標・効果達成状況   | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)   |
|--|-------------|--|--|--|---|
| JR九州バス(株)<br>添田駅～日田駅   | 添田駅<br>～日田駅 | 「大分県西部圏地域公共交通計画」、「大分県西部圏地域公共交通利便増進実施計画」に基づき、沿線自治体と協力した利用促進策を行った。 | A<br>事業は、計画どおり適切に実施された(運休した回数は、全て、要綱に定めるやむを得ない事情として認められたもの)。<br>【目標:計画運行回数】<br>3,650.0<br>【実績:実績運行回数】<br>3,635.5 | C<br>目標を達成できなかった。(鉄道時代(H28)の数値を参考に目標を設定したが、BRT2年度の輸送人員の実績は、半数を下回った。)<br>・輸送人員<br>【目標】 105,235人<br>【実績】 38,803人<br>(達成度36.9%)<br>・運送収入<br>【目標】 17,963,606円<br>【実績】 16,209,411円<br>(達成度90.2%)  | 令和3年3月に策定した「大分県西部圏地域公共交通計画」、「大分県西部圏地域公共交通利便増進実施計画」の進捗管理を適切に行うとともに、バス利用者の回復の為の各種利用拡大策にバス事業者、福岡県、市町村等と連携して取り組み、バスの利用促進を図る。鉄道からのモード転換による新規路線のため、BRT初年度及び2年度の運行実績を踏まえ、適正な目標値の設定を検討する。 |
| (本協議会における評価基準)<br>●計画に対して<br>・A…計画どおり、あるいはほぼ計画どおりに運行された。<br>・B…計画に対してほぼ90%以上は運行された。<br>・C…計画に対してほぼ90%以下の運行にとどまった。または、系統廃止となった。<br>●目標・効果に対して<br>・A…いずれの目標も達成した。<br>・B…いずれかの目標を達成した。または、いずれの目標も達成していないが、いずれも目標に対しておよそ20%程度減のレベルまでは達成している。<br>・C…いずれの目標も達成しておらず、目標に対しておよそ20%程度減のレベルまでも達成していない。 |             |  | ー<br>運行計画については、全11系統、計画どおり運行されており、事業は適切に実施された。   | ●輸送人員及び運送収入<br>前年度実績値に沿線人口の直近3か年の平均増減率を乗じた値を維持する。<br>●車両導入系統(目標・効果達成状況は上記と同様)<br>前年度実績値に沿線人口の直近3か年の平均増減率を乗じた値を維持する。<br>▶大分バス(株):7台<br>R2 :1台 伯大線<br>1台 佐賀関線<br>R3 :1台 伯大線<br>1台 佐賀関線<br>R4 :0台<br>R5 :0台<br>R6 :2台 佐賀関線<br>R7 :1台 佐賀関線 | ▶大分交通(株):6台<br>R2 :1台 別大線・鉄輪線<br>R3 :1台 別大線・鉄輪線<br>R4 :1台 別大線・鉄輪線<br>R5 :1台 別大線・鉄輪線<br>R6 :1台 別大線・鉄輪線<br>R7 :1台 別大線・鉄輪線   |

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年2月27日

九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通確保維持改善事業(地域間幹線系統)

| 協議会名         | ①補助対象事業者等           | ②事業概要               | 協議会における事業評価結果           |                                |   |            | 地方運輸局等における<br>二次評価結果  | 備考        |
|--------------|---------------------|---------------------|-------------------------|--------------------------------|---|------------|---|-----------|
|              |                     |                     | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性                      | ⑤目標・効果達成状況  | ⑥事業の今後の改善点 | 評価結果  |           |
| 宮崎県地域公共交通協議会 | 宮崎交通(株)<br>鹿児島交通(株) | 系統<br>※詳細は別添一次評価のとお | 別添一次評価のとお               | A評価:21系統<br>B評価:0系統<br>C評価:0系統 | A評価:4系統<br>B評価:17系統<br>C評価:0系統<br><br>【参考:前年度】<br>A評価:11系統<br>B評価:11系統<br>C評価:0系統 | 別添一次評価のとお  | <p>コロナは明けたものの、運転士や整備士をはじめとする人員不足や、燃料費・車両価格の高騰、少子化・過疎化の進行に伴うバス利用者の減少等、バスを取り巻く厳しい状況下で、バスを利用するきっかけづくりのために、バス無料デーや、体験乗車会、企画乗車券の造成等、様々な取組をされていることを評価します。今後もバス事業者、自治体等連携して取組みを続けられることを期待します。</p> <p>運転士不足への対策として、技能実習生を受け入れるだけでなく、実習生は車を持たないので「インターンパス」を発行し県内のバスを利用しやすくしており、柔軟に対策を講じられている点も興味深いです。</p> <p>また、沿線に学校や保育園がある系統では、バスの乗り方教室等を行い、子供の時からバスを利用することに慣れてもらうことで、将来のバス利用者の創出に繋げる等、地域の実情や特性に応じ、取組み内容を工夫されている点も評価します。</p> <p>目標の達成状況に関しては、数字だけを見ると輸送人員・収支改善状況ともに依然として厳しい状況ですが、上記のような取組みを行う中で得た結果を検証することで、より効果的な改善につながることを期待されます。</p> <p>引き続き、目標を達成できなかった原因だけでなく、目標を達成した系統については、達成できた原因の分析を行い、目標を達成できなかった系統に活かせる部分は活かし、また、系統毎の目標達成状況に応じて、次の目標や評価指標をを検討、最適化していくことも必要と思料します。</p> | 評価指標【収支率】 |

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月23日

協議会名: 宮崎県地域公共交通協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要                                | ③前回(又は類似事業)の<br>事業評価結果の反映状況   | ④事業実施の適切性   | ⑤目標・効果達成状況 |                            |                   |                    | ⑥事業の今後の改善点<br>(特記事項を含む) |       |   |  |
|-----------|--------------------------------------|---|---|------------|----------------------------|-------------------|--------------------|-------------------------|-------|---|--|
|           |                                      |   |   | 評価         | 収支改善率(%)                   |                   |                    |                         |       |   |  |
|           |                                      |   |   |            | 前年度<br>収支率<br>(A)          | 今年度<br>収支率<br>(B) | 収支改善<br>率<br>(B-A) |                         | 理由    |   |  |
| 宮崎交通(株)   | 1<br>イオンタウン日向～<br>一ヶ岡・大福良田<br>地～レーヨン | 左の系統の運行<br>R3車両導入2台<br>R4車両導入1台<br>R5車両導入2台                         | 【取組実績】<br>・沿線の商業施設等へホリデーバスのPRを行った。<br>・仕事体験などのイベント時にバスを展示し、将来的なバスの利用促進を図った。   | A          | 事業は計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。 | B                 | 46.1%              | 46.1%                   | 0.0%  | ・収益は増加したが、経費も同様に増加し横ばいとなった。                               | ・土日祝日限定で近郊エリアを1日乗り放題で利用出来るホリデーバスのPRを行う。<br>・悠々バス購入補助のPRを行う。<br>・イベント時の乗り方教室やバスの展示で、公共交通への理解を深め、利用促進を図る。<br>・65歳以上向けに1乗車200円で利用できる定期券「宮交スマート65」を販売し、高齢者の利用促進を図る。<br>・技能実習生向けにインターンバスを販売し、新規利用者の開拓を図る。<br>・バス利用促進協議会において、バス無料デーを実施し、新規利用者の開拓を図る。   |
| 宮崎交通(株)   | 2<br>宮交シティ～高鍋<br>駅～高鍋                | 左の系統の運行<br>R3車両導入3台<br>R4車両導入2台<br>R5車両導入2台<br>R6車両導入3台<br>R7車両導入2台 | 【取組実績】<br>・行政と協力し、R7年5、6月に高鍋町内の小学校でのバスの乗り方教室を行い、将来的なバスの利用促進を図った。<br>・行政や他事業者と連携し、R7年6月～企画乗車券を作成し5,000枚販売した。   | A          | 事業は計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。 | B                 | 74.0%              | 65.2%                   | -8.8% | 利用促進策を行ったが、人件費・燃料油脂費の高騰により経費が上がり収支率はR6年度を下回る結果となった。       | ・沿線上の保育園や小学校で乗り方教室を実施し、郊外学習や遠足で利用してもらう。<br>・デジタルチケットを用いた沿線施設との連携、特典付与の活用、告知強化。<br>・65歳以上向けに1乗車200円で利用できる定期券「宮交スマート65」を販売し、高齢者の利用促進を図る。<br>・技能実習生向けにインターンバスを販売し、新規利用者の開拓を図る。<br>・バス利用促進協議会において、バス無料デーを実施し、新規利用者の開拓を図る。  |
| 宮崎交通(株)   | 3<br>宮交シティ～高鍋<br>～木城温泉館湯ら            | 左の系統の運行<br>R3車両導入3台<br>R4車両導入2台<br>R5車両導入2台<br>R6車両導入3台<br>R7車両導入2台 | 【取組実績】<br>・行政と協力しR7年5、6月に高鍋町内の小学校でのバスの乗り方教室を行い、将来的なバスの利用促進を図った。<br>・行政や他事業者と連携し、R7年6月～企画乗車券を作成し5,000枚販売した。<br>・バス利用者に、沿線施設で利用できる特典券を配布した。<br>・木城おでかけバスカの利用促進のため、イベント時にバスを展示し、乗車体験を実施した。 | A          | 事業は計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。 | B                 | 77.7%              | 71.5%                   | -6.2% | 利用促進策を行ったが、人件費・燃料油脂費の高騰により経費が上がり収支率はR6年度を下回る結果となった。       | ・沿線上の保育園や小学校で乗り方教室を実施し、郊外学習や遠足で利用してもらう。<br>・デジタルチケットを用いた沿線施設との連携、特典付与の活用、告知強化。<br>・当該路線利用者へ木城温泉湯らで利用可能な特典の付与。<br>・イベント時の乗り方教室やバスの展示で、公共交通への理解を深め、利用促進を図る。<br>・木城おでかけバスカの告知を行い利用促進を図る。<br>・65歳以上向けに1乗車200円で利用できる定期券「宮交スマート65」を販売し、高齢者の利用促進を図る。<br>・技能実習生向けにインターンバスを販売し、新規利用者の開拓を図る。<br>・バス利用促進協議会において、バス無料デーを実施し、新規利用者の開拓を図る。 |
| 宮崎交通(株)   | 4<br>宮交シティ～光陽<br>台                   | 左の系統の運行<br>R3車両導入3台<br>R4車両導入2台<br>R5車両導入2台<br>R6車両導入5台<br>R7車両導入4台 | 【取組実績】<br>・引き続き宮崎市にチラシの提供を行った。<br>・行政や他事業者と連携し、R7年6月～企画乗車券を作成し5,000枚販売した。   | A          | 事業は計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。 | B                 | 89.1%              | 84.4%                   | -4.7% | 利用促進策を行い収益は増加したが、人件費・燃料油脂費の高騰により経費が上がり収支率はR6年度を下回る結果となった。 | ・65歳以上向けに1乗車200円で利用できる定期券「宮交スマート65」を販売し、高齢者の利用促進を図る。<br>・JRと併用可能なデジタルチケットを販売し、利用者増加に努める。<br>・技能実習生向けにインターンバスを販売し、新規利用者の開拓を図る。<br>・バス利用促進協議会において、バス無料デーを実施し、新規利用者の開拓を図る。  |
| 宮崎交通(株)   | 5<br>延岡駅～青雲橋・<br>日之影町立病院～<br>高千穂     | 左の系統の運行<br>R3車両導入2台<br>R4車両導入1台<br>R5車両導入2台                         | 【取組実績】<br>・当該路線で客貨混載を実施し、生産性の向上を図った。<br>・24時間有効の往復デジタルチケットを販売し、観光客の誘客、及び県内での周遊・滞在促進を図った。<br>・仕事体験などのイベント時にバスを展示し、将来的なバスの利用促進を図った。   | A          | 事業は計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。 | A                 | 37.6%              | 38.9%                   | 1.3%  | 経費も増加していたが、利用促進施策や観光需要により利用者が増加したため、収支率が改善した。             | ・客貨混載→1日3便<br>・往復デジタルチケットの販売を継続し、公共交通利用を促す。<br>・イベント時の乗り方教室やバスの展示で、公共交通への理解を深め、利用促進を図る。<br>・65歳以上向けに1乗車200円で利用できる定期券「宮交スマート65」を販売し、高齢者の利用促進を図る。<br>・技能実習生向けにインターンバスを販売し、新規利用者の開拓を図る。<br>・バス利用促進協議会において、バス無料デーを実施し、新規利用者の開拓を図る。   |

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月23日

協議会名: 宮崎県地域公共交通協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要                        | ③前回(又は類似事業)の<br>事業評価結果の反映状況   | ④事業実施の適切性   | ⑤目標・効果達成状況        |                            |                    |       | ⑥事業の今後の改善点<br>(特記事項を含む) |       |   |   |
|-----------|------------------------------|---|---|-------------------|----------------------------|--------------------|-------|-------------------------|-------|---|---|
|           |                              |   |   | 収支改善率(%)          |                            |                    |       |                         |       |   |   |
|           |                              |   |   | 前年度<br>収支率<br>(A) | 今年度<br>収支率<br>(B)          | 収支改善<br>率<br>(B-A) | 理由    |                         |       |   |   |
| 宮崎交通(株)   | 6<br>宮交シティ～佐土原小前～西部          | 左の系統の運行<br>R3車両導入2台<br>R4車両導入1台<br>R5車両導入2台<br>R6車両導入1台<br>R7車両導入4台 | 【取組実績】<br>・R6年10月に商業施設近辺を運行する経路に変更した。<br>・沿線上の高校にキャンパスミニのチラシや定期の金額が記載された時刻表を渡し、学校説明会の時に生徒に配ってもらった。<br>・行政や他事業者と連携し、R7年6月～企画乗車券を作成し5,000枚販売した。         | A                 | 事業は計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。 | B                  | 76.7% | 71.7%                   | -5.0% | 利用促進策を行い収益は増加したが、人件費・燃料油脂費高騰により経費が上がり収支率はR6年度を下回る結果となった。          | ・デジタルチケットを用いた沿線施設との連携、特典付与の活用、告知強化。<br>・65歳以上向けに1乗車200円で利用できる定期券「宮交スマート65」を販売し、高齢者の利用促進を図る。<br>・技能実習生向けにインターンバスを販売し、新規利用者の開拓を図る。<br>・バス利用促進協議会において、バス無料デーを実施し、新規利用者の開拓を図る。  |
| 宮崎交通(株)   | 7<br>宮崎～宮崎空港～鶴戸神宮～鉄肥         | 左の系統の運行<br>R3車両導入3台<br>R4車両導入2台<br>R5車両導入2台<br>R6車両導入1台<br>R7車両導入1台 | 【取組実績】<br>・クルーズ船寄港に合わせて、バス乗車券を販売し、利用促進を図った。<br>・行政や他事業者と連携し、R7年6月～企画乗車券を作成し5,000枚販売した。  | A                 | 事業は計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。 | B                  | 59.2% | 58.7%                   | -0.5% | 利用促進策や観光客の増加により収益は改善したが、人件費・燃料油脂費高騰により経費が上がり収支率はR6年度を若干下回る結果となった。 | ・デジタルチケットを用いた沿線施設との連携、特典付与の活用、告知強化。<br>・インバウンド観光客向けに乗車券販売等を行い、公共交通利用を促す。<br>・インバウンド観光客向けにクレジットカードタッチ決済を周知し、利用促進を図る。<br>・65歳以上向けに1乗車200円で利用できる定期券「宮交スマート65」を販売し、高齢者の利用促進を図る。<br>・技能実習生向けにインターンバスを販売し、新規利用者の開拓を図る。<br>・バス利用促進協議会において、バス無料デーを実施し、新規利用者の開拓を図る。          |
| 宮崎交通(株)   | 8<br>宮交シティ～国富～綾              | 左の系統の運行<br>R3車両導入3台<br>R4車両導入2台<br>R5車両導入2台<br>R6車両導入4台<br>R7車両導入2台 | 【取組実績】<br>・綾町、国富町において高齢者を対象とした100円バスを引き続き実施。臨時窓口も引き続き設置した。<br>・行政と連携し、イベントに合わせて企画乗車券を作成し、R7年3月に乗り方教室を実施した。<br>・行政や他事業者と連携し、R7年6月～企画乗車券を作成し5,000枚販売した。 | A                 | 事業は計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。 | B                  | 77.9% | 74.1%                   | -3.8% | 利用促進策を行い収益は増加したが、人件費・燃料油脂費高騰により経費が上がり収支率はR6年度を下回る結果となった。          | ・65歳以上向けに1乗車200円で利用できる定期券「宮交スマート65」を販売し、高齢者の利用促進を図る。<br>・綾町おでかけバスカ、国富町の活き活きバスカの窓口を月に1回開き、利用促進を図る。<br>・綾町内のイベント時に乗り方教室を実施し、公共交通への理解を深め、利用者増加に努める。<br>・技能実習生向けにインターンバスを販売し、新規利用者の開拓を図る。<br>・JRと併用可能なデジタルチケットを販売し、利用者増加に努める。<br>・バス利用促進協議会において、バス無料デーを実施し、新規利用者の開拓を図る。 |
| 宮崎交通(株)   | 9<br>宮崎～花見～赤谷                | 左の系統の運行<br>R3車両導入3台<br>R4車両導入2台<br>R5車両導入2台<br>R6車両導入4台<br>R7車両導入2台 | 【取組実績】<br>・引き続き宮崎市にチラシの提供をおこなった。<br>・行政や他事業者と連携し、R7年6月～企画乗車券を作成し5,000枚販売した。   | A                 | 事業は計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。 | B                  | 86.8% | 78.8%                   | -8.0% | 利用促進策を行ったが、人件費・燃料油脂費高騰により経費が上がり収支率はR6年度を下回る結果となった。                | ・敬老バスカの利用促進のため、宮崎市にチラシの提供を行い、告知を強化する。<br>・デジタルチケットを用いた沿線施設との連携、特典付与の活用、告知強化。<br>・バス利用促進協議会において、バス無料デーを実施し、新規利用者の開拓を図る。  |
| 宮崎交通(株)   | 10<br>宮崎～祇園台・穆佐・小山田(高岡温泉)～尾頭 | 左の系統の運行<br>R3車両導入3台<br>R4車両導入2台<br>R5車両導入2台<br>R6車両導入4台<br>R7車両導入2台 | 【取組実績】<br>・引き続き宮崎市にチラシの提供をおこなった。<br>・行政や他事業者と連携し、R7年6月～企画乗車券を作成し5,000枚販売した。   | A                 | 事業は計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。 | B                  | 55.8% | 53.0%                   | -2.8% | 利用促進策を行い収益は増加したが、人件費・燃料油脂費高騰により経費が上がり収支率はR6年度を下回る結果となった。          | ・65歳以上向けに1乗車200円で利用できる定期券「宮交スマート65」を販売し、高齢者の利用促進を図る。<br>・技能実習生向けにインターンバスを販売し、新規利用者の開拓を図る。<br>・JRと併用可能なデジタルチケットを販売し、利用者増加に努める。<br>・バス利用促進協議会において、バス無料デーを実施し、新規利用者の開拓を図る。   |

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月23日

協議会名: 宮崎県地域公共交通協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要   | ③前回(又は類似事業)の<br>事業評価結果の反映状況   | ④事業実施の適切性   | ⑤目標・効果達成状況        |                            |                    |       | ⑥事業の今後の改善点<br>(特記事項を含む) |       |  |   |
|-----------|---|---|---|-------------------|----------------------------|--------------------|-------|-------------------------|-------|--|---|
|           |   |   |   | 収支改善率(%)          |                            |                    |       |                         |       |  |   |
|           |   |   |   | 前年度<br>収支率<br>(A) | 今年度<br>収支率<br>(B)          | 収支改善<br>率<br>(B-A) | 理由    |                         |       |  |   |
| 宮崎交通(株)   | 11<br>宮崎～正手～合<br>又・田野運動公園                         | 左の系統の運行<br>R3車両導入3台<br>R4車両導入2台<br>R5車両導入2台<br>R6車両導入3台<br>R7車両導入2台 | 【取組実績】<br>・引き続き宮崎市にチラシの提供をおこなった。<br>・行政や他事業者と連携し、R7年6月～企画乗車券を作成し5,000枚販売した。<br>・バス利用者に、沿線施設で使用できる特典券を配布した。    | A                 | 事業は計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。 | B                  | 73.1% | 70.6%                   | -2.5% | 利用促進策を行い収益は増加したが、人件費・燃料油脂費高騰により経費が上がり収支率はR6年度を下回る結果となった。   | ・65歳以上向けに1乗車200円で利用できる定期券「宮交スマート65」を販売し、高齢者の利用促進を図る。<br>・技能実習生向けにインターンバスを販売し、新規利用者の開拓を図る。<br>・七野～青井岳温泉線への乗り継ぎによりアクセスできる青井岳温泉で利用可能な特典を付与し、利用促進を図る。<br>・JRと併用可能なデジタルチケットを販売し、利用者増加に努める。<br>・バス利用促進協議会において、バス無料デーを実施し、新規利用者の開拓を図る。   |
| 宮崎交通(株)   | 12<br>イオン都城～藤元<br>病院～西都城～都<br>城駅・イオンモール<br>ミエル～小林 | 左の系統の運行<br>R2車両導入2台<br>R3車両導入3台<br>R4車両導入2台<br>R7車両導入1台             | 【取組実績】<br>・地域の祭りやイベントに合わせてバス車両や乗り方教室を実施した。<br>・沿線の学校における通学利用の開拓をするため、郷土探究講座(学生の路線バス利用向上について等)に取り組んでいる。        | A                 | 事業は計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。 | B                  | 42.9% | 39.1%                   | -3.8% | 利用促進策を行ったが、人件費・燃料油脂費高騰により経費が上がり収支率はR6年度を下回る結果となった。         | ・沿線の学校における通学利用の開拓をするため、都城泉ヶ丘高等学校の企業探究活動に協力し、学生の路線バス利用向上につなげる。<br>・イベント時に乗り方教室を実施し、公共交通への理解を深め、利用促進を図る。<br>・65歳以上向けに1乗車200円で利用できる定期券「宮交スマート65」を販売し、高齢者の利用促進を図る。<br>・技能実習生向けにインターンバスを販売し、新規利用者の開拓を図る。<br>・バス利用促進協議会において、バス無料デーを実施し、新規利用者の開拓を図る。                                       |
| 宮崎交通(株)   | 13<br>イオン都城～妻ヶ<br>丘・イオンモール・<br>都城駅～川原谷            | 左の系統の運行<br>R3車両導入3台<br>R4車両導入2台<br>R7車両導入1台                         | 【取組実績】<br>・沿線の学校における通学利用の開拓をするため、郷土探究講座(学生の路線バス利用向上について等)に取り組んでいる。  | A                 | 事業は計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。 | B                  | 51.4% | 50.5%                   | -0.9% | 利用促進策を行い収益は増加したが、人件費・燃料油脂費高騰により経費が上がり収支率はR6年度を若干下回る結果となった。 | ・沿線の学校における通学利用の開拓をするため、都城泉ヶ丘高等学校の企業探究活動に協力し、学生の路線バス利用向上につなげる。<br>・65歳以上向けに1乗車200円で利用できる定期券「宮交スマート65」を販売し、高齢者の利用促進を図る。<br>・技能実習生向けにインターンバスを販売し、新規利用者の開拓を図る。<br>・バス利用促進協議会において、バス無料デーを実施し、新規利用者の開拓を図る。  |
| 宮崎交通(株)   | 14<br>(特急)西都城～都<br>城駅・都城北入口・<br>高速道・宮崎空港<br>～宮崎駅  | 左の系統の運行   | 【取組実績】<br>・沿線の学校における通学利用の開拓をするため、郷土探究講座(学生の路線バス利用向上について等)に取り組んでいる。<br>・行政や他事業者と連携し、R7年6月～企画乗車券を作成し5,000枚販売した。 | A                 | 事業は計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。 | B                  | 73.9% | 69.2%                   | -4.7% | 利用促進策を行い収益は増加したが、人件費・燃料油脂費高騰により経費が上がり収支率はR6年度を下回る結果となった。   | ・沿線の学校における通学利用の開拓をするため、都城泉ヶ丘高等学校の企業探究活動に協力し、学生の路線バス利用向上につなげる。<br>・JRと併用可能なデジタルチケットを販売し、利用者増加に努める。<br>・65歳以上向けに1乗車200円で利用できる定期券「宮交スマート65」を販売し、高齢者の利用促進を図る。<br>・技能実習生向けにインターンバスを販売し、新規利用者の開拓を図る。<br>・バス利用促進協議会において、バス無料デーを実施し、新規利用者の開拓を図る。<br>・インバウンド観光客向けにクレジットカードタッチ決済を周知し、利用促進を図る。 |
| 宮崎交通(株)   | 15<br>南延岡～浦城港～<br>宮野浦                             | 左の系統の運行<br>R3車両導入2台<br>R4車両導入1台<br>R5車両導入2台                         | 【取組実績】<br>・沿線の商業施設等へホリデーパスのPRを行った。<br>・仕事体験などのイベント時にバスを展示し、将来的なバスの利用促進を図った。                                   | A                 | 事業は計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。 | B                  | 40.3% | 39.1%                   | -1.2% | 利用促進策を行い収益は増加したが、人件費・燃料油脂費高騰により経費が上がり収支率はR6年度を若干下回る結果となった。 | ・イベント時の乗り方教室やバスの展示で、公共交通への理解を深め、利用促進を図る。<br>・65歳以上向けに1乗車200円で利用できる定期券「宮交スマート65」を販売し、高齢者の利用促進を図る。<br>・技能実習生向けにインターンバスを販売し、新規利用者の開拓を図る。<br>・バス利用促進協議会において、バス無料デーを実施し、新規利用者の開拓を図る。   |

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月23日

協議会名: 宮崎県地域公共交通協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要                          | ③前回(又は類似事業)の<br>事業評価結果の反映状況   | ④事業実施の適切性  | ⑤目標・効果達成状況 |                   |                   |                    | ⑥事業の今後の改善点<br>(特記事項を含む) |   |   |
|-----------|--------------------------------|---|--|------------|-------------------|-------------------|--------------------|-------------------------|---|---|
|           |                                |   |  | 評価         | 収支改善率(%)          |                   |                    |                         |   |   |
|           |                                |   |  |            | 前年度<br>収支率<br>(A) | 今年度<br>収支率<br>(B) | 収支改善<br>率<br>(B-A) |                         | 理由  |   |
| 宮崎交通(株)   | 16<br>イオンタウン日向～道の駅とうごう         | 左の系統の運行<br>R3車両導入2台<br>R4車両導入1台<br>R5車両導入2台                         | 【取組実績】<br>・当該路線で客貨混載を実施し、生産性の向上を図った。<br>・仕事体験などのイベント時にバスを展示し、将来的なバスの利用促進を図った。  | A          | B                 | 54.6%             | 50.0%              | -4.6%                   | 利用促進策を行ったが、人件費・燃料油価格高騰により経費が上がり収支率はR6年度を下回る結果となった。  | ・客貨混載→1日1便<br>・悠々バス購入補助のPRを行う。<br>・65歳以上向けに1乗車200円で利用できる定期券「宮交スマート65」を販売し、高齢者の利用促進を図る。<br>・技能実習生向けにインターンバスを販売し、新規利用者の開拓を図る。<br>・バス利用促進協議会において、バス無料デーを実施し、新規利用者の開拓を図る。   |
| 宮崎交通(株)   | 17<br>飫肥～油津～夫婦浦～幸島入口           | 左の系統の運行<br>R3車両導入1台<br>R4車両導入1台<br>R6車両導入1台<br>R7車両導入1台             | 【取組実績】<br>・クルーズ船寄港に合わせて、バス乗車券を販売し、利用促進を図った。  | A          | B                 | 49.1%             | 43.1%              | -6.0%                   | 利用促進策を行ったが、人件費・燃料油価格高騰により経費が上がり収支率はR6年度を下回る結果となった。  | ・地域住民に向けて乗り方教室を実施し、公共交通への理解を深め、利用促進を図る。<br>・インバウンド観光客向けに乗車券販売等を行い、公共交通利用を促す。<br>・65歳以上向けに1乗車200円で利用できる定期券「宮交スマート65」を販売し、高齢者の利用促進を図る。<br>・技能実習生向けにインターンバスを販売し、新規利用者の開拓を図る。<br>・バス利用促進協議会において、バス無料デーを実施し、新規利用者の開拓を図る。 |
| 宮崎交通(株)   | 18<br>西都～佐土原駅～佐土原高校            | 左の系統の運行<br>R2車両導入1台<br>R3車両導入1台<br>R4車両導入1台<br>R6車両導入1台<br>R7車両導入4台 | 【取組実績】<br>・R6年10月に商業施設近辺を運行する経路に変更した。<br>・沿線の高校にキャンパスミニのチラシや定期の金額が記載された時刻表を渡し、学校説明会の時に生徒に配ってもらった。<br>・行政や他事業者と連携し、R7年6月～企画乗車券を作成し5,000枚販売した。 | A          | B                 | 65.8%             | 58.2%              | -7.6%                   | 利用促進策を行ったが、人件費・燃料油価格高騰により経費が上がり収支率はR6年度を下回る結果となった。  | ・65歳以上向けに1乗車200円で利用できる定期券「宮交スマート65」を販売し、高齢者の利用促進を図る。<br>・技能実習生向けにインターンバスを販売し、新規利用者の開拓を図る。<br>・バス利用促進協議会において、バス無料デーを実施し、新規利用者の開拓を図る。   |
| 宮崎交通(株)   | 19<br>小林～市立病院～文化センター～道の駅えびの～京町 | 左の系統の運行<br>R3車両導入2台<br>R4車両導入1台<br>R7車両導入1台                         | 【取組実績】<br>・地域の祭りやイベントに合わせて、バス車両や乗り方教室を実施した。<br>・効率の良い運行のために運行回数を見直しを行った。   | A          | A                 | 63.9%             | 68.4%              | 4.5%                    | 利用の少ない便を減便することで効率的な運行を行い、収支率が改善した。  | ・悠々バス購入補助のPRを行う。<br>・イベント時に乗り方教室を実施し、公共交通への理解を深め、利用促進を図る。<br>・65歳以上向けに1乗車200円で利用できる定期券「宮交スマート65」を販売し、高齢者の利用促進を図る。<br>・技能実習生向けにインターンバスを販売し、新規利用者の開拓を図る。<br>・バス利用促進協議会において、バス無料デーを実施し、新規利用者の開拓を図る。                    |
| 鹿児島交通(株)  | 20<br>都城～岩川～野方～県民健康プラザ～鹿屋      | 左の系統の運行   | 【取組実績】<br>時刻変更を実施し収支改善を図った。  | A          | A                 | 32.9%             | 37.7%              | 4.8%                    | 利用者の利用実態を調査し、他路線への乗継を考慮した時刻変更を実施した。結果、3,907千円の増収となり、2,760千円の経費増額となった。収支率は4.79%改善し運行回数の変更を実施し、42千円の減収となり、1,283千円の経費減額となった。収支率は1.16%改善し | (今後の方向性)<br>地域ごとに利用促進を進めるために、路線ごとに運行回数の変更や経路見直し、また幹線系統から廃止代替系統への移行等を自治体と協議、検討しながら経費を削減し、路線維持に努める。   |
| 鹿児島交通(株)  | 21<br>志布志～稚児松～松山駅～岩川～中央通り～都城   | 左の系統の運行   | 【取組実績】<br>時刻変更・運行回数の変更を実施し収支改善を図った。  | A          | A                 | 35.5%             | 36.7%              | 1.2%                    | 利用者の利用実態を調査し、他路線への乗継を考慮した時刻変更を実施した。結果、3,907千円の増収となり、2,760千円の経費増額となった。収支率は4.79%改善し運行回数の変更を実施し、42千円の減収となり、1,283千円の経費減額となった。収支率は1.16%改善し | (今後の方向性)<br>令和7年度の運行をもって、幹線系統から廃止代替系統へ移行する。   |

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年2月27日

九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通確保維持改善事業(地域間幹線系統)

| 協議会名        | ①補助対象事業者等  | ②事業概要                  | 協議会における事業評価結果           |                                |  |            | 地方運輸局等における<br>二次評価結果  | 備考                        |
|-------------|--|------------------------|-------------------------|--------------------------------|--|------------|---|---------------------------|
|             |  |                        | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性                      | ⑤目標・効果達成状況   | ⑥事業の今後の改善点 | 評価結果  |                           |
| 鹿児島県バス対策協議会 | 鹿児島交通(株)<br>種子島・屋久島交通(株)<br>南国交通(株)<br>しまバス(株)<br>JR九州バス(株)<br>宮崎交通(株) | 31系統<br>※詳細は別添一次評価のとおり | 別添一次評価のとおり              | A評価：31系統<br>B評価：0系統<br>C評価：0系統 | A評価：23系統<br>B評価：8系統<br>C評価：0系統<br>【参考：前年度】<br>A評価：26系統<br>B評価：5系統<br>C評価：0系統 | 別添一次評価のとおり | <p>コロナは明けたものの、運転士や整備士をはじめとする人員不足や、燃料費・車両価格の高騰等、バスを取り巻く厳しい状況下で、利用促進やバスを利用するきっかけづくりのためにバス無料デーや、体験乗車会やスポーツや各種イベントとのタイアップ、企画乗車券の造成、様々な取組をされていることを評価します。今後もバス事業者、自治体等連携して取組みを続けられることを期待します。</p> <p>ただ、「前回の事業評価結果の反映状況」は一部系統はもう少し詳細を記載いただき、また、「事業の今後の改善点」については、一部の系統を除きほぼ同じ内容となっておりますが、それぞれの取組を受けた結果や次に向けた改善点は、系統によって差異があるはずですので、書きぶりの工夫を検討されてはいかがでしょうか。</p> <p>目標の達成状況に関しては、達成した系統が前年度と比較すると若干減っているものの、全31系統中過半数を超える23系統が目標を達成しているため目標の設定が適切であったと思料され、また、上記のような取組を行う中で得た結果を検証することで、より効果的な改善につながることを期待されます。</p> <p>今後は、目標を達成できなかった原因だけでなく、目標を達成した系統については、達成できた原因の分析を行い、目標を達成できなかった系統に活かせる部分は活かし、また、系統毎の目標達成状況に応じて、次の目標や評価指標をを検討、最適化していくことも必要と思料します。</p> | 評価指標<br>【平均乗車密度】<br>【輸送量】 |

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（生活交通確保維持改善計画に基づく事業）

令和8年1月23日

協議会名：鹿児島県地域公共交通協議会

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持国庫補助金

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要                        | ③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況              |              |     |     | ⑥事業の今後の改善点（特記事項を含む） |      |   |                          |
|-----------|------------------------------|-------------------------|-----------|-------------------------|--------------|-----|-----|---------------------|------|---|--------------------------|
|           |                              |                         |           | 平均乗車<br>密度<br>R6 今期     | 輸送量<br>R6 今期 | 理由  |     |                     |      |   |                          |
| 鹿児島交通（株）  | 鹿児島～川辺～枕崎（特急）                | 生産性向上の取組から見直しを実施        | A         | 計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | A            | 5.0 | 5.4 | 22.0                | 23.7 | 地域ごとに利用促進を進めるために、路線ごとに運行回数の変更や経路見直し、また幹線系統から廃止代替系統への移行等を自治体と協議、検討しながら経費を削減し、路線維持に努める。 |                          |
| 鹿児島交通（株）  | なのはな館～指宿～利永～開聞口～穎娃～大川～東大川    | 生産性向上の取組を次年度への持ち越しとした   | A         |                         | A            | 3.3 | 3.7 | 15.8                | 15.9 |   |                          |
| 鹿児島交通（株）  | 鹿児島～指宿～ホテル～山川棧橋（普通）          | 生産性向上の取組から見直しを実施        | A         |                         | A            | 4.7 | 5.1 | 23.0                | 25.5 |   |                          |
| 鹿児島交通（株）  | 伊集院高校～加世田～田ノ野～枕崎             | 生産性向上の取組から見直しを実施        | A         |                         | A            | 4.5 | 5.0 | 19.8                | 22.0 |   |                          |
| 鹿児島交通（株）  | 指宿いわさきホテル～指宿～道の駅喜入～知覧～武家屋敷入口 | 生産性向上の取組を次年度への持ち越しとした   | A         |                         | A            | 4.2 | 4.9 | 16.8                | 19.1 |   |                          |
| 鹿児島交通（株）  | 鹿児島～中央駅前～知覧～特攻観音入口           | 生産性向上の取組から見直しを実施        | A         |                         | B            | 6.2 | 6.4 | 52.0                | 51.8 |   | 令和7年4月に減便を実施し、運行回数が減ったため |
| 鹿児島交通（株）  | 鹿児島駅前～犬迫～伊集院                 | 生産性向上の取組を次年度への持ち越しとした   | A         |                         | B            | 4.6 | 5.0 | 35.4                | 32.5 |   | 令和7年4月に減便を実施し、運行回数が減ったため |

|          |                                |                  |   |                         |   |     |     |      |      |                          |   |
|----------|--------------------------------|------------------|---|-------------------------|---|-----|-----|------|------|--------------------------|---|
| 鹿児島交通（株） | 鹿児島～鹿児島中央駅～谷山駅前～伊作～加世田（急行）     | 生産性向上の取組から見直しを実施 | A | 計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | B | 5.6 | 5.9 | 50.4 | 47.7 | 令和7年4月に減便を実施し、運行回数が減ったため | 地域ごとに利用促進を進めるために、路線ごとに運行回数の変更や経路見直し、また幹線系統から廃止代替系統への移行等を自治体と協議、検討しながら経費を削減し、路線維持に努める。 |
| 鹿児島交通（株） | 鹿児島中央駅～自衛隊・国分～重久車庫             |                  | A |                         | B | 4.6 | 5.0 | 39.5 | 37.0 | 令和7年4月に減便を実施し、運行回数が減ったため | 地域ごとに利用促進を進めるために、路線ごとに運行回数の変更や経路見直し、また幹線系統から廃止代替系統への移行等を自治体と協議、検討しながら経費を削減し、路線維持に努める。 |
| 鹿児島交通（株） | 鹿児島駅～伊集院・島平～川内営業所              |                  | A |                         | B | 4.0 | 4.3 | 17.2 | 16.7 | 令和7年4月に減便を実施し、運行回数が減ったため | 地域ごとに利用促進を進めるために、路線ごとに運行回数の変更や経路見直し、また幹線系統から廃止代替系統への移行等を自治体と協議、検討しながら経費を削減し、路線維持に努める。 |
| 鹿児島交通（株） | 鹿児島駅～伊集院・島平～串木野                |                  | A |                         | A | 3.8 | 4.1 | 18.2 | 19.6 |                          |   |
| 鹿児島交通（株） | 都城～岩川～野方～県民健康プラザ～鹿屋            |                  | A |                         | A | 3.3 | 3.8 | 14.1 | 16.3 |                          | 地域ごとに利用促進を進めるために、路線ごとに運行回数の変更や経路見直し、また幹線系統から廃止代替系統への移行等を自治体と協議、検討しながら経費を削減し、路線維持に努める。 |
| 鹿児島交通（株） | 垂水～垂水港～鹿屋～志布志（普通）              |                  | A |                         | A | 4.2 | 5.5 | 31.9 | 41.8 |                          |   |
| 鹿児島交通（株） | 志布志駅～岩川～牧之原～榎枝橋～旭通～霧島市役所～鹿児島空港 |                  | A |                         | A | 3.4 | 3.9 | 16.6 | 19.1 |                          |   |
| 鹿児島交通（株） | 志布志駅～稚児松～松山駅～岩川～中央通り～都城        |                  | A |                         | B | 3.4 | 3.6 | 11.2 | 10.8 | 令和7年4月に減便を実施し、運行回数が減ったため | 令和7年度の運行をもって、幹線系統から廃止代替系統へ移行する。   |

|              |                      |   |   |                         |   |                   |   |                              |
|--------------|----------------------|---|---|-------------------------|---|-------------------|---|------------------------------|
| 種子島・屋久島交通（株） | 永田～上屋久町役場～いわさきホテル    | 令和2年5月1日より、運行経路の変更ならびに運行回数の見直しを行い、見直し内容を継続した。 | A | 計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | A | 3.9 4.1 17.1 18.0 | 平均乗車密度が低く事業者負担が大きい点。運賃改定などで収入を確保しつつ、物価高に適応する運賃設定が必要か。<br>地域間幹線系統が島内の路線バスの大部分を占めており、現状の路線では運転手不足への対応が困難である。収支率の改善にも路線の見直しも検討する必要がある。 |                              |
| 種子島・屋久島交通（株） | 宮之浦港～安房港～いわさきホテル～栗生橋 |   | A |                         | A | 4.4 4.6 35.2 36.8 |   |                              |
| 南国交通（株）      | 佐潟口～出水～水俣車庫          | 当該路線沿線のダイヤ改正を実施したことによる利用状況の改善を図った。            | A | 計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | A | 4.6 4.7 34.9 35.7 | 運賃改定を実施し、運送収入は増加であったが、費用算定方法等の見直しにより、収支率は昨年に比べ悪化した。<br>しかしながら、地域公共交通維持をした上で、地域状況を鑑みて今後の路線あり方を引き続き検討を行う。                             |                              |
| 南国交通（株）      | 隈之城車庫～西方駅前～阿久根新港     |   | A |                         | A | 5.1 5.4 57.6 58.8 |   |                              |
| 南国交通（株）      | 大口～本城～栗野駅前           |   | A |                         | A | 5.2 4.7 15.6 17.8 |   | 燃料油の高騰などの影響により運送に係る費用が増加したため |
| 南国交通（株）      | 大口～針持～宮之城            |   | A |                         | A | 6.1 6.1 28.6 32.3 |   |                              |
| 南国交通（株）      | 楠田車庫～帖佐駅～鹿児島空港       |   | A |                         | A | 5.2 5.6 27.5 30.8 |   |                              |
| 南国交通（株）      | 阿久根市役所～出水・宮之城～鹿児島空港  |   | A |                         | A | 5.1 5.1 45.9 45.9 |   |                              |

|            |                                |  |   |                          |     |     |      |      |                              |  |   |
|------------|--------------------------------|--|---|--------------------------|-----|-----|------|------|------------------------------|--|---|
| (株) しまバス   | 平田町奥又～大熊・秋名～安木屋場～ビッグII前奄美店     | 大規模な路線再編をR1年10月に実施し,GTFS-JPを活用し利用促進を図った。               | A | 計画に位置づけられたとおり, 適切に実施された。 | A   | 2.5 | 3.5  | 17.5 | 21.0                         | 路線維持を旨に費用削減と更なるバス利用の利便性向上が不可欠。バスロケを開始。             |   |
| (株) しまバス   | こしゅく第1公園～しまバス本社前・三太郎の里～せとうち海の駅 | 大規模な路線再編をR1年10月に実施し,GTFS-JPを活用し利用促進を図った。               | A |                          | A   | 4.4 | 4.0  | 28.6 | 29.4                         | 燃料油の高騰などの影響により運送に係る費用が増加したため                       | 路線維持を旨に費用削減と更なるバス利用の利便性向上が不可欠。具体策として今期からバスロケを開始した。                        |
| (株) しまバス   | こしゅく第1公園～佐大熊～奄美パーク～奄美空港        | 大規模な路線再編をR1年10月に実施し,GTFS-JPを活用し利用促進を図った。               | A |                          | A   | 4.4 | 4.8  | 57.2 | 67.5                         | 路線維持を旨に費用削減と更なるバス利用の利便性向上が不可欠。具体策として今期からバスロケを開始した。 |   |
| (株) しまバス   | 赤木名外金久～奄美空港・奄美パーク～平田町奥又        | 大規模な路線再編をR1年10月に実施し,GTFS-JPを活用し利用促進を図った。               | A |                          | A   | 5.7 | 7.5  | 37.0 | 41.8                         | 路線維持を旨に費用削減と更なるバス利用の利便性向上が不可欠。具体策として今期からバスロケを開始した。 |   |
| JR九州バス (株) | 鹿児島駅～鹿児島中央駅～薩摩郡山～宮之城           | ・沿線の小学校7校にバスの絵を募集し、路線沿線の小学生がバスをテーマにして描いていた絵画を車内に展示した。  | A |                          | B   | 6.5 | 6.4  | 46.1 | 44.1                         | 燃料油の高騰などの影響により運送に係る費用が増加したため                       | 引き続き、バスの利用促進活動に取り組む。また、ご利用状況による見直し等、効率的な運行の検討を沿線自治体と連携して持続可能な交通体系を検討していく。 |
| JR九州バス (株) | 鹿児島駅～川田～岩戸口～薩摩郡山               | ・子供たちにバスに慣れ親しんでもらえるよう、春休み期間中に子供運賃無料の日を設定した。            | A | B                        | 5.6 | 5.7 | 46.4 | 45.0 | 燃料油の高騰などの影響により運送に係る費用が増加したため |  |   |
| JR九州バス (株) | 鹿児島～鹿児島中央駅～明桜館高校前～薩摩郡山         | ・沿線バス停から最寄りの店舗や施設等とお得な乗車券の情報、時刻表を掲載したパンフレットを沿線住民に配布した。 | A | A                        | 6.8 | 7.6 | 51.6 | 57.7 |                              |  |   |

|         |                              |   |   |                         |   |                   |   |
|---------|------------------------------|---|---|-------------------------|---|-------------------|---|
| 宮崎交通（株） | イオン都城～妻ヶ丘・イオンモール・ミエル・都城駅～川原谷 | ・沿線の学校における通学利用の開拓をするため、都城泉ヶ丘高等学校の企業探究活動（路線バス利用向上について等）に取り組んでいる。 | A | 計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | A | 2.4 2.6 12.7 13.5 | 引き続き、事業者や自治体等の関係者が連携して、持続可能な地域公共交通網の構築に向けて運行ルートや他交通網との接続等の見直しを不断に行う。また、沿線の学校における通学利用の開拓を継続していく。 |
|---------|------------------------------|---|---|-------------------------|---|-------------------|---|